

上田市文化財調査報告書第61集

HACHI MAN URA
八 幡 裏 遺 跡 II

国立新病院（長野）の新築工事に伴う発掘調査報告書

本 文 編

1997.3

上田市・上田市教育委員会
厚生省関東信越地方医務局

上田市文化財調査報告書第61集

HACHI MAN URA
八 幡 裏 遺 跡 Ⅱ

国立新病院（長野）の新築工事に伴う発掘調査報告書

本 文 編

1997. 3

上田市・上田市教育委員会
厚生省関東信越地方医務局

序

本書は、国立新病院（長野）の新築工事に伴って実施した八幡裏遺跡の発掘調査の報告書です。

八幡裏遺跡は、古くから地元の人々や歴史を研究する人々の間でその存在が知られた遺跡でした。昭和27年、現在の国立東信病院の場所にあった旧国立上田診療所の増改築が行われ、その時に遺跡の一部が壊されたために多量の縄文時代の土器が出土しました。そこで、当時、長野市柳町中学校の教諭だった五十嵐幹雄氏が、5坪ほどを3日間にわたって発掘調査し、初めてその実態を具体的に明らかにしました。その結果、遺構についてはよくわかりませんが、遺物は縄文時代中期と後期の土器や石器及び動物の骨が出土し、貴重な歴史資料の宝庫であることがわかりました。それと同時に、この遺跡は現状のまま地中に保存され、末永く後世に引継がれるべき貴重な文化財であることが再認識されることになったのです。

一方、国立東信病院は長い間、私たちが健康な毎日を送るために無くてはならない存在でした。このたび、この東信病院と国立長野病院（上山田町）を統合し、東信病院の現在地に国立新病院を建設する計画が、厚生省から提示されました。これが完成すれば、地域の医療問題は大きく改善されることが期待されます。計画によると、地上7階、地下1階建てで、北館と南館の2棟からなる病棟が建設されます。場所は現病院の敷地のほか、隣接する上田地域広域行政事務組合の伝染病舎の敷地も利用されます。

この工事が行われると、これらの敷地の地下に埋まっている八幡裏遺跡は失われることとなります。このようにやむをえない場合は、遺跡が破壊される前に調査をする必要があります。今日まで知られなかった遺跡の状態を明らかにし、その記録を次の世代に伝えることは、今日に生きる私たちの責務であります。このたびの発掘調査はこのような目的で行われました。

この国立新病院の建設は、長年の地域住民の願いによって実現したものであります。多くの人々はその早期完成を待ち望んでいるのはいうまでもありません。

このような状況の中で、八幡裏遺跡の発掘調査は、たくさんの方々の御理解と御協力をいただけて行うことができました。その皆様に対し、心から御礼申し上げます。

また、この発掘調査が行われた平成6年の夏は、記録的な猛暑の日々が続きました。このような劣悪な環境の下で調査に参加して下さった皆様に衷心より感謝申し上げたいと思います。

最後に、この調査の記録が広く活用されることを期待します。そして、その成果を学校や社会など現代の生活の中で積極的に利用してもらいたいと思います。

平成9年3月

上田市教育委員会教育長 内藤 尚

例 言

1 本書は、八幡裏遺跡の発掘調査報告書Ⅱの本文編である。この八幡裏遺跡は、昭和58年に文化庁文化財保護部が作成した『全国遺跡地図 長野県』に記載されている八幡遺跡（長野15-78）と同じ遺跡を指す。また、長野県教育委員会が作成した『長野県市町村遺跡分布地図』、長野県史刊行会による『長野県史』、及び上田市教育委員会が作成した昭和54年版『上田市文化財分布地図』の八幡遺跡と同じ遺跡である。

2 発掘調査は、国立新病院（長野）の新築工事に伴って行われた。

3 八幡裏遺跡の所在は上の地図のとおりである。そのうち、発掘調査は国立新病院（長野）の新築工事が行われる上田市緑が丘1丁目27番において行われた。

4 発掘調査と本書の作成及び刊行は、上田市が厚生省関東信越地方医務局から委託されて実施した。事務局は上田市教育委員会社会教育課であり、その体制は以下のとおりである。なお、現場での発掘調査を中沢、久保田が担当し、本書は久保田が執筆した。

市 長 竹下悦男

教 育 長 内藤尚

教 育 次 長 荒井鉄雄

社会教育課長 松沢征太郎

文 化 係 長 岡田洋一

係 員 中沢徳士、尾見智志、塩崎幸夫、久保田敦子、清水彰、久保田浩（平成8年4月1日着任）、西沢和浩（平成8年4月1日着任）、小笠原正（平成8年4月1日着任）
西入元三郎（平成8年3月31日退任）

5 発掘調査のうち、現地調査を平成6年7月15日から11月4日に実施し、遺物整理と本書の作成を現地調査の期間中の雨天時及び平成7年度に実施した。刊行は平成9年3月31日までにに行った。

6 本書の作成の作業は、以下のとおり分担して行った。

○遺構、遺物の観察表の作成

丸田由紀子、大井敬子、西沢志保、久保田

7 発掘調査に係る資料は、上田市立信濃国分寺資料館に保管してある。

8 発掘調査及び本書の作成に際して、多くの皆様に御教示と御協力をいただいた。

山岸猪久馬、西沢寿晃、森嶋稔（故人）、甲田三男、児玉卓文、都築恵美子、白沢勝彦、川崎保、若林卓、広瀬昭弘、翠川泰弘、水沢敦子、原明芳、（財）長野県埋蔵文化財センター、国立東信病院、緑が丘自治会、佐藤・東急・東信土建共同企業体、（財）シルバー人材センター（順不同、敬称略）

凡 例

遺 構

- 1 遺構の記号は、次のとおりに示した。
 竪穴住居址（S B－）、掘立て柱建物址（S T－）、集石（S X－）、土壇址（S K－）、ピット（P－）、溝址（S D－）、竪穴住居址内のピット（P）
- 2 遺構の番号は任意である。
- 3 遺構の観察表については、以下のとおりである。
 - （1） 長さの単位は、mである。ただし、ピットはcmである。
 - （2） 主軸方位は、国家座標による真北からの角度で示した。
 - （3） 竪穴住居址の壁高は、検出面からの深さを示した。
 - （4） 土壇及びピットの深さは、検出面からの深さを示した。ただし、住居址内のピットは、床からの深さを示した。
- 4 土層の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色彩票監修の『新版標準土色帖』1990を用いて判別した。

遺 物

- 1 出土遺物観察表については、以下のとおりである。
 - （1） 器質は、胎土を「胎」、焼成を「焼」、色調を「色」と記載した。
 - （2） 法量の単位は、cm、gである。
 - （3） 内面及び外面の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色彩票監修の『新版標準土色帖』1990を用いて判別した。

目 次

序

例 言

凡 例

目 次

第一章 序 節

第1節 調査に至る経過	1
第2節 調査の方法	2
第3節 調査日誌（抄）	3

第二章 遺跡の環境

第1節 自然的環境	5
第2節 歴史的環境	10
第3節 基本的層序	12

第三章 調査の結果

1 調査の概要	13
2 遺構観察表	15
3 遺物観察表	30

附篇 八幡裏遺跡出土の人骨および獣骨	102
--------------------------	-----

第一章 序 説

第1節 調査に至る経過

平成5年12月、厚生省関東信越地方医務局から、上田市教育委員会事務局社会教育課（以下、「事務局」という。）に、上田市緑ヶ丘に所在する国立東信病院敷地及び上田地域広域行政事務組合所管の伝染病舎敷地に「国立新病院（長野）」（仮称）を建設したいが、埋蔵文化財の所在についてはいかがか、という照会があった。事務局では、照会地が周知の埋蔵文化財包蔵地「八幡裏遺跡」に属し、昭和27年、病院の改築工事の際に、縄文中期の加曾利E式土器や、後期の堀之内式、加曾利B式等を出土し、敷石住居址と思われ遺構も検出されていた。（上田市文化財調査報告書「上田市の原始・古代文化」）また、その当時事務局では、ほど近い箇所でも同遺跡の調査をしていたこともあり（上田市文化財調査報告書第53集「八幡裏遺跡I」）、遺跡の存在は十分に想定できることを調整会議において回答した。

平成6年1月11日、上田市の関係9課と事務局の調整会議が開催され、担当から、発掘調査の実施について強い要請が再度あった。事務局では、調査に係る職員体制の問題もあり、即答はし得なかったが、早急に解決すべき問題として、再度調整を行うこととした。

1月20日、再度の調整会議が開かれ、本病院の建設が上田市にとって、緊急の課題であり、他の発掘調査を延期しても実施せざるを得ない状況であることが確認され、とにかく、新病院建設予定地に建っている病院職員住宅と伝染病舎の取り壊しが済んだ後、試掘調査を行い、遺跡の有無や性格を調査し、その結果を見て改めて協議することとした。

5月9～11日、事務局は、新病棟建設予定地に試掘調査を実施した。その結果、地下2m前後から、縄文時代の敷石住居や、古墳時代の住居址のプラン及び遺物が検出し、遺跡の存在は確実なものとなった。

この結果をもって、厚生省関東信越地方医務局、東信病院、長野県教育委員会事務局文化課及び事務局で遺跡の保護協議を行い、次のとおり発掘調査を実施することとなった。

発掘調査地	長野県上田市緑ヶ丘一丁目27-21	調査の作業日数	発掘80日 整理160日 合計240日
遺跡名	八幡裏遺跡	調査に要する費用	34,441,000円
遺跡の状況	(地目)病院敷地ほか(破壊状況)一部破壊	報告書等	事業完了報告書を2部提出する。
発掘調査の目的及び概要	国立新病院（長野）新築工事に先立ち、約5,000㎡を発掘調査して記録保存を図る。遺跡における発掘作業は平成6年10月31日までに終了する。調査報告書は平成8年度中に刊行するものとする。		

調査の委託先	上田市
その他	調査の結果、重要な遺構が検出されたときは、その保存について改めて協議する。また、平成7年度遺構の遺物整理作業、報告書刊行事業については、現地調査終了後改めて協議する。

第2節 調査の方法

1 遺跡名の取扱いと遺跡記号について

遺跡名は「八幡裏遺跡」とした。これは、昭和52年3月に長野県教育委員会が作成した『長野県市町村遺跡分布地図』に記載されている「八幡遺跡」（県遺跡番号64）と同じ遺跡を指す。

さらに、昭和54年に上田市教育委員会が作成した『上田市文化財分布地図』、昭和58年に文化庁文化財保護部が作成した『全国遺跡地図 長野県』及び、長野県史刊行会による『長野県史』、における「八幡遺跡」も、本書でいう「八幡裏遺跡」と同一の遺跡である。

また、記録の便宜を図るために、遺跡記号として、HACHI-MAN-URAの頭文字を組み合わせてHMUという記号を与えた。さらに、同遺跡においては、2次調査となるため、各種の記録や遺物の注記にあたっては、「HMU-II」を用いた。

2 調査地区の設定について

本調査の調査地区については図版編第3図に示したとおりである。

調査は、建設工事の範囲とし、その地域において最初に試掘調査を行った。試掘調査はバックホーにより、東西・南北に数箇所のトレンチを入れた。試掘調査により遺跡の存在とその範囲が確認できたため、その範囲のすべての表土を除去した。表土の除去はバックホーを用い、その後の作業は人手によって行った。

3 グリッドの設定と国家座標について

調査地区には、図版編第4図のとおり、国家座標にしたがって3×3mのメッシュをはり、メッシュの交点に記号を与え、グリッド番号とした。この記号は、基準点を0とし、方向を表すために東・西・南・北のE・W・S・Nを、距離を表すために3mを1単位として1・2・3・4…を与え、この両者の組み合わせによって表した。例えば、基準点0から北に9m、東に24mのメッシュの交点は、N3E8となる。グリッドは、メッシュの交点を北西とする記号で表わし、包含層出土遺物に関しては、このグリッドによって取り上げている。なお、基準点0の座標値は、国家座標第Ⅷ量系に属し、X=45,468,000、Y=-22,074,000である。このグリッドによって、遺構の測量や、包含層出土遺物の取り上げを行った。

4 遺構の測量について

現地調査での実測は、このグリッドにより簡易やりかた測量を行い、さらに一部の遺構及び最終的な遺構全体測量を写真測量の専門業者に委託して行った。

第3節 調査日誌（抄）

平成6年度

- 7月15日 表土の除去が終了した地域において、遺構検出作業を始める。
- 7月26日 遺構の掘り上げを開始する。第1号溝址より始める。
- 7月27日 遺構の実測を開始する。
- 8月 3日 土壌、柱穴の掘り上げを開始する。
- 8月18日 住居址の掘り上げを始める。
- 8月27日 J.Vによる建設工事の起工式が現場にて行われる。
- 9月 2日 出土した人骨の保存科学的処理を行う。
- 9月 6日 山岸猪久馬氏から地質学のご教示を受ける。
- 9月 7日 調査地区の西側半分において、測量用航空写真を撮影する。
- 9月14日 調査地区の西側半分の調査を終了する。西側半分において建設工事開始。
- 9月19日 集石群の遺構検出作業をグリッドごとに始める。
- 9月27日 森嶋稔氏から考古学のご教示を受ける。
- 10月 6日 集石群の測量用航空写真を撮影する。
- 10月12日 西沢寿晃氏から人骨についてのご教示を受ける。
- 10月25日 測量用航空写真を撮影する。

- 10月26日 森嶋稔氏に考古学のご教示を受ける。
- 10月27日 東信病院の関係者に対して現場説明会を開く。
- 10月30日 一般の見学者に対して現場説明会を開く。
- 11月 2日 集石群から出土した人骨2体分に保存科学的処理を行い、取り上げる。
- 11月 4日 調査用機材を撤収し、現場作業小屋をたたむ。現場での調査を終える。
- 11月 7日 上田市立信濃国分寺資料館の整理室及び、上田市立清明小学校の埋文整理室において整理作業を開始する。

以後、平成7年度に引き続き整理作業を実施し、平成9年3月25日までに報告書の刊行を行い、すべての調査事業を終了した。

第二章 遺跡の環境

第1節 自然的環境

1 上田盆地

八幡裏遺跡のある上田地方は千曲川に展開する小盆地で、長野県の東部に位置する。千曲川は埼玉・山梨県の県境の山々より発生し、北に向かって緩いS字を描きながら流れ、長野県の北部を通過して新潟県に至る。上田盆地は佐久盆地と長野盆地の間、千曲川のカーブとカーブの中間の部分に形成されている。

この上田盆地の地形は、千曲川の右岸と左岸に分けてみるができる。千曲川右岸は、この盆地の北に屏風のように太郎山脈があり、神川を挟んで東方には烏帽子火山群の山麓の殿城山に囲まれる。平地は、これらの山々に囲まれて、千曲川を底辺として三角形に展開している。

左岸は北西方に川西山地があり、浦野川を挟んで南部には、川西丘陵、塩田山地、独鈷山脈と小牧山とこれらに包まれた塩田平がある。これらの山々を水源として産川が流れる。平地の全体の形としては、不規則なそら豆状または繭状をなし、松本盆地・長野盆地に比べると小さく、形状も複雑である。

2 上田盆地千曲川右岸の地形

①山地

太郎山脈…太郎山脈は盆地の北に聳え立ち、坂城町・真田町との境となっている。中央に黄金沢の溪谷があり、太郎山(1,164 m)と最高峰の東太郎山(1,300 m)とに分けている。黄金沢の西方の山頂線は多少の凹凸を見せ、岩石がちで、植生もよくない。太郎山は第三紀内村層の堅い緑色凝灰岩を主としている。上田城の石垣はこの太郎山から切り出された。虚空蔵山(1,076m)は岩肌を露出して、虚空に突出している。その南斜面は急峻で山麓線は直線的に上田盆地に接している。それに対して、黄金沢の東方は、趣を異にし、その前面に丘陵性の尾根ができています。さらに東方前面には上野と呼ばれる丘陵性の台地が付属し、この最高所は、これも虚空蔵山(762m)と呼ばれる。この台地は烏帽子火山から流出した溶岩台地で、神川左岸の矢沢方面と地質的には同質であり、もとは続いていたものである。

烏帽子火山群…神川の狭隘を挟んだ太郎山脈の東側は、烏帽子火山群の裾野が平地を囲んでいる。烏帽子岳の南西傾面の殿城山(1193.4m)の山麓は、台地状を呈して、岩清水の集落を発達させている。この山は、大富士とともに稜線以上に聳え立ち、烏帽子岳生成以前に噴出した噴火口のない寄生火山であり、烏帽子岳の溶岩がこれを避けて流れた様子が見られる。

②盆地

太郎山麓…太郎山脈の南にはいくつかの河谷が数えられ、その谷の出口には扇状地や崖錐が発達している。

この中で最も大きくみごとなのは黄金沢の扇状地で、その扇頂部に山口という谷集落があり、扇状部は一面りんご園となっている。この扇状地の南は矢出沢川に切られるが、西側は千曲川第1段丘を崩壊して、第2段丘面上にかかり、その扇末部は虚空蔵沢の出口まで及んでいる。ここは、地下水が得やすく湧き水も多い。黄金沢は、太郎山脈を胴切りにしたように、深く奥地に入り込んでいる。その奥には、石英安山岩質の凝灰中に黄鉄鉱の鉱脈があり、かつて掘った形跡がある。

この扇状地の西方では太郎山が直接平地に接し、いくつかの小溪谷の出口に崖錐が形成されている。虚空蔵沢や声沢の出口がそれで、城下町形成以前には集落が形成されていた。また、西の魚の沢扇状地の末端部には秋和鉱泉がある。

これに対し、東方では丘陵性の尾根が突出し、それに抱かれた凹地や谷間が集落で埋められ、大久保・金剛寺・伊勢山と、みごとな入集落を形成している。

狭隘部…山に囲まれたこの地も所々で切れて、隣接の地域との出入口となる狭隘部がある。大きいものでは、先にあげた神川の矢沢狭隘のほか、千曲川の岩鼻の狭隘がある。これは、上田盆地の西の門戸ともいべき狭隘部であり、太郎山脈の虚空蔵山(1,076 m)と川西山地の城山(933m)が相対峙する場所で、対岸の山とは僅か500 mにすぎない。

千曲川沿岸の段丘…千曲川沿岸には、みごとな段丘が発達している。とくに神川の合流する国分付近は、ひな段のように4段になっている。上堀から下流では3つの平坦面となり、いずれも著しく広くなる。第2の面は上田市街で埋まり、第3の面は千曲川の氾濫源であるが、市街地はここまで広がっている。

神川の扇状地…神川は矢沢の狭隘部を頂点として一大扇状地展開し、平地の部分の大半を占めている。この川は、右岸に1段、左岸に3段の段丘面を形成し、土地の隆起にしたがって、西方に移動したことを物語っている。

3 上田盆地千曲川右岸の地質

千曲川右岸の山地には、第三系の内村層・別所層などが分布する。平地に分布する第四系は下位から、虚空蔵山層・染屋層・上田泥流堆積物・河岸段丘堆積物・扇状地堆積物に区分される。以下に、山岸猪久馬・宮坂晃氏の文章を抜粋する。

植村武・山田哲雄編「第3章 新第三系」、「第4章 第四系」(『日本の地質4 中部地方I』共立出版株式会社)

①山地

内村層…本間(1927)命名。模式地は小県郡丸子町内村川ぞい。内村層およびその相当層は上田市北方・松代町・坂城町北方・更埴市・真田町・須坂市東方などに分布する。

上田市北方地域の内村層は、下位から大峰山層、太郎山層・横尾層に区分される。

大峰山層…山岸(1964)命名。模式地は上田市北方の黄金沢。同市の北方に分布する。おもに黒色泥岩からなり、まれに安山岩質で緑色の火山岩層や砂岩層をはさむ。層厚 800m以上。

太郎山層…山岸（1964）命名。模式地は上田市北方の黄金沢。同市の北方に分布する。大峰山層を整合に覆う。デイサイト質で緑色の凝灰角礫岩からなる。層厚 600m。

横尾層…山岸（1964）命名。上田市北方と松代町南東に分布する。火砕岩と黒色泥岩からなる。
（略）

別所層…本間（1927）命名。模式地は上田市別所温泉付近。上田市北方地域では神川流域によくみられ、伊勢山層（山岸、1964）とよばれる。河東山地の別所層には魚のうろこ・骨の化石が多くふくまれる。そのほか、*Chiamys cf. kaneharai*・*Palliolum peckhami*などの二枚貝、*Chclamina*などの化石が含まれる。（斎藤・赤羽、1980英）（略）

変質…上田北方地域では変質作用がみとめられる。大峰山層・太郎山層下部は曹長石・石英・緑泥岩（緑れん石）の組合わせであり、太郎山層上部から横尾層は曹長石・緑泥石質雲母の組合わせである。（山岸、1964）（略）

②盆地

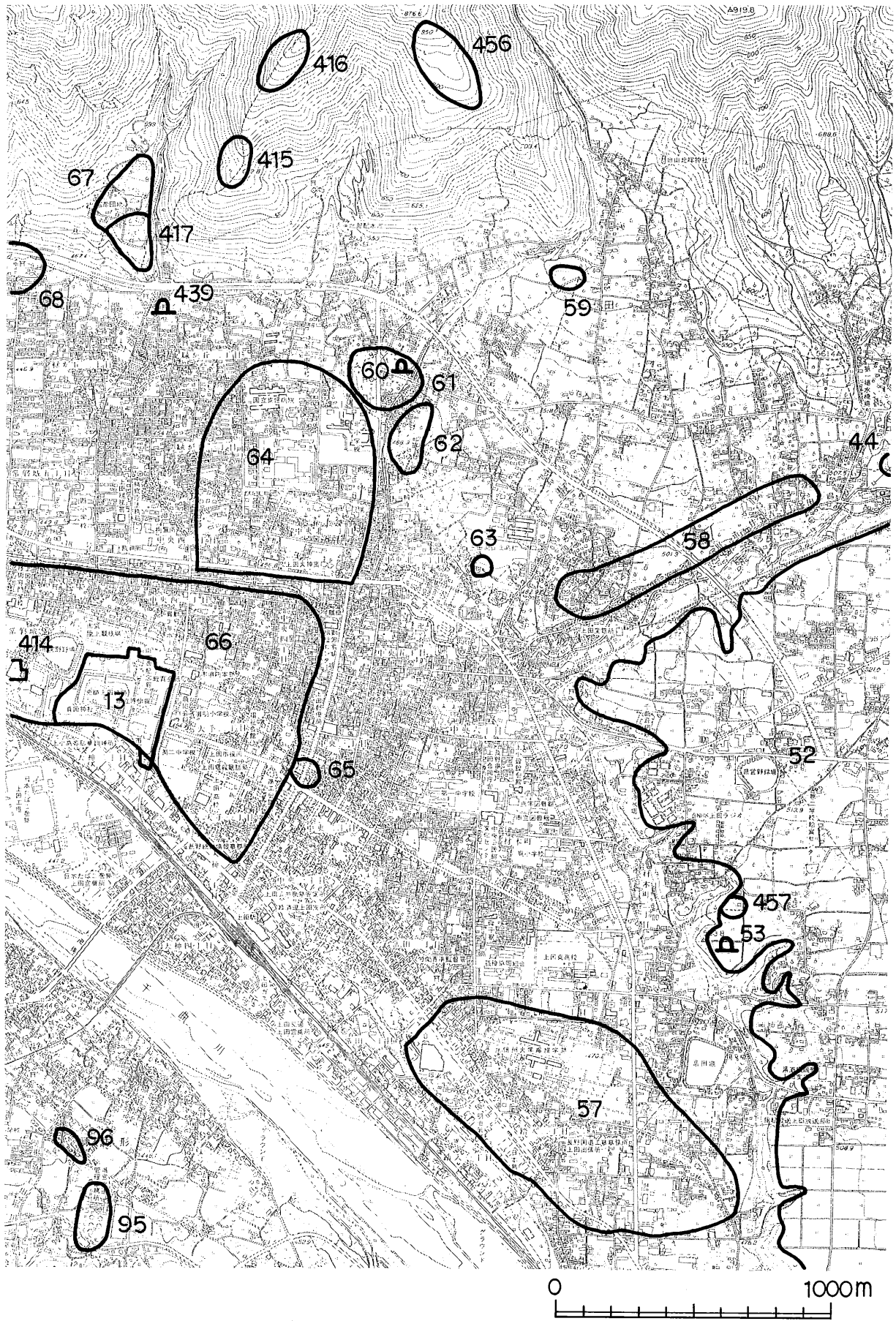
虚空蔵山層…伊藤（1977）命名。模式地は上田市北部の虚空蔵山。第四系の最下層で岩清水台地・太郎山の麓に当たる斜面を形成する。東部ではおもに烏帽子火山の安山岩質の凝灰角礫岩からなり、烏帽子火山に由来する礫層・砂層をはさむ堆積物である。北部の太郎山山麓では、おもに内村層のグリーントフの角礫からなる礫層で、北方の太郎山に由来する。岩清水では、クリアラッシュがこの層をおおっている。層厚 150m以上。

染屋層…上田市街地の地下に分布する湖成層を染屋層とよぶ。これは新期上小湖成層（飯島ほか1969）に対比される湖成層で、下部層・上部層に分けられる。層厚1から1.5mの風化火山灰層におおわれる。

下部層；模式地は千曲川河床。おもに粘土層・砂層からなり、礫層をはさむ湖成層。ボーリングの資料によれば、上田盆地の地下一帯に広く分布し（宮坂ほか1984）、千曲川の河床にも小規模に露出している。層厚50から70m以上。

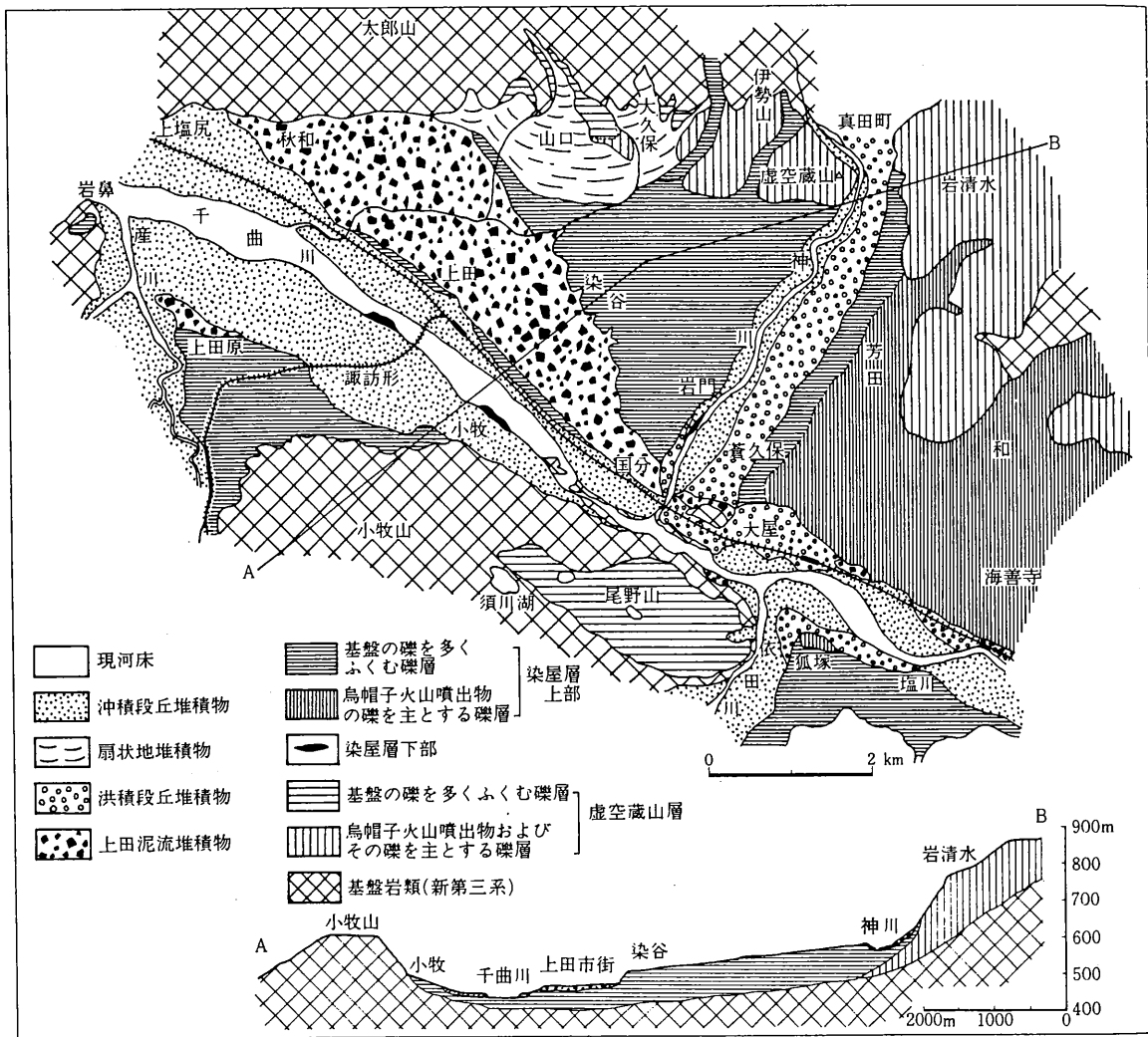
上部層；模式地は上田市染谷付近。下部層に整合にかさなる。礫層を主体とし、層厚 0.1から0.5mの砂礫を2、3枚はさむ河成堆積物である。大屋よりも東方での礫はほとんど烏帽子火山の安山岩からなり、北方の礫は安山岩礫のほかに、新第三系のグリーントフ・石英ひん岩の礫を多く含んでいる。また、千曲川よりの礫層にはチャートの礫なども僅かに含まれ、千曲川の影響を受けている。層厚約30m。

上田泥流堆積物…上田高校地学班（1975）命名。模式地は上田城跡の南側の崖。上田市街地における上田泥流堆積物は、火山灰質のマトリックスからなる泥流堆積物で、染屋層上部を削り、そのうえを覆う。この堆積物は上田から塩名田付近までの20km以上にわたり、千曲川ぞいに点々と分布するが、どこから流出したか分かっていない。厚は千曲川ぞいで8m、川から遠ざかると薄くなり4mほどになる。



第1图 周边遗迹分布图

- 13 石坪遺跡(弥生) 44 熱泰寺遺跡(縄文) 52 染谷台条理水田遺跡(弥生~平安) 1985年から数次にわたる調査
 53 向田古墳(古墳) 57 常入遺跡群(縄文~平安) 1996年上田市調査 58 金井裏遺跡(縄文~平安) 1985.1996年
 上田市調査 59 東奥山原遺跡(弥生・平安) 60 二子塚古墳(古墳) 上田市指定文化財 61 大星西遺跡(縄文・
 古墳) 62 雁堀遺跡(弥生・平安) 63 西丘遺跡(平安) 64 八幡裏遺跡(縄文・平安) 65 海野遺跡(弥生
 ・平安) 66 上田城跡(近世) 国指定史跡 67 上平遺跡(縄文~平安) 1968年上田市調査 68 殿田遺跡(平安)
 1985年上田市調査 95 渋取田遺跡(縄文) 96 中沢遺跡(平安) 414 小泉曲輪城跡(近世) 415 牛伏
 城跡(近世) 416 アラ城跡(近世) 417 北林城跡(近世) 439 豊原古墳(古墳) 456 花古城跡
 (近世) 457 染屋城跡(近世)



(植村武・山田哲雄編「日本の地質4 中部地方I」共立出版株式会社より)

第2図 遺跡周辺の地質図

河岸段丘堆積物・扇状地堆積物…千曲川ぞい・神川ぞいには河岸段丘堆積物が分布する。段丘には現河床より比高1から2 mの段丘と、6から8 mの段丘がある。いずれも千曲川・神川により運搬された礫層を主体とし、砂層を僅かにはさむ堆積物からなる。

このほか、太郎山の麓の出口から大久保にかけては、新第三系のグリーンタフの角礫からなる扇状地堆積物が分布する。

4 遺跡周辺の地形と地質

八幡裏遺跡は太郎山の南山麓にあり、市街地を見下ろす位置にある。黄金沢扇状地の西端で、和合沢の小扇状地の末端部にあたる。遺跡の北部の和合沢の崖錐の出口には、「石切」という地字名が残り、緑色凝灰岩がここから切り出されていた。遺跡のすぐ南には上田城下のかためとして建てられた海禅寺がある。この境内の湧き水を市街地に引き入れたのが、上田で最初の上水道で、柳町の保命水として名高い。この付近一帯はもとは砂礫地で一面大屋桑園といわれ、蚕種業者には大事にされた場所であったが、今は住宅地になっている。日当たりもよく、地下水も得やすい所であるが、黄金沢の押し氾濫が多い地域でもあると思われる。

第2節 歴史的環境

太郎山脈の南側山麓で、黄金沢扇状地から西側の第2段丘面にある秋和付近までの一帯を概観すると、かなりの遺跡分布がみられる。千曲川右岸の上田盆地の中でも、多くの遺跡の存在が確認されている地域といってよい。また、時代的にも縄文時代から奈良・平安時代に至るまでの遺跡があり、特に常磐城から塩尻地区の山麓線に沿って古墳時代から奈良・平安時代にかけてのものが集中している。以下に、時代ごとにそれらの遺跡の在り方を追い、八幡裏遺跡をとりまく歴史的環境をみてみたいと思う。

1 縄文時代

国立東信病院の敷地内にある、八幡裏遺跡群の思川遺跡をまずあげることができる。これは、昭和27年の病院の改築工事にともなって、五十嵐幹雄氏によって発掘調査された。その後、昭和32年に同氏によって北上田遺跡という名で『信濃』第9巻第11号に報告された。それによると、この遺跡から、中期の加曾利E式と後期の堀之内式・加曾利B式などの土器とともに磨製石斧・打製石斧を出土したが、遺構などは確認されなかった。また、この遺跡からイノシシ・ニホンジカなどの獣骨も検出されており、上田地域における縄文時代の遺跡として注目された。また、大屋神社の北西方の大屋西遺跡でも、加曾利E式土器片などが表採されており、思川遺跡と一連のもの、とらえることができる。

太郎山南斜面の虚空蔵沢の出口付近の山腹のテラス状台地には、上の平遺跡がある。ここからは中期の加曾利E式土器が出土するといわれているが、昭和43年に実施された上平地区畜産団地建設に伴う発掘調査では、それらは発見されなかった。

2 弥生時代

この地域の弥生時代の遺跡は、八幡裏遺跡群の八幡裏遺跡や前述の上の平遺跡などの僅かにみられる。しかし、この時代の遺跡は、この地域より南に広がる上田市街地の存在する平坦部に多く分布していることが知られている。

八幡裏遺跡からは、すでに廃線となった上田交通北東線の敷設のうちに、中期の土器が僅かに発見された。

上の平遺跡からは、昭和43年の上田市教育委員会による発掘調査の際に、後期の箱清水式土器を多く出土する土壌を検出した。

また、昭和60年に国道18号上田バイパス改築工事に伴って発掘調査された金井裏遺跡からは、後期の箱清水式土器とそれに伴う住居址が1軒発見された。

3 古墳時代

雁堀遺跡、八幡裏遺跡などにおいて、僅かにこの時代に属する土師器が採集されている。しかし、発掘調査があまり行われていなく、前述の金井裏遺跡の調査の時に古墳時代初めの遺物を伴う住居址が1軒検出されているほか、遺構については今後に残されてるといってよい。

また、古墳は、上田周辺でも最も古いといわれる秋和大蔵京古墳と二子塚古墳があげられる。

秋和大蔵京古墳は、秋和集落の北西にある秋和霧原野神社の境内にある方墳である。この古墳は、昭和43年度に上田市指定文化財に指定された。『上田市指定文化財調査報告書』第4号によると、墳丘の北側面に段があり、葺石とみられる石列が一部にみられる。その後、新たに昭和59年に筑波大学によって調査され、その成果は常木晃・望月保宏氏によって『信濃』第38巻第4巻に報告された。それによると、本古墳は、基底部の一辺が32mから35mで、高さは8mから5mをはかる。さらに、この古墳は、墳丘上から検出された古式土器片などから、築造の時期をおよそ4世紀末葉から5世紀前半に比定されることが明らかとなった。

二子塚古墳は大星神社の東側に、神社に接するように存在している。この古墳は東信地方唯一の前方後円墳として知られている。昭和42年度に上田市指定文化財に指定され、その後、筑波大学によってさらに調査された。昭和59年発行の『上田の文化財』によると、その規模は次のとおりである。前方部の長さは約26m、最大幅は約25m、高さは5mであり、後円部の長さは約25m、最大幅は約39m、高さは約6mである。そして、中軸線の総長は約51mである。また、この古墳は周囲に4基の陪塚をもっている。なお、北側に周湟の一部とみられるくぼみが残っている。現状は後円部に秋葉神社社殿を建立したり、前方部に二子明神の石祀なども祭られているため、墳丘の各所が削平されており、当初はさらに大きかったとみられる。従来は6世紀前半の築造と想定していたが、周辺から採集される円筒埴輪の破片などによって、この古墳も、それより古くみられるようになった。

後期古墳では、秋和・塩尻地域を中心として、かつては6基ほどが確認されていた。しかし、そのほとんどが破壊され、虚空蔵山中腹の標高620m付近に彌阿陀平古墳（円墳）1基が現存しているだけである。

昭和62年に、公共下水道工事中に地下から発見され、上田市教育委員会によって調査された豊原古墳は、この時期の古墳である。この古墳からは、推定5体の人骨と太刀5口と、刀装具、鉄鏃、鉄製品や、金環、ガラス小玉などが出土した。しかし、遺構は発見された時点でかなり破壊

されていて、石室玄室の西側だけが調査された。

なお、『小県郡誌』によれば、豊原古墳に近接するところで、字名「塚穴」と呼ばれる場所にも2基の古墳があったことが記載されている。そのことから、かつてはこの山麓面一帯にいくつかの後期古墳が築造されていたと思われる。

4 奈良時代以後

奈良時代から中世にかけての遺物は、この地域の遺跡から多量に発見されているが、今まで発掘調査があまり行われていないため、詳細は不明である。

前述した上の平遺跡の調査では奈良時代の須恵器窯一基が確認されている。

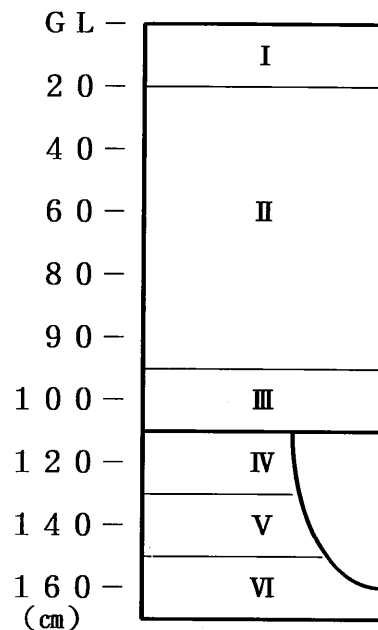
昭和60年に国道18号上田バイパス改築工事に伴って調査された殿田遺跡からは、奈良時代から平安時代の住居址5軒とそれに伴う遺物が検出された。さらに、この調査において、遺構外から「和銅開弥」が発見された。

また、同年に同じ理由で調査された金井裏遺跡から土師質土器（内耳土器など）、青磁、近世陶器などが遺構外から出土した。

第3節 基本的層序

八幡裏遺跡の今回調査した地区の基本層序は図示したとおりである。

- I層 盛土。褐灰色（7.5YR4/1）を呈する。砂質で礫を多く含む。
- II層 扇状地堆積物の層。褐色（10YR4/4）を呈する。シルト質で、I層よりも粒子は細かい。2cmから3cm大の亜角礫を多く含む。かなり、成層した部分がある。
- III層 遺物を包含する層。黒褐色（7.5YR2/2）を呈する。粒子はシルト質で、II層より粘り気がある。礫はほとんど含まない。
- IV層 暗褐色（7.5YR3/3）を呈する。III層より赤みを帯びて見える。粒子はシルト質でIII層より粗く、礫はほとんど含まない。この層の面より遺構を検出した。
- V層 褐色（7.5YR4/4）を呈する。砂質で5cmから6cmの亜円礫をととも多く含む。
- VI層 褐色（10YR4/4）を呈する。粒子はシルト質で、少し粘り気がある。礫をほとんど含まない。



ただし、III層とV層は部分的に存在しない場所があった。また、調査した地区の西側半分はII層が削平されその削平された部分に盛土が施され、III層とIV層が部分的に攪乱を受けていた。

第三章 調査の結果

1 調査の概要

縄文時代

本調査では、縄文時代中期後葉から後期中葉の遺物を多く出土した。曾利V式系、称名寺式系、堀之内I、II式系、加曾利B式系の土器のほか、北陸系の三十稲場式の土器も出土している。

住居址では、第11号、第14号、第15号、第23号、第24号、第25号及び第26号住居址があり、敷石が確認できなかったものもあるが、当初はすべてが敷石住居址であったと思われる。これら住居址の時期は、第11号住居址では、後期初頭から前葉の土器が出土し、第14号住居址からは、中期後葉の土器が出土している。第15号住居址では、遺物の数が少なく確定しがたいが、後期前葉と考えられる。第23号住居址では、中期後葉から後期初頭の土器が出土し、第24号住居址の炉胎土器は後期初頭に比定される。第26号住居址では中期後葉から後期初頭の土器が出土した。第11号住居址と第26号住居址は、柄鏡形を呈して検出された。そのほか、張り出し部は確認されなかったが、第23号、第24号及び第25号住居址も柄鏡形を呈すると考えられる。第24号住居址では、床に鉢状にくりぬかれたくぼみ石が埋設されていることや、その石と炉の中心を結ぶ軸線の左右に石列が検出していることから、柄鏡形を呈すると考えられる。第23号住居址は、鉄平石と偏平の石が出土する分布状況から、柄鏡形を呈すると考えられる。第25号住居址は、第11号住居址の張り出し部のさらに先から検出された。第11号住居址の一部とも考えられたが、鉢状にくりぬかれたくぼみ石や立石の位置から、軸線が異なるため、第11号住居址と重複する別の住居址の張り出し部と考えた。第11号住居址は、表土を除去した段階で、土の色等の違いからおおよその平面形プランを把握することができた。第26号住居址は、第24号住居址の床面にトレンチを入れている時に敷石が発見されることによって確認された。この2件を除いた住居址は、表土を除去している時に敷石が発見されたものであり、そのため、検出面と床面の高さに差はほとんど無い。地面を掘り窪めて構築されたものなのか否かは確認できなかった。第25号住居址を除いて、これらの住居址すべてで炉が確認された。すべて、方形の石囲い炉である。これらの炉の位置は、主体部のほぼ中央に掘り込まれていると思われるが、第11号住居址以外、主体部の正確な平面形態が判る住居址が無いので、断定はできない。炉の中に土器が据えられていたものは、第14号、第15号、第24号及び第26号住居址である。第24号と第26号住居址の炉の中から灰を含んだ良く焼けた土が検出されている。

土壌を見ると、そのほとんどから縄文時代中期後葉から後期中葉の土器片が出土している。土師器、須恵器等も出土している数件の土壌以外は、縄文時代の土壌と考えられる。第23号土壌からは熱を受け変色した緑色凝灰岩の破片が多量に出土し、第35号、第44号、第45号及び第47号土壌からは人骨が出土した。このうち、第35号土壌の人骨（人骨-1）以外のは屈葬位を呈しており、縄文時代の墓塚と考えられる。これらに関しては、信州大学医学部の西沢寿晃先生に詳しい調査をお願いし、本書にその結果を掲載した。

集石では、正確な形態や、遺構としての性格が判るものは無かった。明確な時代が判るものは無いが、石間等から出土した遺物により、縄文時代中期後葉から後期中葉のものと考えられる。第3号集石とそのグリッドN10E43、N11E43からは、多量の加曾利B II 併行段階の土器が出土した。ほとんどが調査地区の東側、E41グリッドからE43グリッドの間に集中して検出されている。それらの集石は、ある程度意識的に並べられたと思われ、比較的大きな緑色凝灰岩が使われ、中には熱を受けた跡が見られるものが多くあった。人骨を出土した土壌である第44号、第45号及び第47号土壌もこの地域に検出されていることから、こ

の場所は集落の中の墓域の可能性があり、これらの集石のいくつかは墓墳であるとも考えられる。また、この地域以外で検出された第1号、第8号及び第11号集石では、多量の細かい礫が集中していたが、個々の石の配置に秩序があるようには思われない。第8号集石は、礫の下からほぼ完形の堀之内I式期の土器が出土している。

そのほか特殊な遺物としては、第11号住居址から4個体の注口土器と吊り手土器が出土している。第3号集石、N10E37・N10E43グリッドからも注口土器が出土している。第13号住居址の覆土、N15E41グリッドとトレンチ8からは土偶が出土し、第24号住居址、第3号集石、第1号溝址、N10E43・N13E40グリッドからはミニチュア土器が出土している。また、第4号土壇からは土製勾玉が、第13号住居址、N12E41グリッドからは土製円盤が、N13E41グリッドからは土製品が出土している。さらに、第11号住居址と第1号溝址から大珠を出土している。また、第9号、第11号、第15号、第19号、第24号、第26号住居址、第8号、第9号、第26号、第33号土壇、集石群の周辺のグリッド、第1号溝址からは動物の骨が出土しており、これらについても西沢先生に詳しい調査をお願いした。

第13号、第19号住居址からも縄文土器が出土しているが、攪乱を受けているため時代は不明である。

奈良・平安時代

奈良、平安時代の住居址は、第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第17号、第18号、第19号、第20号、第21号及び第22号住居址である。時期は、出土した遺物からみて、第3号、第18号及び第20号住居址は、10世紀後半から11世紀前半、第12号住居址は8世紀ごろで、それ以外の多くは9世紀後半から10世紀前半と思われる。黒色処理を施されている坏、椀を多く出土し、第18号、第20号及び第22号住居址からは、両面を黒色処理されている椀、皿が出土している。また、第5号住居址からは墨書土器が、6件の住居址からは灰釉陶器が出土している。

遺構は、全体的に残りが良いとはいえず、遺構検出面から床面の高さまでが比較的浅いものが多く、正確な形態が判らないものもあった。これら住居址の平面形態は、隅丸長方形もしくは方形を呈している。

覆土に炭化した木の破片を含む住居址もある。第5号、第13号、第19号、第20号、第21号及び第22号住居址で、焼失住居址の可能性もある。また、第5号と第9号、第12号及び第19号住居址では、覆土に大きな石が多量に含まれており、住居址が廃棄された時かその後に入れられたものと思われる。

床に貼り床が施されているのは、第9号、第12号、第13号、第17号、第20号、第21号及び第22号住居址で、黒褐色の土が貼られている。貼り床は第12号と第20号住居址以外は、部分的に検出された。

柱穴は、確認された住居址と、全く確認されなかった住居址があった。確認されたものでも第13号住居址を除いて、配置に規則性があるものはなかった。

竈は第4号、第5号、第9号及び第12号住居址で確認され、すべて石組みカマドである。どれも大きく崩壊している。第12号住居址の竈は、燃焼部が壁を掘り込んで構築されている。第3号、第18号、第20号、第21号及び第22号住居址は、袖の構築土や芯石は検出されなかったが、壁の近くの床面が焼けており、竈の痕跡と思われる。

本遺跡の調査の最大の成果は、従来、遺跡の分布が少ないと考えられていた太郎山山麓の遺跡の在り方を再考せざるを得なくなったことである。それは、全体に土砂の被覆の少ない上田盆地において、こうした扇状地の押し出しで、遺跡が地中深く埋没し、「遺跡がない」のではなく、「遺跡が確認しにくい」状態になっているだけのことを知らしめた。今後のこの地域の遺跡の調査・研究の一助になれば幸いである。

2 遺構観察表

第1号住居址

遺構実測図 第5図	遺構写真図版 ページ	遺物実測図 第74図	そ の 他	柱 穴	P1(0.19x0.19x0.10) 単位はm			
位	グリッド	N3E8, N3E9		の 竈	位置	不明	規模	不明
置	標高	469.91m~470.00m			覆土	不明		
規 模	規模	3.90m×?	床面積	不明	備 考	南半分は調査地区から外れているため、未調査である。砂質で礫を多く含む場所を掘り込んでいる。床は凹凸があり、しまりが無い。第16号、59号ピットと重複し、壁と床を切られている。竈は不明である。		
	壁高	西壁0.08m、東壁0.12m						
覆土	1 5YR2/3極暗赤褐色砂質土							
形 態	平面形態	隅丸長方形?	主軸方位	N- 5.0° -W				
その他	壁の立上りは緩やかである。							

第2号住居址

遺構実測図 第6図	遺構写真図版 ページ	遺物実測図 第75図	そ の 他	柱 穴	不明			
位	グリッド	N4E26, N4E27		の 竈	位置	不明	規模	不明
置	標高	472.24m~472.30m			覆土	不明		
規 模	規模	4.57m×?	床面積	不明	備 考	南半分は調査地区から外れているため、未調査である。砂質で礫を多く含む場所に掘り込まれている。床は凹凸があり、しまりが無い。竈は不明である。		
	壁高	西壁0.36m、東壁0.40m						
覆土	1 7.5YR 2/2 極暗赤褐色砂質土							
形 態	平面形態	隅丸長方形?	主軸方位	不明				
その他								

第3号住居址

遺構実測図 第7図	遺構写真図版 ページ	遺物実測図 第76図	そ の 他	柱 穴	P1(0.58x0.53x0.14)P2(0.44x0.35x0.08)P3(0.75x0.65x0.09)P4(0.53x0.51x0.10)P5(0.34x0.26x0.09)P6(0.48x0.42x0.17)P7(0.32x0.32x0.11)P8(0.34x0.28x0.14)			
位	グリッド	N8E9, N8E10, N9E9, M9E10,		の 竈	位置	東壁	規模	不明
置	標高	470.49m~470.56m			覆土	不明		
規 模	規模	4.50m×?	床面積	不明	備 考	第1号溝址と重複して壁と床を切られる。こぶし大の礫を多く含む土を掘り込んでいる。木の根によって攪乱され、平面形プラン明確ではなく、床は部分的に堅くしまる。柱穴はどれもこの住居址に伴うか不明である。竈は東壁近くの床上に、焼土を多く含む土と熱を受けた石が検出されたが、これは崩壊した竈の跡と考えられる。		
	壁高	南壁0.06m、西壁0.12m						
覆土	1 5YR2/410YR4/6 極暗赤褐色砂質土、2 10YR4/6 褐色砂質土、3 10YR3/4 暗褐色砂質土							
形 態	平面形態	隅丸長方形?	主軸方位	N- 7.5° -E				
その他								

第4号住居址

遺構実測図 第8, 9図	遺構写真図版 ページ	遺物実測図 第77図	そ の 他	柱 穴	なし			
位	グリッド	N8E19, N8E20, N9E19, N9E20		の 竈	位置	北壁東寄り	規模	焼土の部分(1.00m×0.85m)
置	標高	472.10m~472.20m			覆土	1 5YR3/3暗赤褐色砂質、2 1に炭化物を含む		
規 模	規模	3.06m×2.82m	床面積	7.0 m ²	備 考	第28号土壇と重複して切る。上水道管敷設の工事の跡と重複して東壁を切られる。礫を多く含む土を掘り込んでいる。床は堅くしまりが有る。竈は北壁の東端に設けられていたと思われるが崩壊している。支脚と袖の芯に用いられたと思われる石が残るが、袖の構築土と火床面は検出されなかった。		
	壁高	南壁0.06m、東壁0.20m						
覆土	1 5YR3/2暗赤褐色シルト土							
形 態	平面形態	隅丸長方形	主軸方位	N- 2.0° -W				
その他								

第1表 竪穴住居址観察表(1)

5号住居址

遺構実測図 第10図、第11図	遺構写真図版 ページ4・5	遺物実測図 第78図	そ	柱穴	P1(0.48×0.47×0.12), P2(0.3×0.28×0.08)単位はm					
位	グリッド	N9E22, N10E22, N10E23, N11E22, N11E23		の	位置	東壁中央	覆土	不明	形態	石組み
置	標高	472.52m~472.60m		他	規模	0.86m×0.56m P1(0.46×0.56)P2(0.35×0.28)F3(0.38×0.38) 単位はm				
規	規模	4.40m×3.48m	床面積	13.88 m ²	備	覆土に比較的大きな亜角礫と炭化した樹木の破片を多く含む。床は比較的堅くしまりがある。柱穴はすべてこの住居址に伴うか不明である。竈は東壁近くの覆土からブロック状の焼土が多く検出され、熱を受けた石が散らばっているため、そこに設けられていたと思われる。床に熱を受けて赤色を呈する部分が数箇所あるので、竈を作り直しているかもしれない。				
模	壁高	西壁0.04m、北壁0.14m								
覆土	1 5YR2/3極暗赤褐色シルト土									
形	平面形態	隅丸長方形	主軸方位	N-1.5°-W	考					
態	その他									

第7号住居址

遺構実測図 第12図	遺構写真図版 ページ5	遺物実測図 第79図	そ	柱穴	P1(0.57×0.50×0.28), P2(0.29×0.23×0.10), P(0.52×0.50×0.08)					
位	グリッド	N8E20, N8E21, N8E22, N9E20, N9E21, N9E22		の	位置	不明	規模	不明		
置	標高	472.36m~472.45m		他	覆土	不明				
規	規模	3.16m×3.10m	床面積	7.94m ²	備	上水道管敷設の工事の跡と重複して南西と南東の壁と床を切られる。床は凹凸が著しく、しまりがない。一部に攪乱を受けていると思われる。柱穴はこの住居址に伴うか不明である。竈は不明である。北壁近くの床が浅く掘り込まれ、その覆土からブロック状の焼土がわずかに検出された。これが竈の跡かもしれない。				
模	壁高	西壁0.05m、北壁0.15m								
覆土	1 5YR2/2黒褐色砂質土、2 7.5YR3/3暗褐色砂質土（礫含む）									
形	平面形態	方形	主軸方位	N-41.0°-W	考					
態	その他									

第8号住居址

遺構実測図 第13図	遺構写真図版 ページ5	遺物実測図 第80図	そ	柱穴	なし					
位	グリッド	N14E27, N14E28, N15E27, N15E28		の	位置	不明	規模			
置	標高	473.72m~473.85m		他	覆土	不明				
規	規模	3.18m×?	床面積	不明	備	木の根によって著しく攪乱を受けている。平面形は崩れている。床面は凹凸があり、部分的に堅くしまっている。西壁近くの床土の覆土からブロック状の焼土を検出したが、これが竈の跡かどうか不明である。				
模	壁高	北壁0.22m、南壁0.07m								
覆土	1 5YR 2/2 黒褐色砂質土									
形	平面形態	隅丸長方形	主軸方位	不明	考					
態	その他									

第9号住居址

遺構実測図 第14図	遺構写真図版 ページ6	遺物実測図 第81図	そ	柱穴	なし					
位	グリッド	N15E30, N15E31, N16E30, N16E31		の	位置	東壁南より	規模	0.92m×0.92m		
置	標高	474.02m~474.12m		他	覆土	不明				
規	規模	3.45m×3.14m	床面積	8.08m ²	備	第1号掘立て柱建物址と重複し、東壁を切られる。覆土に大きな亜角礫が多く含まれている。床は黒褐色で砂質の土が貼られていたと思われる。東壁近くの床が浅く掘り込まれており、熱を受けて赤色を呈しているため、ここが竈だったと考えられる。				
模	壁高	南壁0.15m、北壁0.30m								
覆土	1 5YR/2 黒褐色砂質土									
形	平面形態	隅丸長方形	主軸方位	N-7.0°-E	考					
態	その他									

第2表 竪穴住居址観察表(2)

第11号住居址

遺構実測図 第15, 16, 17図	遺構写真図版 ページ6・7	遺物実測図 第82図	そ の 穴	P1(0.35×0.35×0.40)P2(0.45×0.35×0.30)P3(0.30×0.28×0.42) P4(0.60×0.52×0.50)P5(0.40×0.38×0.32)P6(0.39×0.35×0.46) P7(0.43×0.38×0.38)P8(0.50×0.44×0.22)P9(0.40×0.38×0.16) P10(0.40×0.40×0.42)P11(0.46×0.40×0.28)P12(0.54×0.52×0.46) P13(0.74×0.39×0.23)P14(0.42×0.39×0.27)P15(0.40×0.38×0.24)P16(0.44×0.42×0.38)P17(0.34×0.32×0.20) 単位はm
位 置	グリッド	N13E38, N13E39, N14E37, N14E38, N14E39, N15E37, N15E38, N15E39	他 の 穴	位置 中央 規模 0.74m×0.73m 形態 方形
標 高	474.00m~474.05m		他 の 穴	覆土 1 5YR3/3暗赤褐色シルト土(焼土含む)
規 模	規模 4.70m×4.50m	床面積 11.28㎡	備 考	2軒の住居址が重複して切り合っている可能性があったが新旧関係は確認されなかったので、1軒として掘り上げた。覆土に大きな亜角礫、鉄平石、獣の骨粉が多量に含まれる。床は凹凸が少なく、しまりが無い。張り出し部の壁には河原石が小口積みされていた。主体部の床に石は敷かれていなかったが、かつて敷かれていた可能性がある。柱は段上と段下に二重に巡っている。炉の縁石は河原石2個と角礫2個からなり、南西の石は倒れたものと思われる。これらの炉縁石は熱を受けて赤色を呈し、割れているものもあった。炉の覆土にわずかな焼土が含まれていたが、底部に灰はなかった。
壁高	南西壁0.23m、北壁0.40m			
覆土	1 2.5YR3/3暗赤褐色砂質土、2 5YR3/4暗赤褐色砂質土			
形 態	平面形態 柄鏡形	主軸方位 N-54.0° -W		
その他	壁は階段状に床より立上がる。			

第12号住居址

遺構実測図 第18, 19図	遺構写真図版 ページ7・8	遺物実測図 第83図	そ の 穴	P1(0.42×0.41×0.10)P2(0.43×0.42×0.15)P3(0.48×0.43×0.08) P4(0.46×0.42×0.21)P5(0.49×0.42×0.18)P6(0.60×0.56×0.21)
位 置	グリッド	N10E34, N10E35, N10E36, N11E34, N11E35, N11E36	他 の 穴	位置 東壁中央 規模 1.40m×1.10m
標 高	473.75m~473.80m		他 の 穴	覆土
規 模	規模 5.40m×5.26m	床面積 24.4㎡	他 の 穴	形態 石組み
壁高	南壁0.24m、北壁0.46m		備 考	床は黒褐色の砂質土を貼っていて、堅くしまりがあり凹凸が少ない。柱穴はP1、P2、P3、P4が主柱穴と思われる。竈は袖の芯石と構築土がわずかに残る。火床面は熱を受けて、赤色を呈して堅くする。火床面は床面より浅く掘り窪められている。貼床の土を剥がすとP4の西側の床が熱で赤色を呈していた。遺物は覆土からも床上からもほとんど出土しなかった。
覆土	1 5YR3/2暗赤褐色土			
形 態	平面形態 隅丸方形	主軸方位 N-35° -E		
その他	壁は、東壁は緩やかに立上がり、他の3方は直立ぎみに立つ。			

第13号住居址

遺構実測図 第20, 21図	遺構写真図版 ページ8	遺物実測図 第84図	そ の 穴	P1(0.84×0.65×0.22)P2(0.94×0.78×0.33)P3(0.60×0.58×0.16) P4(0.18×0.17×0.38)P5(0.21×0.15×0.26)P6(0.20×0.17×0.21) P7(0.46×0.37×0.12)P8(0.19×0.17×0.17)P9(0.22×0.22×0.12) P10(0.22×0.19×0.20)
位 置	グリッド	N16E39, N16E40, N17E39, N17E40	他 の 穴	位置 なし 覆土 なし
標 高	474.86m~474.95m		他 の 穴	形態 なし 規模 なし
規 模	規模 3.80m×3.78m	床面積 12.36㎡	備 考	南西の隅は地山ごと削れて消失している。覆土に炭化物を多く含む。床に黒褐色で砂質の土を貼っていたと思われる。柱穴は北側の3つは直径や深さが同じくらいで、この住居址に伴っていると考えられる。竈は構築された跡は認められなかった。
壁高	西壁0.08m、東壁0.46m			
覆土	1 2.5YR2/2極暗赤褐色砂質土			
形 態	平面形態 隅丸方形	主軸方位 N-5.0° -E		
その他				

第14号住居址

遺構実測図 第22, 23図	遺構写真図版 ページ8・9	遺物実測図 第85図	そ の 穴	
位 置	グリッド	N9E37, N10E37, N10E38, N11E37	他 の 穴	位置 中央 規模 0.60m×0.55m
標 高	474.00m~474.06m		他 の 穴	覆土 1 2.5YR3/3暗赤褐色土シルト土
規 模	規模 3.2m×2.8m	床面積 不明	他 の 穴	形態 方形
壁高	不明		備 考	敷石住居址であり、炉縁石以外は偏平の河原石を用いている。石は部分的に敷かれ、表土を除去している時に発見された。掘り窪められた形跡は平面から確認できず、敷石が出て初めて発見された。特に炉の周囲は石がない。柱穴はこの住居に伴うか不明である。炉は4つの河原石からなり、その石も熱を受けて割れたり欠損したりしている。炉の覆土に焼土と灰はほとんど検出されず、底も焼けていなかった。炉の中から土器の底部が正位に出土した。
覆土	1 2.5YR3/3暗赤褐色土シルト土			
形 態	平面形態 方形	主軸方位 N-27.5° -E		
その他				

第3表 竪穴住居址観察表(3)

第15号住居址

遺構実測図 第24, 25図	遺構写真図版 ページ 9	遺物実測図 第86図	柱 穴	P1(0.23×0.19×0.16)P2(0.27×0.23×0.18)単位はm							
位	グリッド	N9E18, N9E19, N10E18, N10E19			の	位置	中央	規模	0.48m×0.45m		
置	標高	473.10m~473.15m			他	覆土	1 5YR3/2暗赤褐色土シルト土				
規	規模	2.85m×2.40m	床面積	不明	備	形態	方形				
模	壁高	不明				考	敷石住居址であり、表土を除去している時に発見された。掘り進められた形跡は平面から確認できず、敷石が出て初めて発見された。偏平の河原石と鉄平石を用いている。石は部分的に敷かれており、初めから敷かれていなかったのか、後に剥がされたのかは確認できなかった。柱穴はこの住居に伴うか不明である。炉は4つの河原石からなり、その石も熱を受けて割れたり欠損したりしている。炉の覆土から獣の骨の破片が僅かに出土したが、焼土と灰はほとんど検出されず、底も焼けていなかった。炉の中から土器の底部が正位に出土した。				
覆	1 5YR3/2暗赤褐色土シルト土			形			平面形態	不明	主軸方位	N-41.0° -W	
態	その他						その他				

第17号住居址

遺構実測図 第26図	遺構写真図版 ページ 9	遺物実測図 第87図	柱 穴	なし							
位	グリッド	N16E29, N16E30, N17E29, N17E30			の	位置	不明	規模	不明		
置	標高	474.40m~474.53m			他	覆土	不明				
規	規模	3.52m×3.06m	床面積	7.72㎡	備	形態	不明				
模	壁高	南壁0.10m、北壁0.19m				考	礫を多く含む地山を掘り込んで造られている。地山ごと削平されていて壁の残存が少ない。床は黒褐色の砂質土を貼っていたと思われる。表面は凹凸が著しい。柱穴はない。竈は不明である。				
覆	1 5YR3/2暗赤褐色砂質土、2 5YR4/6赤褐色砂質土			形			平面形態	隅丸長方形	主軸方位	N-13.0° -E	
態	その他						その他				

第18号住居址

遺構実測図 第27図	遺構写真図版 ページ 10	遺物実測図 第88図	柱 穴								
位	グリッド	N19E30, N19E31, N20E30, N20E31			の	位置	東壁?	規模	不明		
置	標高	474.74m~474.84m			他	覆土	不明				
規	規模	4.04m×3.74m	床面積	不明	備	形態	不明				
模	壁高	南壁0.06m、北壁0.08m				考	礫を多く含む地山を掘り込んで造られている。地山ごと削平されていて壁の残存が少ない。床は凹凸が著しく堅い。竈は不明であるが、東壁の南側近くの床上に、ブロック状の焼土が多く含まれた覆土が検出された。				
覆	1 5YR3/2暗赤褐色砂質土(礫含む)、2 1にブロック状の焼土を含む			形			平面形態	隅丸長方形	主軸方位	N-10.5° -E	
態	その他						その他				

第19号住居址

遺構実測図 第28図	遺構写真図版 ページ 10	遺物実測図 第89図	柱 穴	P1(0.36×0.33×0.20)P2(0.53×0.47×0.26)							
位	グリッド	N16E37, N16E38, N17E37, N17E38			の	位置	不明	規模	不明		
置	標高	474.80m~474.85m			他	覆土	不明				
規	規模	不明	床面積	不明	備	形態	不明				
模	壁高	不明				考	南半分は地山ごと削平されて消失している。覆土に焼土と炭化した樹木の破片を多く含む。中央にある土塊状のピットはこの住居址に伴うと思われる。竈は不明である。第34号土塊に床を切られる。				
覆	1 7.5YR4/3褐色砂質(炭化物含む)			形			平面形態	隅丸長方形?	主軸方位	不明	
態	その他						その他				

第4表 竪穴住居址観察表(4)

第20号住居址

遺構実測図 第29図	遺構写真図版 ページ 10	遺物実測図 第90図	そ の 他	柱 穴	P1(0.26×0.20×0.11)P2(0.80×0.76×0.24)P3(0.30×0.28×0.18) P4(0.38×0.32×0.07)単位はm			
位 置	グリッド	N4E28, N4E29, N4E30, N5E28, N5E29, N5E30		の 竈	位置	東壁?	規模	焼土の部分0.90m×0.85m
規 模	規模	4.40m×?	床面積	不明	覆土	不明		
覆 土	壁高	北壁0.03m、東壁0.18m		他	形態	不明		
形 態	平面形態	隅丸長方形?	主軸方位	N-2.0°-W	備 考	2軒の住居址が重複していて、新旧関係はよく分からなかった。小規模の土石流によって覆土や床が削られていた。覆土に焼土と炭化した樹木の破片を多く含む。床はコンクリートのように堅くしまっていた。東壁の近くの床の一部が赤色に焼けていて、そこに竈があったと思われる。		
態	その他							

第21号住居址

遺構実測図 第30図	遺構写真図版 ページ10・11	遺物実測図 第91図	そ の 他	柱 穴	P1(0.26×0.24×0.05)P2(0.27×0.24×0.08)P3(0.26×0.24×0.07)			
位 置	グリッド	N4E28, N4E29, N5E28, N5E29, N6E28, N6E29		の 竈	位置	北壁?	規模	焼土の部分0.80m×0.60m
規 模	規模	5.80m×?	床面積	不明	覆土	不明		
覆 土	壁高	東壁0.20m		他	形態	不明		
形 態	平面形態	隅丸長方形?	主軸方位	不明	備 考	2軒の住居址が重複していて、新旧関係はよく分からなかった。本住居址は、第20号住居址に床から切られ、第41号土壇の壁を切っていると思われる。覆土から炭化した樹木の破片が検出された。床は黒褐色の砂質の土を貼っていて、表面は堅くしまりがあ。竈は不明であるが、北壁に焼けた跡がある。		
態	その他							

第22号住居址

遺構実測図 第31図	遺構写真図版 ページ 11	遺物実測図 第92図	そ の 他	柱 穴	P1(0.18×0.16×0.20)P2(0.29×0.28×0.22)P3(0.28×0.24×0.12) P4(0.24×0.22×0.18)P5(0.22×0.21×0.12)P6(0.60×0.57×0.09) P7(0.37×0.27×0.09)P8(0.26×0.24×0.09)P9(0.24×0.23×0.08) P10(0.80×0.60×0.15)P11(0.24×0.24×0.06)P12(0.22×0.18×0.08) P13(0.22×0.18×0.10)			
位 置	グリッド	N10E38, N10E39, N11E38, N11E39		の 竈	位置	北壁東側?	規模	焼土の部分0.80m×0.50m
規 模	規模	4.20m×?	床面積	不明	覆土	不明		
覆 土	壁高	北壁0.22m、東壁0.16m		他	形態	不明		
形 態	平面形態	隅丸長方形?	主軸方位	N-4.5°-W	備 考	南壁と西壁は地山ごと削平され、消失している。覆土から焼土と炭化した樹木の破片が検出された。床は黒褐色の砂質の土を貼っていて、表面は凹凸が著しい。北壁の東側が赤色に焼けていて、熱を受けた石が立っているため、そこが竈であったと思われる。また、東壁の南寄りの近くの床上から焼土がブロック状になって出土した。		
態	その他							

第23号住居址

遺構実測図 第32,33図	遺構写真図版 ページ 11	遺物実測図 第93図	そ の 他	柱 穴	P1(0.28×0.28×0.09)P2(0.28×0.26×0.11)P3(0.24×0.24×0.10)			
位 置	グリッド	N12E36, N13E35, N13E37, N14E36, N14E37		の 炉	位置	中央	規模	0.53m×0.46m
規 模	規模	3.86m×3.45m	床面積	不明	覆土	1 7, 5YR2/2黒褐色土		
覆 土	壁高	不明		他	形態	方形		
形 態	平面形態	柄鏡形	主軸方位	N-9.5°-E	備 考	第11号住居址と第25号住居址と重複している。新旧関係はわからないが、この住居址は第11号住居址と第25号住居址に切られていると思われる。表土を除去している時に発見された。掘り進められた形跡は確認できず、敷石が出て初めて発見された。床は鉄平石と偏平の緑色凝灰岩の小片がわずかにあり、敷石住居址であったと思われる。柱穴はこの住居址に伴うか不明である。炉緑石は4つの偏平の緑色凝灰岩からなる。これらは熱を受けて赤色を呈し、割れている。炉の内部からは焼土と灰は検出されず、底は焼けていなかった。東側に河原石が立っている。		
態	その他							

第5表 竈穴住居址観察表(5)

第24号住居址

遺構実測図 第34,35図		遺構写真図版 ページ 12		遺物実測図 第94図		その他	位置	不明	規模	0.64m×0.60m	形態	方形
位	グリッド	N13E42, N14E41, N14E42, N15E41, N15E42					炉	覆土	1 2.5YR2/2極暗赤褐色砂質土 2 10YR6/6 明黄褐色土 (灰を含む)			
置	標高	475.00m~475.10m				備考	掘り窪められた形跡は確認できず、床面の土も覆土と同質で区別がつかなかったため、炉縁石が出て初めて発見された。主体部に石が敷かれた形跡は確認されなかったが、敷石住居址であったと思われる。張り出し部と思われる位置には緑色凝灰岩の小片が集中していた。この住居址が構築された位置は、マウンド状に盛上がった地形の端の部分で、張り出し部は主体部よりさがる斜面上に位置している。主体部と張り出し部の形態は不明である。張り出し部を軸として、左右対称に翼状に大きな緑色凝灰岩が連なって配石されている。主体部と張り出し部の接する場所に、鉢状に浅くくりぬかれた安山岩が埋設されている。炉縁石は河原石を使用し、南東の石を除いて後に動いていると思われる。炉の中に獣骨の破片を含んだ灰が多量に入っていた。灰の中には土器が埋設されていた。炉の内部の壁は熱で赤色に変色していたが、土器の真下は焼けていなかった。					
規模	不明	床面積		不明								
壁高	不明											
覆土	1 2.5YR2/2極暗赤褐色砂質土											
形態	平面形態	柄鏡形?	主軸方位	N-24.5° -E								
	その他											

第25号住居址

遺構実測図 第36図		遺構写真図版 ページ 12		遺物実測図 第95図		その他	柱	不明				
位	グリッド	N13E36, N14E36					穴	不明				
置	標高	474.52m~474.40m				備考	位置	不明	規模	不明		
規模	不明	床面積		不明			炉	覆土	不明			
壁高	不明						形態	不明				
覆土	1 2.5YR3/2暗赤褐色土砂質土						第11号住居址と重複して切られ、一部だけが残っていた。この残っている部分は柄鏡形敷石住居址の張り出し部の端であると思われる。敷石に用いられた石は、緑色凝灰岩がほとんどで、そのほか鉄平石と変質輝緑色の河原石である。鉢状に浅くくりぬかれた安山岩が埋設されている。					
形態	平面形態	不明	主軸方位	不明								
	その他											

第26号住居址

遺構実測図 第37,38図		遺構写真図版 ページ 13		遺物実測図 第95図		その他	柱	なし				
位	グリッド	N14E42, N14E43, N15E42, N15E43					穴	位置	中央	規模	0.65m×0.62m	
置	標高	474.71m~474.80m				備考	炉	覆土	1 10YR3/2 黒褐色砂質土 2 10YR6/6 明黄褐色粘質砂質土			
規模	不明	床面積		不明			形態	方形				
壁高	不明						第24号住居址と重複して、覆土を切られる。覆土からは獣骨が検出された。掘り窪められた形跡は確認できず、敷石が出て初めて発見された。柄鏡型を呈すると思われる。床は鉄平石と偏平の緑色凝灰岩と河原石からなる敷石住居址であるが、部分的に石が敷かれているため、平面形態は不明である。主体部と張り出し部との接点には框石がある。炉縁石は河原石を使用し、熱を受けて変色して欠けている。炉の中には土器の底部が正位に据えられていた。また、炉の覆土は灰を含んだ焼けた土であった。					
覆土	1 10YR3/2 黒褐色砂質土											
形態	平面形態	柄鏡形	主軸方位	不明								
	その他											

第6表 竪穴住居址観察表(6)

第1号掘立て柱建物址

遺構実測図 第39図		遺構写真図版 ページ 13		遺物実測図 第96図		その他	柱	P-45(0.80×0.70×0.30)P-46(0.44×0.68×0.30)P-47(0.85×0.64×0.35)P-48(0.66×0.60×0.40)P-49(0.69×0.68×0.30)P-51(0.72×0.68×0.24)P-52(0.76×0.68×0.26)P-44(0.74×0.68×0.28)P169(0.70×0.70×0.31)P-170(0.94×0.82×0.28) 単位はm				
位	グリッド	N15E28, N15E29, N15E30, N16E28, N16E29, N16E30, N17E28, N17E29, N17E30					備考					
規模	5.74m×4.70m											
覆土	7.5YR3/3暗褐色砂質土(P-44, P-45, P-46, P-47, P-49) 5YR2/3極暗赤褐色砂質土(P-48) 7.5YR3/2黒褐色砂質土(P-51, P-52) 5YR3/3黒褐色シルト土(P-169, P-170)											
平面形態	長方形		主軸方位	N-77.0° -W								

第7表 掘立て柱建物址観察表

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位置	長径 cm	短径 cm	深さ cm	平面形態	断面形態	覆土	備考
第1号土壇 第40図	N2E7, N3E7	152	110	50	楕円形	たらい状	1 7.5YR3/2黒褐色砂質土	
第2号土壇 第40図	N2E11, N3E11	186	182	49	円形	たらい状	1 7.7YR2/2黒褐色砂質土 2 1に礫を多量に含む 3 7.5YR4/6褐色砂質土 4 7.5YR4/6黒褐色砂質土 5 7.5YR4/6褐色砂質土	縄文時代後期 土器片出土
第3号土壇 第40図 第97図	N2E11, N3E11	189	89	41	不定形	たらい状	1 5YR3/3暗赤褐色砂質土	縄文土器片・ 須恵器片出土
第4号土壇 第40図 第98図	N7E24	168	115	20	楕円形?	たらい状	1 7.5YR3/2黒褐色砂質土	縄文土器片出 土
第5号土壇 第40図	N4E3	148	78	20	隅丸長方形	たらい状	1 5YR3/3暗赤褐色砂質土	
第6号土壇 第41図 第99図	N8E18	214	185	65	楕円形	すり鉢状	1 10YR3/4 暗褐色砂質土 (礫を含む) 2 7.5YR3/3暗褐色シルト土 (石多量に含む) 3 7.5YR3/4暗褐色シルト土 (礫含む)	縄文時代後期 土器片出土
第8号土壇 第45図 第100図	N11E32	126	96	58	楕円形	すり鉢状	1 2.5YR2/3極暗赤褐色砂質土 (礫含む)、 2 5YR3/3極暗赤褐色砂質土 (礫含む) 3 5YR4/6赤褐色砂質土、 4 5YR3/3極暗赤褐色砂質土	縄文時代後期 土器片出土
第9号土壇 第45図 第101図	N10E33	103	98	47	楕円形	すり鉢状	1 2.5YR2/3極暗褐色砂質土 2 5YR3/6暗赤褐色砂質土、 3 5YR3/2暗赤褐色砂質土	縄文時代後期 土器片出土
第10号土壇 第45図 第102図	N9E34, N10E34	142	130	41	楕円形	たらい状	1 2.5YR3/3極暗褐色砂質土 2 5YR3/6暗赤褐色砂質土、 3 5YR3/2暗赤褐色砂質土	縄文時代中期 土器片出土
第11号土壇 第41図 第103図	N15E19, N6E19	126	95	34	隅丸長方形	たらい状	1 5YR3/3暗赤褐色シルト土 2 7.5YR3/4暗褐色砂質土 3 7.5YR3/4褐色砂質土	縄文時代後期 土器片出土
第12号土壇 第41図	N6E19, N7E19	100	9	32	隅丸方形	たらい状	1 5YR3/3暗赤褐色シルト土 2 7.5YR3/4暗褐色砂質土	縄文土器片出 土
第13号土壇 第41図 第104図	N12E2	114	85	40	楕円形	すり鉢状	1 5YR3/2暗赤褐色砂質土 (礫を含む) 2 5YR3/4暗赤褐色シルト土	縄文時代後期 土器片出土
第14号土壇 第41図 第105図	N14E20	162	130	41	楕円形	すり鉢状	1 5YR3/2暗赤褐色砂質土	縄文土器片出 土
第15号土壇 第41図 第106図	N14E0	160	94	18	不定形	たらい状	1 7.5YR3/2黒褐色砂質土 2 7.5YR4/3褐色砂質土 (礫含む)	縄文土器片出 土
第16号土壇 第42図 第107図	N11E24, N11E25	130	90	31	楕円形	すり鉢状	1 7.5YR3/2黒褐色砂質土 2 7.5YR4/3褐色砂質土	縄文土器片出 土

第8表 土壇観察表(1)

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位置	長径 cm	短径 cm	深さ cm	平面形態	断面形態	覆土	備考
第17号土壇 第41図 第108図	N6E24, N11E25	195	110	38	楕円形	すり鉢状	1 7.5YR2/1黒色砂質土 2 7.5YR2/2黒褐色砂質土 3 7.5YR5/4にぶい橙色砂質	縄文時代後期 土器片出土
第18号土壇 第42図 第109図	N16E26, N16E27	110	107	58	円形	すり鉢状	1 5YR3/1黒褐色砂質土 2 7.5YR4/4褐色砂質土 (礫 を多量に含む)	縄文時代後期 土器片出土
第19号土壇 第42図 第110図	N20E32	190	126	40	楕円形	たらい状	1 5YR3/2暗赤褐色砂質土 (礫含む) 2 5YR3/4暗赤褐色砂質土	縄文時代後期 土器片出土
第20号土壇 第41図 第111図	N14E28, N15E28	140	125	38	楕円形	たらい状	1 5YR2/2黒褐色砂質土	土師器・須恵 器片出土
第21号土壇 第42図 第112図	N9E36, N10E36	170	155	76	円形	すり鉢状	1 5YR3/3暗赤褐色砂質土 (石多量に含む) 2 5YR2/2暗赤褐色砂質土 3 5YR2/4極暗赤褐色砂質土 (石多量に含む) 4 5YR2/3極暗赤褐色砂質土	縄文時代中期 から後期土器 片出土
第22号土壇 第43図 第113図	N9E38, N9E39	150	130	57	楕円形	すり鉢状	1 5YR3/2暗赤褐色砂質土 (礫 含む)、2 5YR3/3 暗赤 褐色砂質土 (小礫含む)、 3 10YR4/3 にぶい黄褐色砂 質土 (礫多量に含む)、4 5YR4/6赤褐色砂質、5 5Y2R 2/3 極暗赤褐色砂質土	縄文土器片出 土
第23号土壇 第43図 第114図	N9E40, N9E41	264	246	40	不定形	たらい状	1 7.5YR2/3黒褐色砂質土 (石多量に含む) 縄文土器片出土	床上から熱で 変色した緑色 凝灰岩が多量 に出土した
第24号土壇 第42図 第115図	N12E39	122	94	45	楕円形	たらい状	1 2.5YR2/2極暗褐色砂質土 2 7.5YR2/3極暗褐色砂質土 (炭化物を含む)	縄文土器片・ 土師器片出土
第25号土壇 第41図 第116図	N15E24	100	86	18	隅丸長方形	たらい状	1 7.5YR3/2黒褐色砂質土 2 7.5YR5/4にぶい褐色砂質	縄文土器片出 土
第26号土壇 第43図 第117図	N13E44	137	95	75	楕円形	すり鉢状	1 5YR3/3暗赤褐色砂質土 (礫含む)	縄文土器片出 土
第27号土壇 第43図 第118図	N15E29, N15E30, N16E2 9, N16E30	228	125	52	楕円形	たらい状	1 5YR3/3暗赤褐色砂質土 (礫含む)	縄文時代後期 土器片出土
第28号土壇 第43図 第119図	N9E19	90	88	46	円形	すり鉢状	2 5YR4/6赤褐色砂質 1 5YR3/2暗赤褐色シルト土	第4号土壇に 切られる。 縄文土器片
第29号土壇 第43図	N15E35	106	44	28	楕円形	たらい状	1 2.5YR3/2暗赤褐色砂質土 2 5YR3/3暗赤褐色砂質土	縄文時代後期 土器片出土
第30号土壇 第45図	N11E32, N11E33	175	146	54	楕円形	たらい状	1 2.5YR2/2極暗赤褐色砂質 土 (礫含む)、2 5YR3/3暗 赤褐色砂質土 3 2.5YR2/4 極暗赤褐色砂質土、4 5YR3 /6暗赤褐色砂質土	縄文土器片出 土
第31号土壇 第45図	N12E33	164	110	48	楕円形	たらい状	1 5YR2/1黒褐色砂質土 2 5YR3/3暗赤褐色砂質土	縄文土器片出 土

第9表 土壇観察表(2)

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位置	長径 cm	短径 cm	深さ cm	平面形態	断面形態	覆土	備考
第32号土壇 第45図	N12E33	154	64	16	楕円形	たらい状	1 5YR3/2暗赤褐色砂質土 (礫含む)	縄文土器片出土
第33号土壇 第44図 第120図	N16E35, N16E36	224	80	32	隅丸長方形	たらい状	1 5YR3/2暗赤褐色砂質土	縄文時代後期 土器片出土
第34号土壇 第44図	N16E38	112	108	35	円形	たらい状	1 2.5YR2/2極暗褐色砂質土	縄文時代中期 土器片出土
第35号土壇 第46図	N16E28	210	76	16	楕円形	たらい状	1 5YR2/2極暗褐色砂質土	人骨-1出土 縄文時代中期 土器片出土
第36号土壇 第45図 第121図	N12E32, N12E33, N13E32 N13E33	156	128	16	楕円形	たらい状	1 5YR3/3暗赤褐色砂質土	縄文時代中期 から後期土器 片出土
第37号土壇 第45図 第122図	N9E31, N10E31	116	110	30	円形	たらい状	1 2.5YR2/3暗赤褐色砂質土	縄文土器片出 土
第38号土壇 第45図 第123図	N11E33, N10E31	155	106	32	楕円形	すり鉢状	1 5YR3/2暗赤褐色砂質土	縄文時代中期 土器片出土
第39号土壇 第44図 第124図	N9E34	110	98	80	円形	すり鉢状	1 5YR3/2暗赤褐色砂質土	縄文時代中期 ・後期土器片 出土
第40号土壇 第43図 第125図	N8E39, N8E40, N9E39, N9 E40	226	144	25	不定形	たらい状	1 2.5YR2/2極暗赤褐色砂質 土、2 5YR3/4暗赤褐色砂質 土(礫含む)	縄文中期平安 後期土器片出 土
第41号土壇 第44図 第126図	N5E28, N6E28	260	255	30	円形	たらい状	1 7.5YR2/2黒褐色砂質土	縄文土器・須 恵器片出土
第42号土壇 第44図 第127図	N12E41, N12E42	100	?	60	楕円形?	すり鉢状	1 7.5YR/黒褐色砂質土、2 7.5YR/明褐色砂質土(焼土 をブロック状に含む)、3 2.5YR4/4にぶい赤褐色砂質 土(焼土をブロック状に多 量に含む)、4 7.5YR4/4褐 色砂質土(炭化物を含む) 5 7.5YR5/6明褐色砂質土(礫を含む)	縄文土器片出 土
第43号土壇 第44図 第128図	N15E40, N15E41, N16E40	?	330	18	楕円形	たらい状	1 2.5YR2/2極暗赤褐色砂質 土	縄文時代後期 土器片出土
第44号土壇 第46図 第129図	N13E42, N14E42							人骨-2出土 縄文土器片出 土
第45号土壇 第46図 第130図	N12E43, N12E44, N13E43 N13E44							人骨-3出土 縄文土器片出 土
第46号土壇 第46図 第131図	N9E35, N10E35, N10E36	310	270	28	隅丸長方形	たらい状	1 5YR3/2暗赤褐色砂質土 (礫を多量に含む)	土師器出土
第47号土壇 第46図	N12E43							人骨-4出土

第10表 土壇観察表(3)

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位置	規模	備考
第1号集石 第47図 第132図	N6E36, N6E37	1.5 m×0.7 m	握り拳と同じくらいの大きさの角礫が集まっていた。石を取り除くと、小規模の堅穴が確認された。
第3号集石 第4号集石 第48, 49図 第133図	N10E43, N11E43	2.2 m×2.1 m (2.0m×1.2m)	この上層は小さい角礫が集中し、多量の土器片と黒耀石の破片が出土した。その下から、大きい角礫が図の様に現れた。多くは緑色凝灰岩で、焼けて変色していた。それらの礫を取り除くと、図の様に扁平の石が縦に立ち、方形に配石されていた。その北東端に河原石の立石が配されていた。
第5号集石 第50図 第134図	N11E42, N12E41, N12E42	3.3 m×1.5 m	大きくて厚みのある四角い緑色凝灰岩が並べられた様な形で集中し、多量の土器片を出土した。幾つかの石は焼けて変色していた。南端の大きい石は、何かに使用されたのか表面がつるつるとしていた。これらの石の下は小さい角礫が集中していた。
第6号集石 第51図 第135図	N13E41, N13E42, N12E41 N12E42	2.6 m×2.1 m	第5号集石と同じく大きい石が集まっているが、第5号集石ほど並び方に一定性が感じ得られない。これらの石の下は小さい角礫が集中していた。
第7号集石 第52図	N13E42	1.3 m×1.0 m	扁平の緑色凝灰岩とせん緑岩の河原石が並べて敷かれていた。第24号住居址の羽根状の配石の一部とも、また、それを切っているとも見られる。
第8号集石 第53, 54図 第136図	N14E33, N14E34, N13E33 N13E34	5.0 m×3.4 m	握り拳と同じくらいの大きさの角礫が集まっていた。石を取り除くと、小規模の堅穴が確認された。その堅から浅鉢が逆さに出土した。 1 5YR4/4にぶい赤褐色砂質土(礫含む) 2 5YR3/4暗赤褐色砂質土(礫含む)
第11号集石 第55, 56図 第137図	N14E42, N15E41, N15E42	1.5 m×1.0 m	握り拳から人の頭の大きさの角礫が集中している。石は熱で変色しているものもある。
第13号集石 第57図	N15E40	2.6 m×2.0 m	一つは河原石の立石で、その他は扁平の河原石と角礫である。河原石はみな変質輝緑岩である。石は表面が剥離したものや熱で変色したものがある。
第14号集石 第58図 第138図	N5E35	2.6 m×2.0 m	試掘の時にトレンチから確認された。緑色凝灰岩と河原石からできている。熱を受けて変色している。

第12表 溝址観察表

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位置	規模 m	覆 土	備考
第1号溝址 第59図 第60図 第61図 第139図	N6E3, N6E4, N6E22, N6E23, N6E24, N7E3 N7E4, N7E5, N7E6, N7E7, N7E8, N7E9, N7E10, N7E11, N7E12, N7E17, N7E18, N7E19, N7E20, N7E21, N7E22, N7E23, N7E24, N7E25, N8E8, N8E9, N8E10, N8E11, N8E12, N8E13, N8E14, N8E15, N8E16, N8E17	幅 0.8 (最小) 4.0 (最大) 底の標高 470.00~471.70	D 1 5YR2/4極暗赤褐色シルト土 (礫含む) 2 5YR3/4暗赤褐色砂質土 (小礫含む) 3 5YR3/3暗赤褐色砂質土 (小礫含む) 4 5YR2/3極暗赤褐色シルト土 (礫多量に含む) C 1 7.5YR4/3褐色砂質土 2 5YR3/3暗赤褐色シルト土 B 1 5YR3/2オリーブ黒シルト土 (礫含む) 2 10YR7/8 黄橙細砂質土 3 5YR1/3黒褐色シルト土 4 2.5YR6/4にぶい黄色シルト土 (礫含む) A 1 10YR7/4 にぶい黄橙シルト土 2 5YR3/3暗赤褐色シルト土 3 5YR3/2暗赤褐色砂質土 4 5YR3/2黒褐色シルト土 5 7.5YR4/3褐色砂質土	縄文時代、 平安時代、 古墳時代の 土器片の他 大珠、イノ シシ、シカ の骨を出土 した。

第11表 集石観察表

遺構番号	図版番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	覆土	備考
第1号ピット	第62図	42	37	9	7.5YR2/2黒褐シルト	縄文土器破片出土
第2号ピット	第62図	50	36	11	5YR2/2黒褐シルト	
第3号ピット	第62図	51	48	13	10YR3/2黒褐シルト	
第4号ピット	第62図	47	38	26	7.5YR3/2黒褐シルト	
第5号ピット	第62図	44	31	14	7.5YR3/2黒褐シルト	
第6号ピット	第62図	43	42	16	7.5YR2/1黒シルト	
第7号ピット	第62図	45	42	11	7.5YR2/1黒シルト	
第8号ピット	第62図	40	28	14	5YR2/2黒褐シルト	
第9号ピット	第62図	55	46	12	7.5YR3/3暗褐シルト	
第10号ピット	第62図	18	17	6	7.5YR3/2黒褐シルト	
第11号ピット	第62図	33	32	17	7.5YR2/2黒褐シルト	
第12号ピット	第68図	39	38	22	5YR3/2暗赤褐シルト	
第13号ピット	第62図	100	87	31	7.5YR3/2黒褐シルト	土師器坏 (図版No.140) 須恵器破片出土
第14号ピット	第62図	38	34	12	5YR2/2黒褐シルト	土師器破片出土
第15号ピット	第63図	44	43	12	5YR2/3極暗赤褐砂質	
第16号ピット	第63図	60	50	29	5YR2/3極暗赤褐砂質	土師器甕 (図版No.140)
第17号ピット	第69図	46	46	28	5YR3/3暗赤褐シルト	
第18号ピット	第69図	70	46	20	5YR3/3暗赤褐シルト	
第19号ピット	第63図	87	74	32	5YR2/3鱗鱗シルト	
第20号ピット	第63図	101	89	16	7.5YR3/2黒褐シルト	
第21号ピット	第63図	46	42	8	7.5YR3/2黒褐シルト	
第22号ピット	第68図	49	49	18	2.5YR2/2極暗赤褐砂質 (小石混じり)	縄文土器破片出土 (図版No.140)
第23号ピット	第63図	48	45	12	7.5YR3/2黒褐シルト	
第24号ピット	第64図	60	53	16	7.5YR3/2黒褐シルト	
第25号ピット	第65図	36	35	16	7.5YR3/2黒褐シルト	
第26号ピット	第65図	38	37	6	7.5YR3/2黒褐シルト	
第27号ピット	第65図	59	55	12	7.5YR3/2黒褐シルト	
第28号ピット	第65図	60	52	35	7.5YR3/4暗褐シルト	
第29号ピット	第65図	40	33	17	7.5YR3/2黒褐シルト	
第30号ピット	第64図	48	44	26	7.5YR3/2黒褐シルト	縄文土器破片出土
第31号ピット	第64図	40	38	20	7.5YR3/2黒褐シルト	
第32号ピット	第64図	38	30	14	7.5YR3/2黒褐シルト	
第33号ピット	第64図	40	40	24	7.5YR3/2黒褐シルト	
第34号ピット	第64図	36	36	14	7.5YR3/2黒褐シルト	
第35号ピット	第64図	55	50	20	5YR3/3黒褐シルト	縄文土器破片出土
第36号ピット	第64図	?	48	20	5YR3/3黒褐シルト	
第37号ピット	第65図	43	25	27	5YR3/3黒褐シルト	
第38号ピット	第64図	48	?	13	5YR3/3暗赤褐砂質	縄文土器破片出土
第39号ピット	第66図	78	70	19	5YR3/2黒褐砂質	

第13表 ピット観察表(1)

遺構番号	図版番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	覆土	備考
第40号ピット	第66図	85	70	22	5YR3/3暗赤褐砂質 (石混じり)	縄文土器深鉢、吊り手 土器 (図版No.140)
第41号ピット	第66図	65	53	40	7.5YR2/1暗赤褐砂質	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第42号ピット	第66図	82	80	31	5YR2/3暗赤褐砂質(砂混じり)	縄文土器破片出土
第43号ピット	第66図	40	28	10	5YR3/3暗赤褐シルト	
第53号ピット	第66図	44	?	40	7.5YR3/2黒褐砂質	縄文土器深鉢 土師器高坏 (図版No.140)
第54号ピット	第67図	58	53	18	7.5YR3/2黒褐砂質	縄文土器破片出土
第55号ピット	第69図	101	59	33	5YR2/7黒褐砂質	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第56号ピット	第68図	50	47	28	5YR3/1黒褐砂質	縄文土器破片出土
第57号ピット	第68図	41	40	19	5YR3/1黒褐砂質	
第58号ピット	第68図	34	32	16	7.5YR3/2黒褐砂質	
第59号ピット	第63図	62	54	19	5YR2/3極暗赤褐砂質	
第60号ピット	第68図	24	23	15	5YR3/2暗赤褐砂質	
第61号ピット	第68図	40	35	14	5YR3/2暗赤褐砂質	
第62号ピット	第68図	68	52	17	7.5YR3/2黒褐砂質	縄文土器破片出土
第63号ピット	第68図	82	78	42	7.5YR3/2黒褐砂質	縄文土器破片出土
第64号ピット	第68図	63	55	18	7.5YR3/2黒褐砂質	縄文土器破片出土
第65号ピット	第68図	45	39	8	7.5YR3/3暗褐砂質	
第66号ピット	第68図	40	40	22	7.5YR3/3暗褐砂質	
第67号ピット	第68図	48	40	30	7.5YR3/2黒褐砂質	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第68号ピット	第68図	36	35	13	7.5YR3/2黒褐砂質	
第69号ピット	第68図	33	32	7	7.5YR3/2黒褐砂質	
第70号ピット	第68図	42	38	20	7.5YR3/2黒褐砂質	
第71号ピット	第68図	43	39	22	7.5YR3/2黒褐砂質	縄文土器破片出土
第72号ピット	第68図	45	40	16	7.5YR3/2黒褐砂質	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第73号ピット	第68図	33	33	12	7.5YR3/2黒褐砂質	縄文土器破片出土
第74号ピット	第68図	56	55	42	7.5YR3/2黒褐砂質	縄文土器破片出土
第75号ピット	第68図	40	37	16	7.5YR3/2黒褐砂質	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第76号ピット	第70図	99	90	42	5YR2/2黒褐砂質	縄文土器深鉢
第77号ピット	第70図	46	43	18	5YR3/2暗赤褐砂質	縄文土器破片出土
第78号ピット	第70図	45	40	32	5YR3/2暗赤褐砂質	
第79号ピット	第70図	52	42	17	5YR3/2暗赤褐砂質	
第80号ピット	第70図	44	41	23	5YR3/2暗赤褐砂質	
第81号ピット	第70図	62	61	19	5YR3/2暗赤褐砂質	
第82号ピット	第70図	74	65	23	5YR3/2暗赤褐砂質	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第83号ピット	第70図	79	76	19	5YR3/2暗赤褐砂質	縄文土器深鉢 (図版No.140)

第14表 ピット観察表(2)

遺構番号	図版番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	覆土	備考
第84号ピット	第70図	35	28	11	7.5YR3/3暗褐砂質	
第85号ピット	第70図	53	47	18	7.5YR3/3暗褐砂質	
第86号ピット	第73図	28	25	16	7.5YR3/3暗褐シルト	
第87号ピット	第72図	35	31	20	7.5YR3/3暗褐砂質	
第88号ピット	第72図	47	42	43	7.5YR3/3暗褐砂質	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第89号ピット	第72図	38	38	20	7.5YR3/3暗褐砂質	
第90号ピット	第72図	33	29	15	7.5YR3/3暗褐砂質	
第91号ピット	第72図	34	32	24	7.5YR3/2黒褐砂質	
第92号ピット	第72図	60	54	12	7.5YR3/3暗褐砂質	縄文土器破片出土
第93号ピット	第72図	24	21	14	7.5YR3/3暗褐砂質	
第94号ピット	第72図	65	60	14	7.5YR3/2黒褐砂質	
第95号ピット	第70図	55	53	20	7.5YR3/3暗褐砂質	縄文土器破片出土
第96号ピット	第70図	46	40	15	7.5YR3/3暗褐砂質	
第97号ピット	第72図	33	31	11	7.5YR3/2黒褐砂質	
第98号ピット	第71図	52	50	11	7.5YR3/3暗褐砂質	
第99号ピット	第73図	88	86	17	5YR3/2暗赤褐砂質	
第100号ピット	第71図	40	37	15	5YR3/2暗赤褐砂質	
第101号ピット	第72図	32	29	13	5YR3/2暗赤褐砂質	
第102号ピット	第73図	48	46	14	5YR3/2暗赤褐シルト	
第103号ピット	第73図	46	43	15	5YR3/2暗赤褐シルト	
第104号ピット	第72図	35	32	13	7.5YR3/3暗褐砂質	
第105号ピット	第72図	35	30	13	7.5YR3/3暗褐砂質	
第106号ピット	第72図	53	50	44	7.5YR3/3暗褐砂質	
第107号ピット	第73図	50	48	23	7.5YR3/3暗褐砂質	
第108号ピット	第73図	33	31	14	7.5YR3/3暗褐砂質	
第109号ピット	第73図	52	49	15	7.5YR3/3暗褐砂質	
第110号ピット	第73図	43	43	22	7.5YR3/3暗褐砂質	
第111号ピット	第73図	34	32	12	7.5YR3/3暗褐砂質	
第112号ピット	第73図	45	44	23	5YR2/2黒褐砂質	
第113号ピット	第73図	44	43	35	5YR3/1黒褐砂質	
第114号ピット	第73図	34	33	14	5YR3/1黒褐砂質	
第115号ピット	第73図	37	36	14	5YR3/1黒褐砂質	
第116号ピット	第73図	53	50	19	5YR3/2暗赤褐砂質	
第117号ピット	第73図	53	44	16	5YR3/2暗赤褐砂質	
第118号ピット	第73図	35	28	14	7.5YR3/3暗褐シルト	
第119号ピット	第73図	48	46	17	7.5YR3/3暗褐シルト	
第120号ピット	第73図	45	44	25	7.5YR3/3暗褐シルト	
第121号ピット	第73図	68	62	14	5YR3/3暗褐シルト	縄文土器破片出土
第122号ピット	第69図	50	43	21	7.5YR3/3暗褐シルト	
第123号ピット	第67図	57	47	13	7.5YR3/3暗褐シルト	

第15表 ピット観察表 (3)

遺構番号	図版番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	覆土	備考
第 124号ピット	第 67 図	60	48	24	7.5YR3/3暗褐シルト	
第 125号ピット	第 67 図	47	45	13	5YR3/2暗赤褐砂質	
第 126号ピット	第 67 図	66	58	13	5YR3/2暗赤褐砂質	土師器破片出土
第 127号ピット	第 69 図	60	52	23	5YR3/3暗赤褐砂質	土師器椀 (図版No.140)
第 128号ピット	第 69 図	66	60	20	5YR3/2暗赤褐砂質	
第 129号ピット	第 73 図	26	25	14	7.5YR3/3暗褐シルト	
第 130号ピット	第 69 図	63	52	18	2.5YR2/2極暗褐砂質	
第 132号ピット	第 69 図	28	22	11	5YR3/3暗赤褐砂質	
第 133号ピット	第 69 図	60	49	30	5YR3/3暗赤褐砂質	
第 134号ピット	第 69 図	48	46	21	5YR3/3暗赤褐砂質	
第 135号ピット	第 69 図	58	56	10	2.5YR2/2極暗褐砂質	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第 136号ピット	第 68 図	20	18	10	7.5YR3/3暗褐砂質	
第 137号ピット	第 68 図	36	35	8	7.5YR3/3暗褐砂質	
第 138号ピット	第 68 図	32	29	11	7.5YR3/3暗褐砂質	
第 139号ピット	第 68 図	31	30	17	7.5YR3/3暗褐砂質	
第 140号ピット	第 68 図	36	33	14	7.5YR3/3暗褐砂質	
第 141号ピット	第 68 図	46	43	10	7.5YR3/3暗褐砂質	
第 142号ピット	第 68 図	52	41	16	7.5YR3/3暗褐砂質	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第 143号ピット	第 73 図	28	26	14	7.5YR3/3暗褐シルト	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第 144号ピット	第 68 図	30	28	12	7.5YR3/2黒褐シルト	
第 145号ピット	第 69 図	93	52	40	7.5YR3/2黒褐シルト	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第 146号ピット	第 68 図	60	56	44	7.5YR3/2黒褐シルト	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第 147号ピット	第 70 図	40	38	16	7.5YR3/2黒褐シルト	
第 148号ピット	第 70 図	92	45	37	5YR3/2暗赤褐砂質	縄文土器土製品 (図版No.140)
第 149号ピット	第 73 図	28	26	11	7.5YR3/3暗褐シルト	
第 150号ピット	第 71 図	42	37	20	5YR3/4暗赤褐シルト	
第 151号ピット	第 71 図	36	28	20	5YR3/4暗赤褐シルト	縄文土器破片出土
第 152号ピット	第 71 図	30	28	32	5YR3/4暗赤褐シルト	
第 154号ピット	第 68 図	40	38	13	7.5YR3/2黒褐シルト	
第 155号ピット	第 68 図	56	50	13	5YR3/2暗赤褐シルト	
第 156号ピット	第 68 図	42	32	17	5YR3/2暗赤褐シルト	
第 157号ピット	第 69 図	64	62	15	5YR3/2暗赤褐シルト	縄文土器破片出土
第 159号ピット	第 69 図	75	70	36	5YR3/3暗赤褐シルト	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第 160号ピット	第 69 図	40	30	19	5YR3/3暗赤褐シルト	
第 161号ピット	第 69 図	41	39	19	5YR3/3暗赤褐シルト	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第 163号ピット	第 71 図	50	50	21	2.5YR3/2暗赤褐 シルト	

第16表 ピット観察表(4)

遺構番号	図版番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	覆土	備考
第 164号ピット	第 71 図	76	66	30	2.5YR3/2暗赤褐シルト	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第 165号ピット	第 71 図	32	24	15	2.5YR3/2暗赤褐シルト	
第 167号ピット	第 71 図	50	29	18	2.5YR3/2暗赤褐シルト	
第 168号ピット	第 70 図	?	70	21	2.5YR3/2暗赤褐シルト	
第 171号ピット	第 72 図	31	30	36	5YR3/3暗赤褐シルト	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第 172号ピット	第 72 図	32	32	41	5YR3/3暗赤褐シルト	縄文土器破片出土
第 173号ピット	第 72 図	42	40	28	5YR3/3暗赤褐シルト	縄文土器深鉢 (図版No.140)
第 174号ピット	第 72 図	30	24	26	5YR3/3暗赤褐シルト	縄文土器破片出土
第 175号ピット	第 72 図	41	40	29	2.5YR3/2暗赤褐シルト	縄文土器破片出土
第 176号ピット	第 72 図	30	28	8	2.5YR3/2暗赤褐シルト	
第 177号ピット	第 72 図	47	37	26	2.5YR3/2暗赤褐シルト	縄文土器破片出土
第 178号ピット	第 72 図	59	51	29	2.5YR3/2暗赤褐シルト	縄文土器破片出土
第 179号ピット	第 72 図	47	40	14	2.5YR3/2暗赤褐シルト	

第17表 ピット観察表 (5)

遺構番号 遺構・遺物図版	位置	径 m	深さ m	覆土	備考
第 1 号埋壙址 第141-1 図	N18E32, N18E34, N19E32 N19E34	0.35	0.18	1 2.5YR2/2極暗赤褐色土シルト土	深鉢が正位に埋設される。
第 2 号埋壙址 第141-2 図	N15E34				深鉢が逆位に埋設される。
第 3 号埋壙址 第141-3 図	N12E34	0.30	0.20	1 2.5YR3/2暗赤褐色シルト土 2 5YR3/4暗赤褐色シルト土	深鉢が正位に埋設される。
第 4 号埋壙址 第141-4 図	N15E33	0.45	0.33	1 5YR3/3暗赤褐色砂質土 2 5YR4/6赤褐色砂質土 (礫含む)	深鉢が正位に埋設される。
第 5 号埋壙址 第141-5 図	N14E39	0.20	0.08	1 2.5YR3/2暗赤褐色シルト土 2 5YR3/4暗赤褐色シルト土	深鉢が正位に埋設される。
第 7 号埋壙址 第141-6 図	N12E35	0.38	0.25	1 2.5YR3/2暗赤褐色シルト土 2 5YR3/4暗赤褐色シルト土	深鉢が正位に埋設される。

第18表 埋壙址観察表

3 遺物観察表

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第1号住居址 第74図-1	坏 土師	口径 13.4 器高 4.9 底径 5.8 底部 1/2	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR6/6橙 (B) 黒	平底より内弯して開き、口縁部で僅かに外反する	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 筥磨き 黒色処理
第1号住居址 第74図-2	坏 土師	口径 残高 2.1 底径 6.0 底部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/2灰褐 (B) 7.5YR4/1褐灰	平底	(A) 底部回転糸切り (B)
第1号住居址 第74図-3	碗 灰釉 陶器	口径 16.0 器高 4.8 底径 7.5 底部 1/2	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5Y7/2 灰白 (B) 5Y7/2 灰白	高台付の底部より緩やかな張りを持って開き、口縁部で小さく外反する	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 撫で 釉を漬け掛けする
第1号住居址 第74図-4	碗 灰釉 陶器	口径 14.8 残高 3.7 底径 底部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5Y7/1灰白 (B) 7.5Y7/1灰白	浅めの体部より僅かに外反する口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で、削り (B) 轆轤による撫で 外内面に灰釉を漬け掛けする
第1号住居址 第74図-5	甕 土師	口径 23.2 残高 7.2 底径 口縁部一部	胎; 礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR7/4 にぶい黄橙 (B) 10YR7/6 明黄褐	口縁部は外反直立する張りの無い胴部より外反する口縁部に至る	(A) 横位の撫で (B) 口縁部横位の撫で 胴部木口状工具による横位の撫で
第1号住居址 第74図-6	甕 土師	口径 残高 2.3 底径 4.5 底部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 5YR6/6橙	平底	(A) 筥削り (B) 横位の撫で
第1号住居址 第74図-7	甕 須恵	口径 残高 4.5 底径 24.4 底部一部	胎; 石英、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/2灰褐 (B) 5YR5/2灰褐	平底	(A) 叩き目を施す (B) 撫で
第1号住居址 第74図-8	壺 須恵	口径 残高 6.7 底径 頸部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR2/1黒褐 (B) 7.5YR3/1黒褐		(A) (B)
第2号住居址 第75図-1	坏 土師	口径 12.6 残高 3.1 底径 底部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR7/4 にぶい黄橙 (B) 黒	体部より直線的に口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で (B) 筥磨き 黒色処理
第2号住居址 第75図-2	坏 土師	口径 残高 2.4 底径 7.0 底部 1/2	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/1黄灰 (B) 2.5YR8/2灰白	平底	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 轆轤による撫で
第2号住居址 第75図-3	坏 土師	口径 残高 0.9 底径 5.3 底部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR7/4 にぶい黄橙 (B) 黒	平底 中心が僅かに厚くなる	(A) 轆轤成形 体部筥削り 底部回転糸切り (B) 筥磨き 黒色処理
第2号住居址 第75図-4	坏 土師	口径 残高 2.0 底径 7.2 底部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR8/2灰白 (B) 5YR8/2灰白	平底	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 轆轤による撫で
第2号住居址 第75図-5	坏 土師	口径 残高 1.3 底径 6.0 底部 1/4	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR7/4 にぶい黄橙 (B) 黒	平底	(A) 轆轤成形 体部筥削り (B) 精緻な筥磨き 黒色処理
第2号住居址 第75図-6	甕 須恵	口径 残高 5.0 底径 胴部一部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5Y4/1 黄灰 (B) 2.5Y5/1 黄灰		(A) 叩き目を施す 自然釉を施す (B) 撫で
第2号住居址 第75図-7	注口 土器 縄文	口径 残高 6.4 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR7/3にぶい橙 (B) 7.5YR7/3にぶい橙	把手部	(A) 沈線の区画にRL縄文を施す (B)

第19表 住居址出土遺物観察表(1)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第2号住居址 第75図-8	深鉢 縄文	口径 残高 4.7 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/6 明黄褐 (B) 7.5YR6/3にぶい褐	口縁部は内側に肥厚する	(A) (B)
第2号住居址 第75図-9	深鉢 縄文	口径 残高 7.7 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/3 にぶい黄橙 (B) 7.5YR6/4にぶい橙		(A) 沈線とLR縄文による 文様を施す (B) 横位の篋削り
第3号住居址 第76図-1	坏 土師	口径 9.8 器高 2.6 底径 3.8 3/4	胎;金雲母を多量に含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 5YR6/4にぶい橙	平底より丸みを持って立ち上 がり、口縁部に至る	(A) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 体部轆轤による撫で
第3号住居址 第76図-2	坏 土師	口径 残高 1.0 底径 5.2 底部1/4	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙	平底	(A) 底部回転糸切り (B) 撫で
第3号住居址 第76図-3	碗 土師	口径 残高 2.0 底径 5.7 底部1/2	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR8/4浅黄橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙	高台付の底部	(A) 轆轤成形 撫で (B) 撫で 篋削り
第3号住居址 第76図-4	碗 土師	口径 13.0 器高 5.5 底径 7.0 胴部1/3	胎;金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/3にぶい橙 (B) 7.5YR7/3にぶい橙	高台付で丸みのある坏部より 内弯気味の口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で (B) 撫で
第3号住居址 第76図-5	碗 土師	口径 12.6 器高 5.6 底径 6.6 1/2	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6明赤褐 (B) 5YR5/6明赤褐	高台付で丸みのある深めの坏 部より、小さく外反する口縁 部に至る	(A) 轆轤による撫で (B) 撫で P-1出土
第3号住居址 第76図-6	碗 土師	口径 残高 2.7 底径 7.0 底部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/2 にぶい黄橙 (B) 黒	高台付の底部	(A) 撫で 篋削り (B) 中心より放射状に篋磨 き 黒色処理 P-1出土
第3号住居址 第76図-7	羽釜 土師	口径 24.6 残高 11.5 底径 胴部1/6 胴部	胎;石英、雲母を多量に含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい褐~5YR4/3にぶい褐 (B) 5YR5/4にぶい赤褐	付鏝 口唇部に面取りを施す	(A) 横位の篋削り 胴部縦位の篋削り (B) 横位の撫で
第4号住居址 第77図-1	坏 土師	口径 14.2 器高 3.1 底径 6.0 胴部3/4~底部	胎;金雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/6橙 (B) 2.5YR6/6橙	平底より大きく開き、浅い体 部より口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 轆轤による撫で
第4号住居址 第77図-2	坏 土師	口径 12.5 器高 3.6 底径 6.4 1/3	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10G4/1暗青灰 (B) 黒	平底より開いて立ち上がり、 僅かに外反する口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫で 精緻 な篋磨き 黒色処理
第4号住居址 第77図-3	坏 土師	口径 13.4 器高 3.8 底径 6.0 1/2	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR7/6橙 (B) 2.5YR6/6橙	平底より内弯して開き、口縁 部で小さく外反する	(A) 轆轤による撫で (B) 篋磨き
第4号住居址 第77図-4	坏 土師	口径 13.4 器高 4.5 底径 6.2 胴部1/3~底部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 黒色	平底より内弯して開き、口縁 部で小さく外反する	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 中心より放射状の篋磨 き 黒色処理
第4号住居址 第77図-5	坏 土師	口径 11.8 器高 4.6 底径 6.0 1/4	胎;金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR7/4淡赤橙 (B) 10R6/6赤橙	平底より立ち上がり、深めの 体部より口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 篋磨き
第4号住居址 第77図-6	坏 土師	口径 12.8 器高 4.4 底径 5.6 胴部1/2~底部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/8橙 (B) 2.5YR6/6橙	平底より立ち上がり、深めの 体部より口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 篋磨き

第20表 住居址出土遺物観察表(2)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第4号住居址 第77図-7	坏 土師	口径 14.8 残高 1.9 底径 1/4	胎;金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR7/6橙	体部は大きく開く	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
第4号住居址 第77図-8	椀 土師	口径 15.2 器高 6.0 底径 7.6 口縁部1/4底	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR8/3浅黄橙 (内) 7.5YR7/3にぶい橙	高台付の底部から開き、小さく外反する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 筥削り 底部回転糸切り (内) 筥磨き
第4号住居址 第77図-9	盤 土師	口径 12.8 器高 3.6 底径 7.4 口縁部1/4~底	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/6橙 (内) 黒	高台付の底部から大きく広がりが、浅い体部よりやや外反する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で 筥磨き 黒色処理
第4号住居址 第77図-10	椀 灰釉陶器	口径 13.6 残高 3.2 底径 1/8 口縁部1/8	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5BG7/1明青灰 (内) 10G7/1明緑灰	口縁部は僅かに外反する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で 釉は漬け掛け
第4号住居址 第77図-11	鉢 土師	口径 20.6 器高 9.1 底径 8.4 ほぼ完形	胎;金雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 2.5YR6/6橙 (内) 黒	平底より立ち上がり、深い体部より僅かに外反する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 筥磨き 黒色処理
第4号住居址 第77図-12	甕 土師	口径 22.0 残高 6.2 底径 1/4 口縁部1/4	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 7.5YR4/3褐	口縁部は「く」の字状に外反する	(外) 横位の撫で (内) 撫で 竈出土
第4号住居址 第77図-13	甕 土師	口径 18.6 残高 6.0 底径 1/8 口縁部1/8	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	口縁部は緩く「く」の字状に外反する	(外) 横位の撫で (内) 刷毛調整
第5号住居址 第78図-1	坏 土師	口径 13.7 器高 4.4 底径 6.4 口縁部1/2~底	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 黒	平底より内弯して開き、口縁部にいたる	(外) 筥磨き 底部回転糸切り (内) 筥磨き 黒色処理
第5号住居址 第78図-2	坏 土師	口径 14.6 器高 4.3 底径 7.2 口縁部1/2~底	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/6橙 (内) 黒	平底より内弯して開き、口縁部で僅かに外反する	(外) 轆轤による撫で (内) 筥磨き 黒色処理
第5号住居址 第78図-3	坏 土師	口径 16.5 器高 5.0 底径 7.8 1/4	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 黒	平底より内弯して開き、ごく僅かに外反する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り 黒色処理 (内) 轆轤による撫で 筥磨き 黒色処理
第5号住居址 第78図-4	坏 土師	口径 14.6 器高 4.1 底径 7.1 ほぼ完形	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/8黄橙 (内) 黒	平底より開き、口縁部で外反する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で 筥磨き 黒色処理 墨書土器
第5号住居址 第78図-5	坏 土師	口径 12.8 器高 3.8 底径 6.0 ほぼ完形	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 黒	平底より開き、僅かに外反する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 筥磨き 黒色処理
第5号住居址 第78図-6	坏 土師	口径 14.6 器高 5.0 底径 4.0 1/4	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 黒	平底より内弯して開き、口縁部でやや外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 筥磨き 黒色処理
第5号住居址 第78図-7	坏 土師	口径 16.7 器高 6.6 底径 7.0 ほぼ完形	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR4/2灰褐	平底より内弯して立ち上がり口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 筥磨き

第21表 住居址出土遺物観察表(3)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第5号住居址 第78図-8	坏 須恵	口径 13.0 残高 3.5 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒を含む 焼;良好 色;(A) 2.5Y7/1 灰白 (B) 2.5Y7/1 灰白	内弯した体部から口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫で
第5号住居址 第78図-9	坏 土師	口径 18.6 残高 6.1 底径 口縁部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR6/6橙	体部から僅かに外反した口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で (B) 筥磨き
第5号住居址 第78図-10	坏 土師	口径 2.5 残高 6.0 底径 底部2/3	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 黒	平底より内弯して立ち上がる	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 筥磨き 黒色処理
第5号住居址 第78図-11	椀 土師	口径 15.4 器高 5.1 底径 7.0 口縁部1/5~1/4	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 黒	高台付の底部より内弯して開き、ごく僅かに外反する口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 轆轤による撫で 筥磨き 黒色処理
第5号住居址 第78図-12	椀 土師	口径 17.0 器高 5.5 底径 8.2 1/2	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5Y6/8 橙 (B) 黒	高台付の底部より内弯して開き、外反する口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 筥磨き 黒色処理
第5号住居址 第78図-13	皿 土師	口径 13.2 器高 3.1 底径 6.3 口縁部1/4	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/6橙 (B) 黒	高台付の底部より開き、口縁部に至る 体部は浅い	(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫で 筥磨き 黒色処理
第5号住居址 第78図-14	甕 土師	口径 12.6 残高 5.8 底径 口縁部1/4	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/4 にぶい黄橙 (B) 10YR5/3 にぶい黄褐	胴部より短く外反する口縁部に至る	(A) 横位の撫で (B) 横位の撫で ピット出土
第5号住居址 第78図-15	甕 土師	口径 4.3 残高 6.0 底径 底部1/2	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/6橙 (B) 7.5YR6/3にぶい褐	平底	(A) 筥削り 筥磨き (B) 筥削り 筥磨き
第5号住居址 第78図-16	甕 土師	口径 19.0 残高 4.0 底径 口縁部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙	口縁部は僅かに外反する	(A) 口縁部横位の撫で (B) 削り 木口状工具による刷毛目
第5号住居址 第78図-17	壺 土師	口径 16.6 残高 5.1 底径 口縁部1/2	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/4 にぶい黄橙 (B) 10YR7/4 にぶい黄橙	口唇部に面取りを施す	(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫で
第7号住居址 第79図-1	椀 土師	口径 17.0 器高 5.9 底径 8.4 口縁部1/6~1/4	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 黒	平底より開いて立ち上がり、内弯して口縁部に至る	(A) 底部筥削り (B) 筥磨き 黒色処理
第7号住居址 第79図-2	坏 土師	口径 14.6 残高 3.5 底径 口縁部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4にぶい褐 (B) 黒	体部より緩やかに口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫での後、 筥磨き 黒色処理
第7号住居址 第79図-3	坏 土師	口径 2.7 残高 6.6 底径 底部3/4	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3にぶい褐 (B) 黒	平底	(A) 底部回転糸切り (B) 筥磨き 黒色処理
第7号住居址 第79図-4	浅鉢 縄文	口径 6.1 残高 底径 口縁部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙	口縁部は外反し、先端で内側に折曲する	(A) 口唇部に沈線が巡る (B)
第7号住居址 第79図-5	浅鉢 縄文	口径 3.0 残高 底径 口縁部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/2灰褐 (B) 7.5YR5/3にぶい褐	口縁部は外反し、先端で内側に折曲する	(A) 口唇部に沈線が巡る 筥削り (B) 磨き

第22表 住居址出土遺物観察表(4)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
第7号住居址 第79図-6	深鉢 縄文	口径 残高 4.6 底径 胴部一部	胎; 雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙		(外) 沈線による文様を施す (内)
第7号住居址 第79図-7	深鉢 縄文	口径 残高 3.8 底径 口縁部一部	胎; 金雲母、雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR5/8明赤褐 (内) 7.5YR5/6明褐		(外) 胴部に隆帯が巡り、その下に刺突文を連続して施す (内)
第7号住居址 第79図-8	深鉢 縄文	口径 残高 6.1 底径 胴部一部	胎; 石英、石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙		(外) (内)
第7号住居址 第79図-9	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 胴部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR6/6橙		(外) 磨消縄文を施す 沈線の区画にLR縄文を施す (内) 磨きを施す
第7号住居址 第79図-10	深鉢 縄文	口径 残高 3.7 底径 胴部一部	胎; 石英、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR4/3褐 (内) 5YR6/6橙		(外) 磨消縄文を施す 沈線の区画にLR縄文を施す (内) 窪削り
第7号住居址 第79図-11	深鉢 縄文	口径 残高 6.4 底径 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/6橙 (内) 5YR5/6明赤褐		(外) 胴部に刺突文を施す (内)
第7号住居址 第79図-12	深鉢 縄文	口径 残高 1.6 底径 14.0 底部一部	胎; 石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙		(外) 底部に網代痕有り (内)
第7号住居址 第79図-13	浅鉢 縄文	口径 残高 1.7 底径 10.2 底部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙		(外) 底部に網代痕有り (内)
第7号住居址 第79図-14	深鉢 縄文	口径 残高 2.5 底径 6.6 底部一部	胎; 礫、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR6/8橙 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) (内)
第7号住居址 第79図-15	油口 縄文	口径 器高 3.0 底径 胴部	胎; 石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙		(外) (内)
第8号住居址 第80図-1	坏 土師	口径 11.0 器高 3.8 底径 6.0 口縁部一部	胎; 石英、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	平底より内湾気味に立ち上がり、口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
第8号住居址 第80図-2	坏 土師	口径 10.8 器高 3.6 底径 5.0 口縁部一部	胎; 石英、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR5/3にぶい赤褐 (内) 黒	平底より内湾して開き、口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫での後、 磨き 黒色処理
第8号住居址 第80図-3	坏 土師	口径 12.8 残高 3.7 底径 口縁部1/2	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 10YR5/2 灰黄褐 (内) 10YR4/2 灰黄褐	内湾して開く体部より口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫での後、 磨き
第8号住居址 第80図-4	坏 土師	口径 11.8 器高 3.5 底径 6.4 口縁部一部	胎; 石英、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 黒	平底より内湾気味に開き、口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫での後、 磨き 黒色処理
第8号住居址 第80図-5	碗 土師	口径 14.4 器高 4.8 底径 7.0 ほぼ完形	胎; 石英、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 黒	高台付の底部より内湾して開き、口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫での後、 磨き 黒色処理

第23表 住居址出土遺物観察表(5)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第8号住居址 第80図-6	椀 灰釉 陶器	口径 13.8 器高 4.8 底径 7.2 口径1/2底1/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 2.5YR6/2灰黄 (内) 2.5YR6/2灰黄	高台付の底部より内湾して開 き、口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 灰釉を漬け掛けする
第8号住居址 第80図-7	椀 土師	口径 13.8 残高 4.1 底径 口径1/2底2/3	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 黒	内湾する体部より、僅かに内 湾する口縁部に至る 高台部は欠損している	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫での後、 筥磨き 黒色処理
第8号住居址 第80図-8	坏 土師	口径 18.6 残高 8.0 底径 口径1/6底1/3	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 黒	深めの体部より口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫での後、 筥磨き 黒色処理
第9号住居址 第81図-1	坏 土師	口径 14.8 器高 4.6 底径 7.2 1/2	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 黒	平底より立ち上がり、内湾す る体部から緩やかに外反する 口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 磨き 黒色処理 竈出土
第9号住居址 第81図-2	坏 土師	口径 12.0 器高 3.1 底径 5.0 口径1/5	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/3にぶい橙	平底より立ち上がり、緩やか に口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
第9号住居址 第81図-3	椀 土師	口径 16.0 器高 6.1 底径 8.0 口径1/4底1/3	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	高台付の底部から内湾して開 き、外反する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 筥磨き
第9号住居址 第81図-4	椀 土師	口径 残高 2.5 底径 底部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/8橙 (内) 黒	高台付の底部	(外) 轆轤による撫で (内) 筥磨き 黒色処理
第9号住居址 第81図-5	椀 土師	口径 残高 2.3 底径 6.0 底部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR8/3浅黄橙 (内) 黒	高台付の底部	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で 筥磨き 黒色処理
第9号住居址 第81図-6	椀 灰釉 陶器	口径 残高 2.6 底径 9.0 底部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5GY7/1明オリーブ灰 (内) 5BG7/1明青灰	高台付の底部	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
第9号住居址 第81図-7	椀 土師	口径 残高 1.7 底径 6.8 底部5/6	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR7/3 にぶい黄橙 (内) 黒	高台付の底部	(外) 底部回転糸切り (内) 筥磨き 黒色処理
第9号住居址 第81図-8	甕 土師	口径 18.0 器高 8.5 底径 10.0 1/3	胎;金雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/8橙	平底より立ち上がり、胴部上 位で張りをもち、「く」の字 状に外反する	(外) 口縁部横位の撫で (内) 口縁部横位の撫で 横位の筥削り
第9号住居址 第81図-9	甕 土師	口径 17.6 残高 7.7 底径 口径1/4底1/3	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR8/4浅黄橙 (内) 7.5YR8/4浅黄橙	張りの無い胴部より、外反す る口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
第9号住居址 第81図-10	甕 土師	口径 17.6 残高 10.0 底径 口径1/6底1/3	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/3にぶい橙	張りの無い胴部より、外反す る口縁部に至る	(外) 口縁部轆轤による撫で 筥削り (内) 木口状工具による刷毛 目
第9号住居址 第81図-11	甕 須恵	口径 残高 6.5 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5GY6/1オリーブ灰 (内) N4/ 灰	張りのある胴部より、頸部で 屈曲外反する	(外) 叩き目を施す 自然釉を施す (内) 筥削りの後、撫で 12と同一個体と思われる
第9号住居址 第81図-12	甕 須恵	口径 残高 13.5 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5BG3/1暗青灰 (内) 5G6/1 緑灰		(外) (内) 11と同一個体と思われる

第24表 住居址出土遺物観察表(6)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第11号住居址 第 82図-1	深鉢 縄文	口径 18.6 残高 11.7 底径 口縁部1/2	胎; 細砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 10YR5/1 褐灰	丸みのある胴部より、緩やかに外反する口縁部に至る	(外) 磨消縄文を施す LR縄文を施した後、沈線の区画を施す (内) 横位の窪削りの後、磨き
第11号住居址 第 82図-2	深鉢 縄文	口径 25.0 残高 13.9 底径 口縁部1/4	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR5/6明褐	口唇部に沈線による文様を施す 強く張る胴部より外反して、大きく開く口縁部に至る	(外) 磨消縄文を施す LR縄文を施した後、沈線による文様を施す (内) 磨き
第11号住居址 第 82図-3	深鉢 縄文	口径 34.0 残高 16.4 底径 口縁部1/4	胎; 石英、雲母、粗砂粒多量に含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR5/6明褐	張りのある胴部より外反して大きく開いて口縁部に至る	(外) 磨消縄文を施す LR縄文を施した後、沈線の区画を施す (内) 横位の窪削り 磨き
第11号住居址 第 82図-4	深鉢 縄文	口径 35.2 残高 29.0 底径 口縁部1/3	胎; 細砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 10YR3/1 黒褐	緩やかにふくらむ胴部より外反して、口縁部に至る 波状口縁を呈する	(外) 沈線による文様とLR縄文を施す (内) 横位の窪削り
第11号住居址 第 82図-5	深鉢 縄文	口径 39.6 残高 19.0 底径 口縁部1/3	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	丸みを帯びた胴部より緩やかに外反して、口縁部に至る	(外) 胴部にLR縄文を施す (内) 横位の窪削り
第11号住居址 第 82図-6	深鉢 縄文	口径 27.0 残高 7.0 底径 口縁部1/4	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	波状口縁を呈する	(外) 沈線による文様を施す (内) 横位の磨き
第11号住居址 第 82図-7	深鉢 縄文	口径 残高 9.0 底径 口縁部1/4	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR4/4褐 (内) 7.5YR6/8橙	波頂部	(外) 磨き (内) 磨き
第11号住居址 第 82図-8	浅鉢 縄文	口径 残高 5.2 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/3にぶい赤褐	口縁部は外反する	(外) 口唇部に1条の沈線が巡る 窪削り (内) 磨き
第11号住居址 第 82図-9	深鉢 縄文	口径 残高 5.1 底径 口縁部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 10YR6/3 にぶい黄橙	波頂部	(外) (内) 隆帯が巡る
第11号住居址 第 82図-10	浅鉢 縄文	口径 残高 5.6 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR5/6明褐 (内) 5YR5/6明赤褐	波頂部	(外) (内) 磨き
第11号住居址 第 82図-11	浅鉢 縄文	口径 残高 7.8 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR6/6橙~5YR5/2灰褐 (内) 5YR6/6橙	波頂部 口縁部は外反し、先端は屈折する	(外) 口唇部に1条の沈線が巡る 磨き (内) 磨き
第11号住居址 第 82図-12	深鉢 縄文	口径 残高 11.5 底径 口縁部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 10YR6/4 にぶい黄橙 (内) 10YR5/2 灰黄褐	口縁部は外反し、先端で緩く内折する	(外) 沈線による文様を施す (内) 横位の窪削り
第11号住居址 第 82図-13	浅鉢 縄文	口径 残高 5.9 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 2.5YR5/3にぶい赤褐 (内) 5YR6/3にぶい橙	波頂部 口縁部は先端で屈曲する	(外) 口縁部に1条の沈線が巡る (内) 窪削り
第11号住居址 第 82図-14	浅鉢 縄文	口径 残高 8.2 底径 口縁部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 10YR4/2 灰黄褐	口縁部は外反し、先端で内屈する	(外) 口唇部に1条の沈線が巡る (内) 横位の窪削り
第11号住居址 第 82図-15	深鉢 縄文	口径 残高 6.4 底径 口縁部一部	胎; 雲母を僅かに含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 10YR7/3 にぶい黄橙	波頂部	(外) (内)

第25表 住居址出土遺物観察表(7)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
第11号住居址 第 82図-16	浅鉢 縄文	口径 残高 7.7 底径 口縁部一部	胎;雲母を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/3にぶい褐 (B) 5YR6/6橙	波頂部	(A) 篋削り (B)
第11号住居址 第 82図-17	浅鉢 縄文	口径 残高 4.4 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/6橙	口縁部は外反し、先端で強く折れる	(A) 沈線の区画に縄文を施す (B) 精緻な磨き
第11号住居址 第 82図-18	浅鉢 縄文	口径 残高 2.7 底径 口縁部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/3褐 (B) 7.5YR3/3暗褐	口縁部は大きく外反して開き先端で屈折する	(A) (B) 磨き
第11号住居址 第 82図-19	深鉢 縄文	口径 残高 6.3 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/3にぶい褐		(A) (B)
第11号住居址 第 82図-20	浅鉢 縄文	口径 残高 9.4 底径 体部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/1褐灰~5YR6/2灰褐 (B) 5YR6/3にぶい橙		(A) 磨消縄文を施す (B)
第11号住居址 第 82図-21	浅鉢 縄文	口径 残高 6.6 底径 体部一部	胎;石英、雲母、礫含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR8/4浅黄橙 (B) 5YR7/6橙		(A) 沈線による文様を施す (B)
第11号住居址 第 82図-22	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/3にぶい赤褐 (B) 5YR4/2灰褐		(A) 磨消縄文を施す (B) 磨き
第11号住居址 第 82図-23	浅鉢 縄文	口径 残高 8.2 底径 体部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒多量に含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR5/6明赤褐 (B) 2.5YR4/1赤灰		(A) 磨消縄文を施す (B)
第11号住居址 第 82図-24	深鉢 縄文	口径 残高 6.3 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/6橙~2.5YR4/1赤灰 (B) 2.5YR5/8明赤褐		(A) 磨消縄文を施す L R縄文を施文した後 沈線の区画を施す (B) 磨き
第11号住居址 第 82図-25	浅鉢 縄文	口径 残高 5.1 底径 体部一部	胎;石英、雲母、礫含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/8橙 (B) 5YR5/4にぶい赤褐		(A) 磨消縄文を施す (B)
第11号住居址 第 82図-26	浅鉢 縄文	口径 残高 7.5 底径 体部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/8橙~2.5YR4/1赤 (B) 2.5YR5/1赤灰	丸みのある胴部より、緩やかに外反する口縁部に至る	(A) (B)
第11号住居址 第 82図-27	深鉢 縄文	口径 残高 6.6 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/6橙 (B) 2.5YR5/6明赤褐~5YR5/1褐灰		(A) 磨消縄文を施す (B) 磨き
第11号住居址 第 82図-28	深鉢 縄文	口径 残高 7.1 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/4にぶい褐~10R5/3 赤褐 (B) 7.5YR7/3にぶい橙~7.5YR5/1赤		(A) U字状区画文を施す 縄文を施文した後、沈線 を施す (B)
第11号住居址 第 82図-29	深鉢 縄文	口径 残高 5.8 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3にぶい褐 (B) 7.5YR6/4にぶい橙		(A) 胴部にL R縄文を施す (B) 篋削り
第11号住居址 第 82図-30	深鉢 縄文	口径 残高 9.3 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 5YR6/4にぶい橙		(A) 押圧隆帯を施す (B) 磨き

第26表 住居址出土遺物観察表(8)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第11号住居址 第 82図-31	浅鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR4/1褐灰 (内) 5YR4/1褐灰		(外) 頸部に「8」字状貼付 文を施す (内) 筥磨き
第11号住居址 第 82図-32	浅鉢 縄文	口径 残高 4.2 底径 体部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 2.5Y4/1 黄灰 (内) 2.5Y4/1 黄灰		(外) 頸部に「8」字状貼付 文を施す (内) 筥磨き
第11号住居址 第 82図-33	浅鉢 縄文	口径 残高 5.7 底径 体部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR5/4にふい赤褐 (内) 5YR4/1褐灰		(外) 沈線による文様を施す (内) 筥磨き
第11号住居址 第 82図-34	深鉢 縄文	口径 残高 8.5 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/8橙 (内) 5YR3/1黒褐		(外) 沈線による文様を施す (内)
第11号住居址 第 82図-35	深鉢 縄文	口径 残高 9.5 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母片含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/4にふい橙 (内) 5YR6/4にふい橙	張りの無い胴部よりそのまま 口縁部に至る 口縁部は少し肥厚する	(外) 沈線による文様を施す (内) 撫で
第11号住居址 第 82図-36	深鉢 縄文	口径 残高 6.7 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/4にふい褐 (内) 7.5YR4/2灰褐		(外) 口縁部に沈線が巡る 胴部にL R縄文を施す (内)
第11号住居址 第 82図-37	浅鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR7/4にふい橙~5YR5/1褐灰 (内) 5YR7/6橙		(外) 沈線による文様を施す (内) 磨き
第11号住居址 第 82図-38	深鉢 縄文	口径 残高 4.6 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR3/3暗赤褐 (内) 5YR4/2灰褐	波頂部	(外) 沈線とR L縄文による 文様を施す (内) 磨き
第11号住居址 第 82図-39	深鉢 縄文	口径 残高 5.1 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR4/3にふい赤褐 (内) 5YR5/3にふい赤褐	口唇部に面取りを施す	(外) 口縁部に沈線による文 様を施す (内)
第11号住居址 第 82図-40	深鉢 縄文	口径 残高 4.4 底径 口縁部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/3にふい褐 (内) 5YR4/4にふい赤褐	口唇部は面取りを施し、内側 に肥厚する	(外) 沈線による文様を施す (内)
第11号住居址 第 82図-41	深鉢 縄文	口径 残高 5.2 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR3/3暗赤褐 (内) 5YR3/3暗赤褐		(外) 口唇部に沈線が巡る (内)
第11号住居址 第 82図-42	浅鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR4/2灰褐 (内) 5YR5/2灰褐	口唇部に面取りを施す 粗製	(外) 無文 筥削り 筥磨き (内) 筥削り 筥磨き
第11号住居址 第 82図-43	深鉢 縄文	口径 残高 6.1 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒多量に含む 焼;良好 色;(外) 5YR3/2暗赤褐 (内) 5YR6/8橙	粗製	(外) 無文 筥削り (内) 筥削り
第11号住居址 第 82図-44	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/2明褐灰 (内) 7.5YR7/2明褐灰	粗製	(外) 無文 (内)
第11号住居址 第 82図-45	浅鉢 縄文	口径 残高 5.3 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/3にふい褐 (内) 7.5YR4/3褐	粗製	(外) 無文 筥削り 磨き (内) 筥削り 磨き

第27表 住居址出土遺物観察表(9)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第11号住居址 第 82図-46	浅鉢 縄文	口径 残高 5.9 底径 口縁部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	粗製	(外) 無文 磨き (内) 磨き
第11号住居址 第 82図-47	深鉢 縄文	口径 残高 7.3 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒多量に含む 焼;良好 色;(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	粗製	(外) 無文 (内)
第11号住居址 第 82図-48	深鉢 縄文	口径 残高 10.0 底径 口縁部一部	胎;雲母、細砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	突起部	(外) 筒削り (内) 筒磨き
第11号住居址 第 82図-49	深鉢 縄文	口径 残高 8.5 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR6/4 にぶい黄橙 (内) 7.5YR6/3にぶい褐~10YR4/1褐灰	突起部	(外) (内)
第11号住居址 第 82図-50	深鉢 縄文	口径 残高 8.0 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/3にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	突起部	(外) 筒磨き (内)
第11号住居址 第 82図-51	浅鉢 縄文	口径 残高 3.2 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR4/2灰褐 (内) 5YR4/1褐灰	口唇部に連続した刻み目を施す	(外) 口縁部に沈線による文様を施す 横位磨き (内) 文様を施す 精緻な筒磨き
第11号住居址 第 82図-52	浅鉢 縄文	口径 残高 5.2 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR2/1黒褐~5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR5/1褐灰~5YR7/3にぶい橙	波頂部 口唇部に連続した刺突文を施す	(外) 磨消縄文を施す 横位に巡るLR縄文の構成 (内) 口縁部に4條の沈線による文様を施す 筒磨き
第11号住居址 第 82図-53	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR4/1褐灰 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	口唇部に面取りを施す	(外) 沈線による文様を施す 精緻な作り 磨き (内)
第11号住居址 第 82図-54	浅鉢 縄文	口径 残高 4.4 底径 口縁部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR3/1黒褐 (内) 5YR3/1黒褐~5YR6/6橙	口唇部に面取りを施す	(外) 筒削り 筒磨き (内) 沈線が巡る 筒削り 筒磨き
第11号住居址 第 82図-55	深鉢 縄文	口径 28.4 残高 17.0 底径 口縁部1/3	胎;石英、粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR2/2黒褐 (内) 7.5YR5/6明褐	樽形の胴部より緩く内湾して口縁部に至る	(外) 口縁部に平行に指頭で押圧した隆帯が巡る 横位の筒削り (内) 横位の筒削り
第11号住居址 第 82図-56	深鉢 縄文	口径 34.0 残高 21.5 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR4/4褐	粘土帯積み上げ	(外) 連続して指頭で押圧した隆帯が口縁部を巡る 縦位の筒削り (内) 横位の筒削り
第11号住居址 第 82図-57	深鉢 縄文	口径 36.6 残高 20.5 底径 口縁部一部	胎;細砂粒、粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR5/6明褐	張りの無い胴部より、先端で小さく内湾する口唇部に至る	(外) 連続して押圧した隆帯が口縁部を巡る 横位の筒削り (内) 横位の筒削り
第11号住居址 第 82図-58	深鉢 縄文	口径 残高 7.1 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/3にぶい橙~7.5YR4/2灰褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐		(外) 口縁部直下に連続して押圧した隆帯が巡る (内) 横位の筒削り
第11号住居址 第 82図-59	深鉢 縄文	口径 残高 5.2 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR4/2灰褐~7.5YR6/6 橙 (内) 7.5YR6/8橙		(外) 口縁部直下に連続して押圧した隆帯が巡る (内) 横位の筒削り
第11号住居址 第 82図-60	深鉢 縄文	口径 残高 5.1 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/8橙 (内) 5YR4/3にぶい赤褐		(外) 口縁部直下に連続して押圧した隆帯が巡る (内) 横位の筒削り

第28表 住居址出土遺物観察表(10)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量 器	質 成 形 ・ 形 態 ほ か	整 形 ほ か
第11号住居址 第 82図-61	深鉢 縄文	口径 残高 4.7 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/4にぶい赤褐 (B) 5YR5/6明赤褐	(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (B) 横位の筥削り
第11号住居址 第 82図-62	深鉢 縄文	口径 残高 7.5 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/3にぶい赤褐 (B) 5YR6/6橙	(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (B) 筥磨き
第11号住居址 第 82図-63	深鉢 縄文	口径 残高 5.7 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4にぶい赤褐 (B) 5YR6/6橙	(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (B)
第11号住居址 第 82図-64	深鉢 縄文	口径 残高 2.7 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/3にぶい 橙~5YR6/6橙 (B) 5YR6/4にぶい橙	(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (B)
第11号住居址 第 82図-65	深鉢 縄文	口径 残高 5.1 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/3にぶい 橙~5YR7/3にぶい 橙 (B) 5YR5/1褐灰~5YR6/3にぶい 橙	(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (B)
第11号住居址 第 82図-66	深鉢 縄文	口径 残高 5.4 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい 橙~5YR5/4にぶい 赤褐 (B) 5YR4/1褐灰~5YR6/4にぶい 橙	(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (B)
第11号住居址 第 82図-67	深鉢 縄文	口径 残高 3.6 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/2灰褐 (B) 5YR4/6赤褐	(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (B) 横位の筥削り
第11号住居址 第 82図-68	深鉢 縄文	口径 残高 3.8 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4にぶい 褐 (B) 7.5YR6/4にぶい 橙	口唇部は内側に肥厚する (A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (B)
第11号住居址 第 82図-69	深鉢 縄文	口径 残高 4.4 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/3 にぶい黄橙 (B) 7.5YR7/3にぶい 橙	(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (B) 筥削り
第11号住居址 第 82図-70	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/6橙 (B) 7.5YR4/1褐灰	(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯を貼付して 巡らせる (B) 横位の筥削り
第11号住居址 第 82図-71	深鉢 縄文	口径 残高 6.7 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/2灰褐 (B) 5YR4/3にぶい 赤褐	(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 横位の筥削り (B) 筥削りの後、筥磨き
第11号住居址 第 82図-72	深鉢 縄文	口径 残高 6.7 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4にぶい 赤褐 (B) 5YR5/6明赤褐	(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (B)
第11号住居址 第 82図-73	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/2褐灰 (B) 5YR6/4にぶい 橙	(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (B)
第11号住居址 第 82図-74	深鉢 縄文	口径 残高 6.5 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/1褐灰 (B) 7.5YR7/2明褐灰	(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 筥削り (B) 筥削り
第11号住居址 第 82図-75	深鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/3にぶい 赤褐 (B) 5YR5/4にぶい 赤褐	口唇部は内側に肥厚する (A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (B)

第29表 住居址出土遺物観察表(11)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
第11号住居址 第 82図-76	深鉢 縄文	口径 残高 5.7 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 2.5YR6/6橙~2.5YR5/1赤灰 (内) 2.5YR4/1赤灰		(外) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (内) 横位の匏削り
第11号住居址 第 82図-77	深鉢 縄文	口径 残高 10.2 底径 口縁部一部	胎; 二枚を対称のようになっている 焼; 良好 色; (外) 5YR5/6明赤褐~5YR4/2灰褐 (内) 5YR3/6暗赤褐		(外) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (内) 匏削り
第11号住居址 第 82図-78	深鉢 縄文	口径 残高 6.0 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 2.5YR5/6明赤褐~2.5YR4/1赤灰 (内) 2.5YR4/4にぶい赤褐		(外) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 匏削り (内) 匏削り
第11号住居址 第 82図-79	深鉢 縄文	口径 残高 5.3 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR7/4にぶい橙~7.5YR5/1赭 (内) 7.5YR7/4にぶい橙		(外) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 匏削りの後、撫で (内) 匏削りの後、撫で
第11号住居址 第 82図-80	深鉢 縄文	口径 残高 6.6 底径 口縁部一部	胎; 礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐		(外) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (内) 横位の匏磨き
第11号住居址 第 82図-81	深鉢 縄文	口径 残高 5.6 底径 口縁部一部	胎; 礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙		(外) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 横位の匏削り (内) 横位の匏削り
第11号住居址 第 82図-82	深鉢 縄文	口径 残高 9.7 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR4/2灰褐 (内) 5YR6/4にぶい橙~7.5YR4/1 褐灰	粘土帯積み上げ	(外) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 匏削り (内) 匏磨き
第11号住居址 第 82図-83	深鉢 縄文	口径 残高 8.1 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐		(外) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (内)
第11号住居址 第 82図-84	深鉢 縄文	口径 残高 7.3 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR7/6橙~7.5YR5/2灰褐 (内) 7.5YR7/4にぶい橙		(外) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 横位の匏削り (内) 横位の匏削り
第11号住居址 第 82図-85	深鉢 縄文	口径 残高 5.8 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR5/2灰褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐		(外) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 横位の匏削り (内) 横位の匏削り
第11号住居址 第 82図-86	深鉢 縄文	口径 残高 7.1 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐		(外) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 横位の匏削り (内) 横位の匏削り
第11号住居址 第 82図-87	深鉢 縄文	口径 残高 9.8 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR4/2灰褐		(外) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 撫で (内) 横位の匏削り
第11号住居址 第 82図-88	深鉢 縄文	口径 残高 8.2 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/6明赤褐		(外) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る (内) 横位の匏削り
第11号住居址 第 82図-89	深鉢 縄文	口径 残高 5.6 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR4/4にぶい赤褐 (内) 5YR4/2灰褐		(外) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 匏削り (内) 匏削り
第11号住居址 第 82図-90	深鉢 縄文	口径 残高 6.7 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR6/3にぶい橙 (内) 5YR5/2灰褐		(外) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 匏削り (内) 匏削り

第30表 住居址出土遺物観察表(12)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
第11号住居址 第 82図-91	深鉢 縄文	口径 残高 7.2 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4にぶい赤褐 (B) 5YR3/3暗赤褐	粘土帯積み上げ	(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 横位の筥削り (B) 横位の筥削り
第11号住居址 第 82図-92	深鉢 縄文	口径 残高 8.0 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6明赤褐~5YR4/2灰褐 (B) 5YR3/2暗赤褐		(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 横位の筥削り (B) 横位の筥削り
第11号住居址 第 82図-93	深鉢 縄文	口径 残高 7.5 底径 口縁部一部	胎;礫、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/8橙 (B) 7.5YR6/4にぶい橙		(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 横位の筥削り (B) 轆の廻り、磨き
第11号住居址 第 82図-94	深鉢 縄文	口径 残高 10.3 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/8橙~5YR4/2灰褐 (B) 5YR5/1褐灰	粘土帯積み上げ	(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 横位の筥削り (B) 横位の筥削り
第11号住居址 第 82図-95	深鉢 縄文	口径 残高 6.7 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/6赤褐 (B) 5YR6/6橙		(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 筥削り (B) 横位の筥削り
第11号住居址 第 82図-96	深鉢 縄文	口径 残高 9.8 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4にぶい赤褐 (B) 5YR6/6橙	粘土帯積み上げ	(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 筥削り (B) 横位の筥削り
第11号住居址 第 82図-97	深鉢 縄文	口径 残高 12.4 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/2灰褐 (B) 5YR4/3にぶい赤褐		(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 横位の筥削り (B) 横位の筥削り
第11号住居址 第 82図-98	深鉢 縄文	口径 残高 15.6 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6赤褐~5YR3/2暗赤褐 (B) 5YR6/6橙		(A) 口縁部直下に連続して 押圧した隆帯が巡る 筥削りの後、撫で (B)
第11号住居址 第 82図-99	深鉢 縄文	口径 残高 2.0 底径 6.4 底部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 5YR5/2灰褐	平底より緩やかに立ち上がる	(A) 底部に網代痕有り (B)
第11号住居址 第 82図-100	深鉢 縄文	口径 残高 2.3 底径 7.4 底部1/2	胎;礫、細砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/8橙 (B) 10YR7/4 にぶい黄橙	平底	(A) 底部に網代痕有り (B)
第11号住居址 第 82図-101	深鉢 縄文	口径 残高 3.6 底径 18.0 底部1/8	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/6明褐 (B) 7.5YR7/6橙	平底	(A) 底部に網代痕有り (B)
第11号住居址 第 82図-102	深鉢 縄文	口径 残高 3.0 底径 8.6 底部1/4	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/6橙~5YR5/1褐灰 (B) 5YR5/6明赤褐~5YR5/1褐灰	平底	(A) 底部に網代痕有り (B) 磨き
第11号住居址 第 82図-103	深鉢 縄文	口径 残高 2.5 底径 10.0 底部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙	平底	(A) 底部に網代痕有り (B)
第11号住居址 第 82図-104	深鉢 縄文	口径 残高 1.5 底径 10.2 底部1/4	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/6橙 (B) 10YR7/4 にぶい黄橙	上げ底気味の平底	(A) 底部に網代痕有り (B)
第11号住居址 第 82図-105	深鉢 縄文	口径 残高 3.0 底径 10.2 底部1/4	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/8橙 (B) 5YR6/4にぶい橙	平底	(A) 底部に網代痕有り (B)

第31表 住居址出土遺物観察表(13)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量 器	質 成 形 ・ 形 態 ほ か	整 形 ほ か
第11号住居址 第 82図-106	深鉢 縄文	口径 残高 1.7 底径 11.0 底部1/4	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR5/6明赤褐 (B) 2.5YR5/6明赤褐	平底 (A) 底部に網代痕有り (B)
第11号住居址 第 82図-107	深鉢 縄文	口径 残高 2.3 底径 9.6 底部1/4	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR5/6明赤褐 (B) 2.5YR5/1赤灰	平底 (A) 底部に網代痕有り (B)
第11号住居址 第 82図-108	深鉢 縄文	口径 残高 2.6 底径 7.6 底部1/4	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR6/8橙	平底 (A) 底部に網代痕有り (B)
第11号住居址 第 82図-109	深鉢 縄文	口径 残高 0.9 底径 底部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 5YR6/4にぶい橙	平底 (A) 底部に網代痕有り (B)
第11号住居址 第 82図-110	深鉢 縄文	口径 残高 3.2 底径 10.0 底部1/6	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR4/6赤褐 (B) 2.5YR5/6明赤褐	平底 (A) 底部に網代痕有り (B)
第11号住居址 第 82図-111	深鉢 縄文	口径 残高 1.5 底径 9.6 底部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい 橙~5YR5/1 褐灰 (B) 10YR5/3 にぶい黄褐	平底 (A) 底部に網代痕有り (B)
第11号住居址 第 82図-112	深鉢 縄文	口径 残高 1.9 底径 6.1 底部4/5	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR4/3にぶい赤褐 (B) 2.5YR4/3にぶい赤褐	平底 (A) 胴部に沈線が垂下し、 その区画に縄文を回転 する (B) 磨き
第11号住居址 第 82図-113	浅鉢 縄文	口径 残高 1.8 底径 8.6 底部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/8橙~5YR6/1褐灰 (B) 10YR2/1 黒	平底 (A) 胴部に沈線が垂下する (B)
第11号住居址 第 82図-114	深鉢 縄文	口径 残高 3.2 底径 9.6 底部1/4	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/4にぶい 橙 (B) 2.5YR6/6橙	平底 (A) (B)
第11号住居址 第 82図-115	深鉢 縄文	口径 残高 2.8 底径 10.0 底部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR5/2灰褐~5YR7/6橙	上げ底気味の平底より、緩やかに立ち上がる (A) (B) 撫で
第11号7居址 第 82図-116	深鉢 縄文	口径 残高 3.7 底径 10.0 底部1/4	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/6橙 (B) 7.5YR7/6橙	平底 (A) (B)
第11号住居址 第 82図-117	深鉢 縄文	口径 残高 2.6 底径 11.2 底部1/4	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4にぶい赤褐 (B) 5YR5/6明赤褐	平底 (A) (B)
第11号住居址 第 82図-118	深鉢 縄文	口径 残高 3.1 底径 8.0 底部1/3	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4にぶい赤褐 (B) 5YR5/4にぶい 橙~5YR5/2灰褐	平底 (A) (B)
第11号住居址 第 82図-119	深鉢 縄文	口径 残高 1.8 底径 8.6 底部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6明赤褐 (B) 5YR5/4にぶい 橙	平底 (A) (B)
第11号住居址 第 82図-120	深鉢 縄文	口径 残高 1.7 底径 9.0 底部1/4	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/8橙 (B) 5YR7/6橙	平底 (A) (B)

第32表 住居址出土遺物観察表(14)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第11号住居址 第 82図-121	深鉢 縄文	口径 2.8 残高 10.4 底径 1/4 底部	胎; 礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底	(外) (内)
第11号住居址 第 82図-122	深鉢 縄文	口径 3.2 残高 7.4 底径 1/4 底部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	平底	(外) (内)
第11号住居址 第 82図-123	深鉢 縄文	口径 3.1 残高 8.2 底径 1/5 底部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 10YR3/1 黒褐	平底	(外) (内)
第11号住居址 第 82図-124	深鉢 縄文	口径 2.6 残高 5.0 底径 1/5 底部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR7/4にぶい橙~7.5YR4/1 褐灰 (内) 5YR6/4にぶい橙	平底	(外) (内)
第11号住居址 第 82図-125	深鉢 縄文	口径 2.7 残高 7.2 底径 1/4 底部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR6/2灰褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底	(外) (内)
第11号住居址 第 82図-126	深鉢 縄文	口径 3.1 残高 7.6 底径 1/4 底部	胎; 石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底	(外) (内)
第11号住居址 第 82図-127	深鉢 縄文	口径 2.1 残高 7.6 底径 1/4 底部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR4/1赤灰	平底	(外) (内)
第11号住居址 第 82図-128	浅鉢 縄文	口径 1.8 残高 7.8 底径 一部 底部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 2.5YR5/8明赤褐~5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR4/1褐灰	平底	(外) (内)
第11号住居址 第 82図-129	注口 土器 縄文	口径 10.0 器高 15.3 底径 5.0 器~器3/4	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (外) 10YR3/1 黒褐 (内) 10YR3/1 黒褐	平底より立ち上がり、体部は算盤の珠状を呈する。体部より外反して口縁部に至る 把手が付く	(外) 磨消縄文を施す L R 縄文を施文した後、沈 線の区画を施す (内) 粗雑な磨き
第11号住居址 第 82図-130	注口 土器 縄文	口径 10.9 器高 4.0 器~器1/2	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	体部は算盤の珠状を呈する 口縁部は波状を呈する	(外) 磨磨き (内) 撫で
第11号住居址 第 82図-131	注口 土器 縄文	口径 1.4 残高 底径 注口部	胎; 礫、雲母、粗砂粒 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR4/1褐灰		(外) 撫で (内)
第11号住居址 第 82図-132	注口 土器 縄文	口径 7.9 残高 7.8 底径 体部~底部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR4/2灰褐	体部中位は強く張り、算盤の珠状を呈する 把手が付く	(外) 胴部に1条の沈線が巡り、刺突文を1対施す 底部に網代痕有り (内) 磨削り
第11号住居址 第 82図-133	吊手 土器 縄文	口径 6.3 残高 底径 最上位	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	最上位は筒状を呈する	(外) 押圧隆帯を縦横に施す (内) 磨き
第11号住居址 第 82図-134	深鉢 縄文	口径 19.3 残高 底径 胴部一部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR5/2灰褐 (内) 5YR5/3にぶい赤褐	胴部上位で丸みを帯び、頸部で緩やかに窄まる	(外) 沈線による文様を施す (内) 横位の磨削り
第12号住居址 第 83図-1	坏 土師	口径 12.3 残高 3.4 底径 口縁部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/6橙 (内) 黒	口縁部は内湾する	(外) 撫で (内) 撫で 磨磨き 黒色処理

第33表 住居址出土遺物観察表(15)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成 形 ・ 形 態 ほ か	整 形 ほ か
第12号住居址 第 83図-2	坏 土師	口径 12.6 残高 3.0 底径 口縁部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 5YR6/4にぶい橙	浅い体部より、内弯する口縁部に至る	(A) 口縁部横位の撫で (B) 口縁部横位の撫で
第12号住居址 第 83図-3	坏 土師	口径 14.2 残高 3.0 底径 口縁部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR6/6橙 (B) 7.5YR6/6橙	浅い体部より、内弯気味の口縁部に至る	(A) 口縁部横位の撫で 底部筥削り (B) 撫で 筥磨き
第12号住居址 第 83図-4	坏 土師	口径 残高 3.4 底径 6.8 底部一部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/3にぶい橙 (B) 5YR6/3にぶい橙	平底	(A) 撫で 筥削り (B) 撫で 竈出土
第12号住居址 第 83図-5	坏 土師	口径 14.7 器高 8.2 底径 口縁部1/4	胎; 雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 黒	丸底より緩やかに内弯する口縁部に至る	(A) 横位の筥削り (B) 筥磨き 黒色処理 竈出土
第12号住居址 第 83図-6	坏 土師	口径 17.6 残高 5.8 底径 口縁部1/3	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6橙 (B) 黒	内弯する体部より、内弯する口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫で 筥磨き 黒色処理
第12号住居址 第 83図-7	坏 須恵	口径 14.2 器高 3.6 底径 9.8 口縁部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/1黄灰 (B) 2.5YR5/1黄灰	高台付の底部より立ち上がって開き、直線的に口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫で
第12号住居址 第 83図-8	坏 須恵	口径 12.4 残高 4.0 底径 口縁部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5Y5/1 灰 (B) 5Y5/1 灰	体部より直線的に開く口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫で
第12号住居址 第 83図-9	甕 土師	口径 20.0 残高 5.8 底径 口縁部1/5	胎; 石英、礫を多量に含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 5YR6/4にぶい橙	口縁部は外反する	(A) 口縁部横位の撫で 胴部縦位の筥削り (B) 撫で
第12号住居址 第 83図-10	甕 須恵	口径 残高 4.2 底径 口縁部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR6/2灰黄 (B) 2.5YR6/2灰黄	強く張った胴部	(A) 叩き目を施す (B) 筥削り 撫で
第12号住居址 第 83図-11	壺 須恵	口径 残高 5.8 底径 7.2 口縁部	胎; 礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR5/2 灰黄褐 (B) 10YR6/1 褐灰	上げ底気味の底部より、内弯気味に立ち上がる轆轤成形	(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫で
第12号住居址 第 83図-12	深鉢 縄文	口径 22.0 残高 5.7 底径 口縁部一部	胎; 石英、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/4にぶい橙	上位で内側へ緩く折曲する	(A) 胴部に斜位の沈線による文様を施す 撫で (B) 撫で
第12号住居址 第 83図-13	深鉢 縄文	口径 残高 3.8 口径 口縁部一部	胎; 雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR7/2 にぶい黄橙 (B) 10YR7/2 にぶい黄橙	口唇部に面取りを施す	(A) 2条以上の単位の沈線を斜位に施す (B) 撫で
第13号住居址 第 84図-1	深鉢 縄文	口径 残高 19.0 底径 口縁部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/2灰褐 (B) 7.5YR6/4にぶい橙	胴部から口縁部まで直線的に開く。口縁部に2条の細い刻み目を入れた隆帯が巡る「8」字状貼付文を施す	(A) 磨消縄文を施す L R 縄文を施文した後沈線の区画を施す (B) 横位の筥磨き
第13号住居址 第 84図-2	深鉢 縄文	口径 23.5 残高 4.7 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5Y8/3 淡黄 (B) 7.5Y7/3 浅黄		(A) 磨消縄文でL R 縄文を施す 2条1組の細い刻み目入った隆帯が口縁部を巡り、「8」字状貼付文を施す 撫で (B) 磨き
第13号住居址 第 84図-3	深鉢 縄文	口径 残高 3.6 底径 口縁部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR3/1 黒褐 (B) 10YR3/1 黒褐		(A) 3条1組の細い刻み目入った隆帯が巡る「8」字状貼付文を施す 磨き (B) 磨き

第34表 住居址出土遺物観察表(16)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量 器	質 成 形 ・ 形 態 ほ か	整 形 ほ か
第13号住居址 第 84図-4	深鉢 縄文	口径 残高 6.5 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR8/2 灰白 (B) 7.5YR7/6橙	(A) 口縁部に2条1組の細い刻み目を入れた隆帯が巡る 磨消縄文構成 (B) 磨き
第13号住居址 第 84図-5	深鉢 縄文	口径 残高 4.6 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR3/1黒褐 (B) 7.5YR4/1褐灰	(A) 口縁部に2条1組の細い刻み目のある隆帯が巡る 磨消縄文構成 LR縄文を施す (B) 磨き
第13号住居址 第 84図-6	深鉢 縄文	口径 残高 12.3 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR8/3浅黄橙	(A) 細い刻み目を入れた隆帯が巡る 横位の磨き (B)
第13号住居址 第 84図-7	深鉢 縄文	口径 残高 7.8 底径 口縁部一部	胎;金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/2灰褐 (B) 7.5YR5/4にぶい褐	(A) 3条の細い刻み目を入れた隆帯が巡る (B) 口縁部に平行に沈線が巡る 磨き
第13号住居址 第 84図-8	深鉢 縄文	口径 残高 10.8 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR3/2暗赤褐 (B) 5YR6/4にぶい橙	(A) 磨消縄文構成 LR縄文を施す (B) 磨き
第13号住居址 第 84図-9	深鉢 縄文	口径 残高 3.2 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/2灰褐 (B) 7.5YR5/3にぶい褐	(A) 細い2条の刻み目を入れた隆帯が通り、その上はLR縄文を施す (B)
第13号住居址 第 84図-10	深鉢 縄文	口径 36.8 残高 19.5 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/3にぶい褐 (B) 7.5YR5/4にぶい褐	胴部より口縁部に向かって外反する (A) 横位、斜位の磨削り及び撫で付け (B) 精緻な磨き
第13号住居址 第 84図-11	浅鉢 縄文	口径 残高 3.3 底径 口縁部一部	胎;金雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/4 にぶい黄橙 (B) 10YR8/3 浅黄橙	口唇部に面取りを施す (A) (B) 沈線が巡る 磨き
第13号住居址 第 84図-12	深鉢 縄文	口径 残高 5.2 底径 口縁部一部	胎;金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙	波頂部 (A) 磨き (B) 沈線が巡る 磨き
第13号住居址 第 84図-13	浅鉢 縄文	口径 残高 6.0 底径 口縁部一部	胎;金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/4にぶい橙 (B) 5YR7/4にぶい橙	口唇部で小さく内折する (A) 撫で (B) 磨き
第13号住居址 第 84図-14	浅鉢 縄文	口径 残高 2.0 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6明赤褐 (B) 7.5YR6/6橙	口縁部は外側に肥厚する (A) (B)
第13号住居址 第 84図-15	浅鉢 縄文	口径 残高 3.8 底径 口縁部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/4 にぶい黄橙 (B) 10YR8/4 浅黄橙	口縁部は大きく開き、先端で折曲する (A) 磨き (B) 磨き
第13号住居址 第 84図-16	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 口縁部一部	胎;金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6明赤褐 (B) 5YR5/6明赤褐	(A) 口縁部に深い沈線による文様を施す 撫で (B) 磨き
第13号住居址 第 84図-17	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 口縁部一部	胎;金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/6橙 (B) 2.5YR6/8橙	口縁部は波状を呈し、内側に肥厚する (A) 隆帯による文様を施す (B) 磨き
第13号住居址 第 84図-18	深鉢 縄文	口径 残高 2.7 底径 口縁部一部	胎;金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/3にぶい褐 (B) 7.5YR7/6橙	波頂部 口縁部は先端で内折して、肥厚する (A) 磨消縄文、LR縄文を施す (B)

第35表 住居址出土遺物観察表(17)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第13号住居址 第 84図-19	浅鉢 縄文	口径 残高 4.7 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR3/1黒褐 (B) 5YR5/4にぶい赤褐	波頂部	(A) 筒磨き (B) 沈線が巡る 筒磨き
第13号住居址 第 84図-20	深鉢 縄文	口径 残高 11.1 底径 突起部	胎;雲母、粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3にぶい褐 (B) 5YR6/4にぶい橙		(A) 撫で 削り (B)
第13号住居址 第 84図-21	浅鉢 縄文	口径 残高 5.7 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4にぶい赤褐 (B) 7.5YR7/3にぶい橙	口縁部に孔を穿つ	(A) 筒削り 筒磨き (B) 口縁部に平行に1条の沈線による文様を施し その下に2条1組の沈線による文様を施す 筒磨き
第13号住居址 第 84図-22	浅鉢 縄文	口径 残高 3.1 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙		(A) (B) 沈線による文様を施す
第13号住居址 第 84図-23	浅鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 体部一部	胎;金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/3にぶい橙 (B) 7.5YR7/2明褐灰		(A) 磨消縄文構成 R L 縄文を施す (B) 筒磨き
第13号住居址 第 84図-24	深鉢 縄文	口径 残高 4.1 底径 胴部一部	胎;金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/3にぶい橙 (B) 5YR6/8橙		(A) 磨消縄文構成 L R 縄文を施す (B)
第13号住居址 第 84図-25	深鉢 縄文	口径 残高 2.9 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR2/1黒褐 (B) 5YR4/3にぶい赤褐		(A) L R 縄文を施す (B)
第13号住居址 第 84図-26	深鉢 縄文	口径 残高 5.2 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3にぶい褐 (B) 7.5YR6/4にぶい褐		(A) 沈線と粗いL R 縄文に よる文様を施す (B) 筒削り
第13号住居址 第 84図-27	深鉢 縄文	口径 残高 3.6 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (B) 7.5YR6/3にぶい橙		(A) R L 縄文を施した後、 沈線による文様を施す (B) 磨き
第13号住居址 第 84図-28	深鉢 縄文	口径 残高 6.1 底径 胴部一部	胎;金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/3にぶい橙 (B) 7.5YR3/1黒褐		(A) 磨消縄文構成 R L 縄文を施す (B)
第13号住居址 第 84図-29	深鉢 縄文	口径 残高 3.7 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/6橙 (B) 7.5YR6/6橙		(A) L R 縄文を施す (B)
第13号住居址 第 84図-30	深鉢 縄文	口径 残高 5.3 底径 胴部一部	胎;金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4にぶい褐 (B) 7.5YR5/6明褐		(A) R L 縄文を施す (B) 筒削り
第13号住居址 第 84図-31	深鉢 縄文	口径 残高 7.0 底径 波頂部一部	胎;金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/4褐 (B) 7.5YR5/4にぶい橙		(A) 沈線による文様を施す (B) 磨き
第13号住居址 第 84図-32	深鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 口縁部一部	胎;金雲母、細砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR6/6橙	口唇部に面取りを施す	(A) 口縁部に平行に太い刻 み目を入れた隆帯を巡 らす 撫で (B) 撫で
第13号住居址 第 84図-33	深鉢 縄文	口径 残高 2.1 底径 胴部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/8橙 (B) 7.5YR4/2灰褐		(A) 沈線による文様を施す (B) 磨き

第36表 住居址出土遺物観察表(18)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成 形 ・ 形 態 ほ か	整 形 ほ か
第13号住居址 第 84図-34	深鉢 縄文	口径 残高 3.6 底径 胴部一部	胎;金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/3にぶい橙		(外) 沈線による文様を施す (内)
第13号住居址 第 84図-35	深鉢 縄文	口径 残高 3.6 底径 7.4 底部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR8/4 浅黄橙 (内) 10YR7/4 にぶい黄橙	平底より立ち上がる 底部は張り出す	(外) 筥削り (内) 筥削り
第13号住居址 第 84図-36	深鉢 縄文	口径 残高 2.1 底径 10.2 底部一部	胎;金雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR8/4淡橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底 底部は張り出す	(外) 底部に網代痕有り (内) 筥削り
第13号住居址 第 84図-37	深鉢 縄文	口径 残高 1.4 底径 底部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR6/8橙	平底	(外) 底部に網代痕有り (内)
第13号住居址 第 84図-38	深鉢 縄文	口径 残高 3.6 底径 14.2 底部一部	胎;金雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底 底部は張り出す	(外) 筥削り (内) 筥削り
第13号住居址 第 84図-39	深鉢 縄文	口径 残高 1.1 底径 底部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 10YR7/3 にぶい黄橙	平底	(外) 底部に網代痕有り (内) 筥削り
第13号 居址 第 84図-40	甕 土師	口径 残高 3.3 底径 16.0 底部一部	胎;金雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	平底より緩やかに立ち上がる	(外) 底部に網代痕有り (内) 筥削り
第13号住居址 第 84図-41	注口 土器 縄文	口径 残高 5.0 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外) 10YR7/3 にぶい黄褐 (内) 10YR4/1 褐灰	体部より屈曲外反して口縁部 に至る 口縁部に把手が付く	(外) 磨き (内) 磨き
第13号住居址 第 84図-42	土偶 縄文	縦 5.6 横 4.8 厚さ 4.0 土偶腕部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(表) 5YR6/6橙 (裏) 5YR6/6橙	山形土偶	(外) 沈線による文様を施す (内)
第13号住居址 第 84図-43	土製 円板 縄文	縦 4.8 横 4.5 厚さ 0.8 完形	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(表) 7.5YR4/1褐灰 (裏) 5YR6/4にぶい橙	網代文を施した土器底部を加工している	(外) (内)
第14号住居址 第 85図-1	深鉢 縄文	口径 残高 7.5 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙		(外) 撫で (内)
第14号住居址 第 85図-2	深鉢 縄文	口径 残高 4.1 底径 口縁部一部	胎;金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR6/3 にぶい黄橙 (内) 10YR7/3 にぶい黄橙		(外) 撫で (内) 2条の沈線が巡る 磨き
第14号住居址 第 85図-3	深鉢 縄文	口径 残高 9.0 底径 把手部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐		(外) L R縄文を施す (内)
第14号住居址 第 85図-4	深鉢 縄文	口径 残高 15.7 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR4/4にぶい赤褐 (内) 5YR6/6橙	張りの無い胴部	(外) 縦位の櫛状工具による 条線文 (内) 撫で 5と同一個体と思われる
第14号住居址 第 85図-5	深鉢 縄文	口径 残高 6.0 底径 10.2 底部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	平底	(外) 縦位の櫛状工具による 条線文 (内) 筥削り 4と同一個体と思われる

第37表 住居址出土遺物観察表(19)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量 器	質	成形・形態ほか	整形ほか
第14号住居址 第 85図-6	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 8.6 胴部~底部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/8黄橙 (内) 7.5YR4/2灰褐	平底より立ち上がる	(外) 篋削り (内) 篋削り 炉より出土
第15号住居址 第 86図-1	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 胴部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR6/6橙		(外) 口縁部に太い刻み目を入れた突帯を施す (内)
第15号住居址 第 86図-2	深鉢 縄文	口径 残高 11.1 底径 10.0 胴部~底部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR7/6橙 (内) 10YR6/4 にぶい橙	平底より直線的に立ち上がる	(外) 底部に網代痕? (内) 炉胎土器
第17号住居址 第 87図-1	杯 土師	口径 13.0 器高 4.3 底径 6.2 1/2	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR4/2灰褐	平底より内弯して開き、口縁部でごく僅かに外反する	(外) 篋削り (内) 篋磨き
第17号住居址 第 87図-2	杯 土師	口径 13.6 残高 2.1 底径 口縁部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR5/6明褐	直立気味の口縁部	(外) 撫で (内) 撫で 炉より出土
第17号住居址 第 87図-3	杯 土師	口径 残高 2.0 底径 2.0 底部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/6橙 (内) 黒	平底	(外) 底部回転糸切り (内) 篋磨き 黒色処理
第17号住居址 第 87図-4	皿 土師	口径 13.5 器高 3.0 底径 6.5 完形	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/6橙 (内) 黒	高台付の底部より直線的に大きく開く	(外) 轆轤による撫で (内) 篋磨き 黒色処理
第17号住居址 第 87図-5	甕 土師	口径 25.3 残高 11.7 底径 胴部~胴部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	張りの無い胴部より、穏やかに外反する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 胴部下位は斜位の篋削り (内) 横位の刷毛目
第17号住居址 第 87図-6	甕 須恵	口径 残高 5.2 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5Y4/1 灰 (内) 10YR4/1 褐灰		(外) 叩き目を施す (内) 篋削り
第18号住居址 第 88図-1	坏 土師	口径 15.9 残高 3.9 底径 口縁部1/3	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR5/4 にぶい黄褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	口縁部で僅かに外反する	(外) 轆轤による撫で (内) 横位の撫で 篋磨き
第18号住居址 第 88図-2	坏 土師	口径 12.6 残高 3.4 底径 胴部~体部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	内弯する体部より外反する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
第18号住居址 第 88図-3	坏 土師	口径 13.0 残高 3.2 底径 胴部~体部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	内弯気味の体部より、やや外反する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で 篋磨き
第18号住居址 第 88図-4	坏 土師	口径 15.8 残高 3.5 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部は外反する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
第18号住居址 第 88図-5	椀 土師	口径 残高 2.4 底径 6.0 底部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 黒 (内) 黒	高台付の底部	(外) 轆轤による撫での後、精緻な篋磨き 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫での後、精緻な篋磨き 外内面黒色処理
第18号住居址 第 88図-6	椀 土師	口径 残高 3.0 底径 8.0 底部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	高台付の底部	(外) 轆轤による撫での後、 底部回転糸切りの後、撫で付け (内) 轆轤による撫での後、 篋磨き

第38表 住居址出土遺物観察表(20)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成 形 ・ 形 態 ほ か	整 形 ほ か
第18号住居址 第 88図-7	甕 土師	口径 残高 6.5 器径 7.0 胴部一部1/3	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	平底の底部より立ち上がる	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
第18号住居址 第 88図-8	甕 須恵	口径 残高 15.3 底径 胴部一部	胎;礫、細砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR2/1黒褐 (内) 10YR5/1 褐灰	粘土帯積み上げ	(外) 横位の窪削り (内) 叩き目を施す
第18号住居址 第 88図-9	平瓦 古代	厚さ 2.0 狭端面の 一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(内) 5YR5/2灰褐 (外) 5YR5/3にぶい赤褐	一枚作りと思われる	(内) 布目痕を有する (外) 叩き目痕を有する
第19号住居址 第 89図-1	深鉢 縄文	口径 残高 4.0 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙		(外) 口縁部に2条1組の細 い刻み目を入れた突帯 が巡る (内) 口縁部に沈線が巡る
第19号住居址 第 89図-2	浅鉢 縄文	口径 残高 3.0 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 10YR7/3 にぶい黄橙	口縁部は内側に肥厚する	(外) (内)
第19号住居址 第 89図-3	浅鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	口縁部の先端で内折する	(外) 篋磨き (内) 篋磨き
第19号住居址 第 89図-4	浅鉢 縄文	口径 残高 4.2 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部で屈曲する	(外) 窪削り (内) 窪削り
第19号住居址 第 89図-5	浅鉢 縄文	口径 残高 3.5 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR7/3 にぶい黄橙 (内) 10YR7/3 にぶい黄橙		(外) 沈線による文様を施す (内)
第19号住居址 第 89図-6	深鉢 縄文	口径 残高 5.6 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR5/3にぶい赤褐 (内) 5YR4/6赤褐		(外) R L縄文を施す (内) 窪削り
第19号住居址 第 89図-7	深鉢 縄文	口径 残高 3.4 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR5/8明赤褐		(外) 沈線と連続する刺突文 による文様を施す 窪削り (内) 窪削り
第19号住居址 第 89図-8	深鉢 縄文	口径 残高 3.5 底径 11.0 底部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底	(外) 底部に網代痕有り (内)
第19号住居址 第 89図-9	深鉢 縄文	口径 残高 2.4 底径 11.8 底部一部	胎;雲母、礫、粗細砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底	(外) 底部に網代痕有り (内)
第20号住居址 第 90図-1	坏 土師	口径 残高 2.7 底径 5.4 底部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR6/3にぶい橙	平底	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
第20号住居址 第 90図-2	坏 土師	口径 残高 1.7 底径 5.2 底部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR7/3 にぶい黄橙 (内) 10YR7/4 にぶい黄橙	平底	(外) 轆轤による撫で 底部に窯印 (内) 轆轤による撫で
第20号住居址 第 90図-3	坏 土師	口径 残高 2.6 底径 7.0 底部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/2灰褐 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 竈出土

第39表 住居址出土遺物観察表(21)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第20号住居址 第90図-4	坏 土師	口径 残高 0.9 底径 5.9 底部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底	(外) 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
第20号住居址 第90図-5	坏 土師	口径 残高 1.0 底径 4.6 底部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR5/2 灰黄褐 (内) 10YR8/3 浅黄橙	平底	(外) 底部回転糸切り (内)
第20号住居址 第90図-6	椀 土師	口径 16.1 器高 5.3 底径 7.6 1/3	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR8/3浅黄橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	高台付の底部から内弯して開き、やや外反する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 筥磨き 11
第20号住居址 第90図-7	椀 土師	口径 17.0 残高 5.2 底径 口縁部-胴部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR7/3 にぶい黄橙 (内) 黒	内弯した体部から、僅かに外反する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で 口縁部は横位の磨き 底部は放射状の磨き 黒色処理
第20号住居址 第90図-8	坏 土師	口径 残高 1.8 底径 7.6 底部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 黒	高台付の底部	(外) 底部回転糸切り (内) 黒色処理
第20号住居址 第90図-9	椀 土師	口径 残高 2.0 底径 6.4 底部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 黒 (内) 黒	高台付の底部	(外) 轆轤による撫で 底部 回転糸切り 筥磨き (内) 轆轤による撫で 磨き 外内面黒色処理
第20号住居址 第90図-10	椀 灰釉 陶器	口径 残高 1.8 底径 6.6 底部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 2.5YR7/3浅黄 (内) 2.5YR8/2灰白	高台付の底部	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り 灰釉は漬け掛けを施す (内) 轆轤による撫で
第20号住居址 第90図-11	椀 灰釉 陶器	口径 16.1 器高 4.7 底径 6.6 口縁部-底部1/2	胎;細砂粒僅かに含む 焼;良好 色;(外) 5YR7/1灰白 (内) 5YR7/1灰白	高台付の底部より丸みのある体部を経て、先端で外反して口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で 筥削り 外面に灰釉を漬け掛ける
第20号住居址 第90図-12	甕 土師	口径 残高 11.0 底径 頸部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR7/6 明黄褐 (内) 10YR6/3 にぶい黄橙	粘土帯積み上げ 張りの無い胴部より、外反する口縁部に至る	(外) 筥による沈線が頸部を 巡る 筥削り (内) 撫で
第20号住居址 第90図-13	甕 土師	口径 20.0 残高 10.3 底径 口縁部-胴部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 10YR7/4 にぶい黄橙	粘土帯積み上げ	(外) 横位の撫で (内) 横位の撫で
第20号住居址 第90図-14	甕 須恵	口径 残高 12.4 底径 胴部一部	胎;礫、白色砂粒、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/2灰褐 (内) 10YR6/1 褐灰		(外) 叩き目を施す (内) 筥削り 撫で
第20号住居址 第90図-15	壺 灰釉 陶器	口径 残高 5.6 底径 13.8 口縁部-胴部1/4	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR7/1灰白 (内) 2.5YR7/2灰黄	高台付の底部から立ち上がる	(外) 轆轤による撫で 灰釉を施す (内) 轆轤による撫で
第20号住居址 第90図-16	甌 土師	口径 19.0 残高 14.9 底径 口縁部-胴部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 10YR6/3 にぶい黄橙	頸部付きで口縁部に向かって窄まる 粘土帯積み上げ	(外) 横位の撫で (内) 横位の撫で
第20号住居址 第90図-17	甌 土師	口径 21.2 残高 14.3 底径 口縁部1/4-胴部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	頸部付きで口縁部に向かって窄まる 頸部は全周する	(外) 横位の撫で (内) 横位の撫で 18と同一個体
第20号住居址 第90図-18	甌 土師	口径 残高 11.1 底径 18.7 胴部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	孔部より張りの無い胴部に至る 底部端部はやや肥厚する	(外) 孔部横位の撫で 胴部に叩き目を施す (内) 孔部横位の撫で 指頭による圧痕

第40表 住居址出土遺物観察表(22)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第21号住居址 第 91図-1	坏 土師	口径 11.8 残高 3.5 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR4/1 褐灰 (内) 黒	丸みのある体部より、緩く内側に折曲した口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で 篋磨き 黒色処理
第21号住居址 第 91図-2	碗 土師	口径 14.6 器高 5.3 底径 7.0 口縁部1/3底部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 黒	高台付の底部から内弯して開き、やや外反する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 回転糸切りの後、撫で (内) 轆轤による撫で 篋磨き 黒色処理 十文字の暗文を施す
第21号住居址 第 91図-3	碗 灰釉 陶器	口径 残高 2.0 底径 8.0 底部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR6/2 灰黄褐 (内) 10YR6/2 灰黄褐	高台付の底部	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 灰釉を施す
第21号住居址 第 91図-4	皿 灰釉 陶器	口径 15.2 器高 2.8 底径 6.7 ほぼ完形	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/1褐灰 (内) 7.5YR6/1褐灰	高台付の底部より開き、口縁部に至る 体部は浅い	(外) 轆轤による撫で 回転篋削り (内) 轆轤による撫で 灰釉を施す
第21号住居址 第 91図-5	甕 土師	口径 12.4 器高 11.4 底径 6.4 口1/4口1/3底部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 10YR5/2 灰黄褐	平底より立ち上がり、丸みのある胴部より口縁部で僅かに外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
第21号住居址 第 91図-6	甕 須恵	口径 残高 6.5 底径 12.4 胴部~底部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 2.5YR5/1黄灰 (内) 2.5YR5/1黄灰	平底より立ち上がる	(外) 叩き目を施す (内) 篋削り 7と同一個体
第21号住居址 第 91図-7	甕 須恵	口径 残高 9.5 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR5/1 褐灰 (内) 10YR5/1 褐灰		(外) 叩き目を施す (内) 篋削り 6と同一個体
第22号住居址 第 92図-1	坏 土師	口径 13.0 器高 4.9 底径 5.2 口縁部1/5底部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/2灰褐	平底より立ち上がり、丸みのある体部より僅かに外反する口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 横撫で 精緻な篋磨き 竈出土
第22号住居址 第 92図-2	坏 土師	口径 13.6 器高 4.4 底径 5.3 口縁部1/4底部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/6橙 (内) 黒	平底より内弯して開き、口縁部で僅かに外反する	(外) 底部回転糸切り (内) 篋磨き 黒色処理
第22号住居址 第 92図-3	坏 土師	口径 13.4 器高 4.4 底径 6.1 口縁部1/2~底部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 黒	平底より立ち上がり口縁部に至る 体部はやや深い	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 篋磨き 黒色処理
第22号住居址 第 92図-4	坏 土師	口径 11.1 器高 1.6 底径 4.8 口縁部~底部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR7/4 にぶい黄橙 (内) 黒	平底より大きく開いて口縁部に至る 体部は非常に浅い	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 横位の撫で 黒色処理
第22号住居址 第 92図-5	坏 土師	口径 13.1 器高 2.5 底径 5.2 1/3	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/6橙 (内) 黒	平底より大きく開いて口縁部に至る	(外) 横位の撫で 底部篋削り (内) 篋磨き 黒色処理
第22号住居址 第 92図-6	碗 土師	口径 13.4 器高 4.5 底径 6.4 1/3	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/6橙 (内) 黒	高台付の底部より立ち上がり口縁部に至る	(外) 体部轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 篋磨き 黒色処理
第22号住居址 第 92図-7	皿 土師	口径 12.8 器高 2.6 底径 7.0 口縁部1/3底部2/3	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 黒 (内) 黒	高台付の底部より平らに開いて口縁部に至る	(外) 篋削り 底部回転糸切り (内) 精緻な篋磨き 外内面黒色処理
第22号住居址 第 92図-8	甕 土師	口径 26.8 残高 16.0 底径 口縁部~胴部1/4	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/6橙 (内) 黒	口唇部に面取りを施す 張りの無い胴部より、外反する口縁部に至る	(外) 木口状工具による横位の撫で (内) 木口状工具による横位の撫で 黒色処理

第41表 住居址出土遺物観察表(23)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
第22号住居址 第 92図-9	甕 土師	口径 25.4 残高 14.4 底径 口縁部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (B) 5YR6/6橙	口唇部に面取りを施す 張りの無い胴部より外反して 口縁部に至る	(A) 撫で 胴部斜位の篋削り (B) 口縁部横位の撫で 胴部撫で
第22号住居址 第 92図-10	甕 土師	口径 22.2 残高 12.3 底径 口縁部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6明赤褐 (B) 2.5YR4/3にぶい赤褐	張りの無い胴部より外反して 口縁部に至る	(A) 木口状工具による横位 の撫で (B) 木口状工具による横位 の撫で
第22号住居址 第 92図-11	甕 須恵	口径 4.4 残高 12.6 底径 底部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR3/1 黒褐 (B) 10YR5/1 褐灰	平底	(A) 横位の篋削り (B) 横位の篋削り
第23号住居址 第 93図-1	深鉢 縄文	口径 4.0 残高 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3にぶい褐 (B) 5YR4/1褐灰	突起部 筒状突起を呈する	(A) (B) 磨き
第23号住居址 第 93図-2	深鉢 縄文	口径 4.8 残高 底径 把手部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 5YR5/4にぶい赤褐	橋状把手	(A) (B) 篋磨き
第23号住居址 第 93図-3	深鉢 縄文	口径 6.1 残高 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/3にぶい褐 (B) 7.5YR5/3にぶい褐	波頂部	(A) 隆帯と連続刺突文による 文様を施す (B) 篋磨き
第23号住居址 第 93図-4	深鉢 縄文	口径 9.5 残高 底径 口縁部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/3 にぶい黄橙 (B) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部は外側に肥厚する	(A) 胴部に沈線による文様 を施す (B)
第23号住居址 第 93図-5	深鉢 縄文	口径 5.0 残高 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6明赤褐 (B) 5YR5/4にぶい赤褐	口縁部は内弯する	(A) 無文 (B)
第23号住居址 第 93図-6	深鉢 縄文	口径 4.4 残高 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/3にぶい赤褐 (B) 5YR5/4にぶい赤褐	口縁部は外反する	(A) 無文 横位の篋削り (B) 横位の篋削り
第23号住居址 第 93図-7	深鉢 縄文	口径 4.0 残高 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/2 灰黄褐 (B) 10YR6/3 にぶい黄橙	口縁部は先端で屈曲外反する	(A) 胴部に R L 縄文を施す (B) 篋磨き
第23号住居址 第 93図-8	深鉢 縄文	口径 5.7 残高 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6明赤褐 (B) 5YR5/6明赤褐	口縁部は肥厚する	(A) (B)
第23号住居址 第 93図-9	深鉢 縄文	口径 5.8 残高 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4にぶい褐 (B) 7.5YR5/4にぶい褐		(A) 口縁部に太い突帯が巡 る 篋削り (B) 篋削り
第23号住居址 第 93図-10	深鉢 縄文	口径 2.5 残高 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/2 灰黄褐 (B) 7.5YR6/3にぶい褐	口縁部は先端で内折する	(A) 口唇部に刻み目を施す 磨き (B) 磨き、その際に織した縹紋を耐 磨き
第23号住居址 第 93図-11	深鉢 縄文	口径 4.8 残高 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 5YR6/4にぶい橙		(A) 沈線による渦巻きの文 様を施す (B)
第23号住居址 第 93図-12	深鉢 縄文	口径 7.0 残高 底径 胴部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/3にぶい橙 (B) 10YR4/2 灰黄褐		(A) R L 縄文を施文し、沈 線による文様を施す (B) 横位の篋削り

第42表 住居址出土遺物観察表(24)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
第23号住居址 第 93図-13	深鉢 縄文	口径 残高 5.8 底径 胴部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/3にぶい赤褐 (H) 5YR5/6明赤褐		(A) 刻み目を入れた突帯と R L縄文を施す (H)
第23号住居址 第 93図-14	深鉢 縄文	口径 残高 3.3 底径 胴部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4にぶい赤褐 (H) 5YR5/4にぶい赤褐		(A) 沈線による文様を施す (H)
第23号住居址 第 93図-15	深鉢 縄文	口径 残高 1.9 底径 9.0 底部1/3	胎;礫、粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/3 にぶい黄橙 (H) 7.5YR6/4にぶい橙		(A) 底部に網代痕有り (H)
第23号住居址 第 93図-16	深鉢 縄文	口径 残高 3.0 底径 5.8 底部1/2	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (H) 10YR6/2 灰黄褐	平底	(A) (H)
第23号住居址 第 93図-17	深鉢 縄文	口径 残高 3.9 底径 9.0 底部1/3	胎;石英を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4にぶい褐 (H) 2.5YR5/6明赤褐	上げ底気味の底部	(A) 横位の筥削り (H) 筥削りの後、筥磨き
第24号住居址 第 94図-1	深鉢 縄文	口径 残高 14.1 底径 胴部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/5 灰黄褐 (H) 10YR6/5 灰黄褐	強い熱を二次的に受ける 焦げ付着	(A) 磨消縄文を施す 沈線で線画的区画をした 後、LR縄文を施す (H) 筥磨き 炉胎土器 2と同一個体
第24号住居址 第 94図-2	深鉢 縄文	口径 残高 6.2 底径 7.0 底部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/3褐 (H) 10YR3/1 黒褐	平底	(A) 磨消縄文を施す 沈線で区画した後、LR縄文を施す (H) 筥磨き 炉胎土器 1と同一個体
第24号住居址 第 94図-3	深鉢 縄文	口径 残高 6.3 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4にぶい褐 (H) 7.5YR4/3褐	波頂部	(A) 口縁部下に刻み目を入れた突帯を施し 8字状附文を施す 磨消縄文構成 (H) 磨き
第24号住居址 第 94図-4	深鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/3にぶい褐 (H) 7.5YR4/4褐		(A) 沈線とLR縄文による 文様を施す (H) 磨き
第24号住居址 第 94図-5	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6明赤褐 (H) 5YR5/6明赤褐		(A) 沈線とRL縄文による 文様を施す (H) 磨き
第24号住居址 第 94図-6	深鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6明赤褐 (H) 5YR4/2灰褐		(A) 沈線とRL縄文による 文様を施す (H) 筥磨き
第24号住居址 第 94図-7	深鉢 縄文	口径 残高 3.4 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (H) 10YR4/6 褐		(A) 沈線とRL縄文による 文様を施す (H)
第24号住居址 第 94図-8	深鉢 縄文	口径 残高 6.2 底径 口縁部一部	胎;金雲母多量、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/8明赤褐 (H) 5YR5/8明赤褐	口縁部は内側に折り返っている	(A) 磨き (H) 磨き 炉より出土
第24号住居址 第 94図-9	深鉢 縄文	口径 残高 6.1 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (H) 7.5YR6/4にぶい橙		(A) 口縁部に隆帯が巡る (H)
第24号住居址 第 94図-10	深鉢 縄文	口径 残高 2.4 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/4にぶい橙~7.5YR5/6橙 (H) 7.5YR5/8明橙	口縁部は内側に肥厚する	(A) 口縁部に隆帯が巡る (H)

第43表 住居址出土遺物観察表(25)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
第24号住居址 第 94図-11	深鉢 縄文	口径 残高 4.0 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR3/1黯~7.5YR5/4にぶい褐 (B) 7.5YR5/8明褐		(A) 隆帯が巡る (B)
第24号住居址 第 94図-12	深鉢 縄文	口径 残高 3.4 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR6/6橙		(A) 口縁部直下に太い突帯 が巡る 篋削り (B) 磨き
第24号住居址 第 94図-13	深鉢 縄文	口径 残高 5.3 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6明赤褐 (B) 5YR5/6明赤褐		(A) 隆帯と沈線の区画にL R縄文を施す (B) 横位の篋磨き
第24号住居址 第 94図-14	深鉢 縄文	口径 残高 5.9 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/2 灰黄褐 (B) 10YR5/2灰黯~10YR6/3にぶい黯	波頂部	(A) 無文 (B) 磨き
第24号住居址 第 94図-15	深鉢 縄文	口径 残高 2.4 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/8明赤褐 (B) 5YR4/8赤褐		(A) (B)
第24号住居址 第 94図-16	深鉢 縄文	口径 残高 7.9 底径 口縁部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/6橙 (B) 7.5YR5/4にぶい橙	口縁部は外反する	(A) 無文 横位の篋削り (B) 横位の篋削り 炉より出土
第24号住居址 第 94図-17	深鉢 縄文	口径 残高 4.2 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR5/6明赤褐 (B) 2.5YR4/1赤灰		(A) 沈線とLR縄文による 文様を施す (B) 磨き
第24号住居址 第 94図-18	深鉢 縄文	口径 残高 3.2 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/4 にぶい黄橙 (B) 10YR6/4 にぶい黄橙		(A) 刺突文を施す (B)
第24号住居址 第 94図-19	深鉢 縄文	口径 残高 2.7 底径 口縁部一部	胎;金雲母、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/3にぶい褐 (B) 7.5YR4/2灰褐~7.5YR7/6橙		(A) 沈線による文様を施す (B) 磨き
第24号住居址 第 94図-20	深鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 10YR6/4 にぶい黄橙		(A) 沈線による文様を施す (B)
第24号住居址 第 94図-21	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/6明褐 (B) 7.5YR6/8橙		(A) 沈線による文様を施す (B)
第24号住居址 第 94図-22	深鉢 縄文	口径 残高 3.5 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6明赤褐 (B) 5YR5/8明赤褐	波頂部	(A) (B) 磨き
第24号住居址 第 94図-23	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 口縁部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/6橙	波頂部	(A) 沈線と隆帯からなる文 様を施す (B)
第24号住居址 第 94図-24	深鉢 縄文	口径 残高 2.5 底径 胴部一部	胎;礫、雲母、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/8橙~5YR5/2灰褐 (B) 5YR6/6橙		(A) 沈線による文様を施す (B)
第24号住居址 第 94図-25	深鉢 縄文	口径 残高 3.6 底径 9.0 底部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/6橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙		(A) 底部に網代痕有り (B)

第44表 住居址出土遺物観察表(26)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量 器	質	成形・形態ほか	整形ほか
第24号住居址 第 94図-26	深鉢 縄文	口径 残高 1.0 底径 10.4 底部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR6/6橙 (H) 7.5YR6/4にぶい橙	平底	(A) 底部に網代痕有り (H)
第24号住居址 第 94図-27	深鉢 縄文	口径 残高 4.9 底径 9.5 胴部一部	胎; 石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR6/4にぶい橙 (H) 5YR6/6橙	平底	(A) (H)
第24号住居址 第 94図-28	ミニ チュ ア 縄文	口径 残高 5.0 底径 2.6 ほぼ完形	胎; 石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR6/2灰褐-5YR6/4にぶい橙 (H) 10YR6/3 にぶい黄橙	手握ね 高台部に孔を有する	(A) (H)
第26号住居址 第 95図-1	深鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 口縁部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR3/1黒褐 (H) 7.5YR5/2灰褐		(A) 口縁部直下に突帯が巡る 削りの後、磨き (H) 削りの後、磨き
第26号住居址 第 95図-2	深鉢 縄文	口径 残高 6.5 底径 口縁部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/2灰褐 (H) 7.5YR4/2灰褐	口縁部は内側に肥厚する	(A) 口縁部直下に突帯が巡る 精緻な横位の磨き (H) 精緻な横位の磨き
第26号住居址 第 95図-3	深鉢 縄文	口径 残高 8.0 底径 口縁部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/2灰褐 (H) 7.5YR4/3褐	口縁部は内側に肥厚する	(A) 口縁部直下に突帯が巡る 胴部にLR縄文を施す (H) 精緻な磨き
第26号住居址 第 95図-4	深鉢 縄文	口径 残高 7.0 底径 胴部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/3にぶい赤褐 (H) 5YR5/3にぶい赤褐		(A) RL縄文を施す (H) 磨で
第26号住居址 第 95図-5	深鉢 縄文	口径 残高 9.4 底径 口縁部一部	胎; 金雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/3にぶい赤褐 (H) 5YR5/3にぶい赤褐	口唇部に面取りを施す	(A) 撫で (H) 撫で
第26号住居址 第 95図-6	深鉢 縄文	口径 残高 10.8 底径 口縁部一部	胎; 石英多量、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/6明赤褐 (H) 5YR6/6橙		(A) 横位の削りの後、撫で (H) 横位の削りの後、撫で
第26号住居址 第 95図-7	深鉢 縄文	口径 残高 11.8 底径 突起部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR7/4 にぶい黄橙 (H) 7.5YR6/4にぶい橙	塔状突起	(A) 磨削り 撫で (H)
第26号住居址 第 95図-8	深鉢 縄文	口径 残高 5.8 底径 突起部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/1褐灰 (H) 7.5YR4/1褐灰	突起	(A) 精緻な磨き (H) 精緻な磨き
第26号住居址 第 95図-9	深鉢 縄文	口径 残高 6.1 底径 口縁部一部	胎; 金雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/3にぶい赤褐 (H) 7.5YR6/4にぶい橙	口唇部に面取りを施す	(A) 沈線による文様を施す (H) 磨き
第26号住居址 第 95図-10	深鉢 縄文	口径 残高 4.6 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/2灰褐 (H) 7.5YR4/2灰褐	口唇部は内側に肥厚する	(A) 磨削縄文構成 沈線で区画した後、RL 縄文を施す (H) 精緻な磨き
第26号住居址 第 95図-11	深鉢 縄文	口径 残高 7.2 底径 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/3にぶい赤褐 (H) 5YR4/3にぶい赤褐		(A) 磨削縄文構成 RL縄文を施す (H)
第26号住居址 第 95図-12	深鉢 縄文	口径 残高 7.5 底径 突起部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/2灰褐 (H) 5YR5/3にぶい赤褐	突起	(A) 磨削縄文構成 (H) 磨き

第45表 住居址出土遺物観察表(27)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第26号住居址 第 95図-13	深鉢 縄文	口径 11.8 残高 底径 胴部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/6橙~5YR6/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	粘土帯積み上げ	(外) 刻み目を入れた隆帯が 巡る 磨消縄文構成 R L 縄文を施す (内)
第26号住居址 第 95図-14	深鉢 縄文	口径 3.4 残高 7.0 底径 底部1/3	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR5/3にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	平底	(外) 底部に木葉痕有り (内) 磨き
第26号住居址 第 95図-15	深鉢 縄文	口径 5.2 残高 底径 胴部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR4/1 褐灰 (内) 10YR4/2 灰黄褐		(外) L R 縄文を回転する (内) 精緻な横位の磨き
第26号住居址 第 95図-16	深鉢 縄文	口径 43.0 器高 48.5 底径 11.0 口縁部	胎;粗砂粒僅かに含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR4/2灰褐	粘土帯積み上げ 平底より立ち上がり胴部上位 で張り、外反する口縁部に至 る	(外) 口縁部撫で 頸部に隆 帯が巡る 縦、横の磨り (内) 横位の磨削り 炉より出土
第26号住居址 第 95図-17	深鉢 縄文	口径 10.0 残高 14.4 底径 胴部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 2.5YR7/1灰白 (内) 2.5YR7/1灰白	平底より立ち上がる	(外) (内) 外内面剥落している 炉胎土器
第26号住居址 第 95図-18	深鉢 縄文	口径 3.1 残高 10.4 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、礫含む 焼;良好 色;(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	平底	(外) 磨削りの後、磨き (内) 磨削りの後、磨き
第26号住居址 第 95図-19	深鉢 縄文	口径 10.3 残高 底径 口縁部一部	胎;雲母、長石を多量に含む 焼;良好 色;(外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR6/6橙~7.5YR5/7灰褐		(外) 撫で (内) 撫で
第26号住居址 第 95図-20	深鉢 縄文	口径 5.5 残高 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 10YR5/3 にぶい黄褐		(外) 隆帯による渦巻き文様 を施す (内) 磨き
第26号住居址 第 95図-21	深鉢 縄文	口径 5.0 残高 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐		(外) (内) 磨き
第26号住居址 第 95図-22	深鉢 縄文	口径 5.3 残高 底径 胴部一部	胎;金雲母、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/2灰褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐		(外) 沈線による文様を施す (内) 磨き
第26号住居址 第 95図-23	深鉢 縄文	口径 4.3 残高 底径 胴部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐		(外) 連続した刺突文と L R 縄文を施す (内) 磨き
第26号住居址 第 95図-24	深鉢 縄文	口径 4.5 残高 底径 胴部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR6/3 にぶい黄橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙		(外) 櫛歯状工具による条線 文を施す (内) 磨き

第46表 住居址出土遺物観察表(28)

第1号 掘立て柱建物 址 第 96図-1	甕 土師	口径 25.0 残高 7.2 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 (外) 5YR6/3にぶい 橙~5YR3/1黒褐 (内) 5YR6/4にぶい橙		(外) 縦位の磨削り (内) 横位の磨削り
-------------------------------	---------	----------------------------------	---------------------------------------------------------------	--	--------------------------

第47表 掘立て柱建物址出土遺物観察表

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
第3号 土壙 第97図-1	浅鉢 縄文	口径 残高 3.3 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/3にぶい橙 (B) 7.5YR7/3にぶい橙	口縁部は先端で屈曲する	(A) 磨消縄文を施す (B)
第3号 土壙 第97図-2	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 7.0 底部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/3にぶい褐		(A) 胴部磨き 底部に網代痕有り (B) 磨き
第3号 土壙 第97図-3	壺 須恵	口径 26.8 残高 7.7 底径 口縁部一部	胎;0.5の礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/2灰オリーブ (B) 7.5YR5/1灰	口唇部に面取りを施す	(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫で
第4号 土壙 第98図-1	坏 土師	口径 15.8 残高 4.0 底径 5.0 口縁部1/8	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 黒	平底より立ち上がり、大きく 開く体部より、緩く内湾する 口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 磨き 黒色処理
第4号 土壙 第98図-2	坏 土師	口径 14.4 残高 2.5 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 黒		(A) 轆轤による撫で (B) 磨き 黒色処理
第4号 土壙 第98図-3	土製 勾玉 縄文	縦 5.2 横 1.3 完形	胎;微砂粒僅かに含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙	孔を一方より穿つ	(A) R L 縄文を施す (B)
第6号 土壙 第99図-1	深鉢 縄文	口径 残高 11.4 底径 口縁部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR3/3 暗褐 (B) 10YR6/2灰緑~10YR3/3暗褐	口縁部に平行に細い刻み目を 入れた隆帯が巡る	(A) 磨消縄文を施す 沈線で区画した後、縄 文を施文する (B) 磨き
第6号 土壙 第99図-2	浅鉢 縄文	口径 残高 3.1 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR3/2 黒褐 (B) 10YR3/4 暗褐	口縁部は肥厚する 口縁部に平行に細い刻み目を 入れた突帯が巡り、「8」字 状貼付文を施す	(A) 磨消縄文を施す L R 縄文を施文した後 沈線の区画を施す (B) 磨き
第6号 土壙 第99図-3	深鉢 縄文	口径 残高 3.2 底径 口縁部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/6橙	口唇部に面取りを施す	(A) 口縁部に刻み目を入れた隆帯が 隆帯の下の胴部に L R 縄文を施文する (B) 磨き
第6号 土壙 第99図-4	浅鉢 縄文	口径 残高 3.1 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR3/2 黒褐 (B) 10YR5/3 にぶい黄褐		(A) 細い押圧隆帯が口縁部 に平行に巡る (B) 口縁部に沈線が巡る
第6号 土壙 第99図-5	深鉢 縄文	口径 残高 3.2 底径 口縁部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/3 にぶい黄橙 (B) 10YR7/3 にぶい黄橙	口唇部に面取りを施す	(A) 刻み目を入れた隆帯が 口縁部に平行に巡り、 その下に L R 縄文施文 (B) 磨き
第6号 土壙 第99図-6	深鉢 縄文	口径 残高 10.1 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい橙~5YR5/2灰褐 (B) 5YR6/6橙~5YR5/2灰褐		(A) (B)
第8号 土壙 第100図-1	深鉢 縄文	口径 残高 6.8 底径 口縁部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4にぶい褐 (B) 7.5YR5/6褐~7.5YR5/3にぶい褐		(A) 胴部に縦位の条線文を 施す (B) 磨き
第8号 土壙 第100図-2	深鉢 縄文	口径 残高 5.8 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/2灰褐~7.5YR2/1 黒 (B) 7.5YR5/2灰褐		(A) 沈線による、紐の絡ん だような文様を施す (B) 磨き
第8号 土壙 第100図-3	蓋? 縄文	裾径 13.4 残高 3.1 裾部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/3にぶい黄~2.5YR5/1灰 (B) 2.5YR7/1灰白		(A) 沈線による、紐の絡ん だような文様を施す (B) 磨き

第48表 土壙出土遺物観察表(1)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
第8号 土壇 第100図-4	蓋? 縄文	裾径 11.2 残高 3.1 裾部1/3	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR2/1 黒 (B) 10YR3/3 暗褐		(A) 沈線による、紐の絡んだような文様を施す (B) 篋磨き
第8号 土壇 第100図-5	深鉢 縄文	口径 残高 8.4 底径 11.0 胴部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 5YR4/1褐灰	平底より立ち上がり、外反気味に開く胴部に移行する	(A) 胴部篋磨き 底部に網代痕有り (B) 撫で
第8号 土壇 第100図-6	深鉢 縄文	口径 残高 5.4 底径 17.0 底部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/6赤褐 (B) 5YR4/6赤褐	平底より立ち上がり、外反気味の胴部に移行する	(A) 篋削り (B) 撫で
第9号 土壇 第101図-1	深鉢 縄文	口径 残高 7.8 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙~7.5YR4/1黒		(A) (B)
第9号 土壇 第101図-2	深鉢 縄文	口径 残高 4.4 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙		(A) 篋磨き (B) 口縁部に沈線による文様を施す 篋磨き
第9号 土壇 第101図-3	深鉢 縄文	口径 残高 5.3 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/1褐灰 (B) 7.5YR4/1黒~7.5YR6/3にぶい橙		(A) 口縁部の下に連続して押圧した隆帯が巡る (B)
第9号 土壇 第101図-4	深鉢 縄文	口径 残高 2.0 底径 7.0 底部1/2	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/6橙 (B) 2.5YR6/3にぶい橙~2.5YR3/1黒	平底	(A) 撫で (B) 削り
第10号 土壇 第102図-1	深鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/3にぶい褐 (B) 7.5YR4/3褐		(A) L R縄文を施す (B)
第10号 土壇 第102図-2	深鉢 縄文	口径 残高 6.4 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/6橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙		(A) 胴部を隆帯が縦に区分し、R L縄文を施す (B)
第11号 土壇 第103図-1	深鉢 縄文	口径 残高 6.5 底径 胴部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 5YR5/8明赤褐		(A) 篋削り (B) 撫で
第13号 土壇 第104図-1	深鉢 縄文	口径 残高 5.3 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR6/6橙		(A) 沈線と刺突文による文様を施す (B)
第13号 土壇 第104図-2	深鉢 縄文	口径 残高 11.6 底径 胴部一部	胎;0.2の礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR7/4にぶい橙		(A) 櫛歯状工具による条線文を施す (B)
第13号 土壇 第104図-3	深鉢 縄文	口径 残高 6.2 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/2灰褐 (B) 5YR6/4にぶい橙		(A) 磨消縄文を施す L R縄文を施した後、沈線の区画を施す (B) 篋磨き
第14号 土壇 第105図-1	深鉢 縄文	口径 残高 3.9 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/6橙 (B) 7.5YR5/8明褐		(A) 胴部に隆帯を巡らす (B)
第15号 土壇 第106図-1	深鉢 縄文	口径 残高 3.4 底径 胴部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/2 灰黄褐 (B) 10YR6/4 にぶい黄橙		(A) 磨消縄文を施す (B)

第49表 土壇出土遺物観察表(2)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
第15号 土壇 第106図-2	深鉢 縄文	口径 残高 3.3 底径 胴部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/3にぶい褐 (B) 7.5YR3/1黒褐		(A) L R縄文を施す (B)
第16号 土壇 第107図-1	甕 須恵	口径 残高 6.7 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 5Y7/2 灰白 (B) 5Y2/1 黒		(A) 叩き目を施す (B) 削り
第17号 土壇 第108図-1	深鉢 縄文	口径 残高 8.0 底径 把手部	胎;雲母、粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (B) 7.5YR4/4褐		(A) 横位の筥削り (B)
第17号 土壇 第108図-2	深鉢 縄文	口径 残高 4.6 底径 口縁部一部	胎;石英、0.3 の礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙		(A) 磨消縄文を施す (B) 横位の筥削り
第17号 土壇 第108図-3	深鉢 縄文	口径 残高 6.5 底径 胴部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙~5YR4/4にぶい赤褐 (B) 7.5YR5/4にぶい橙		(A) 磨消縄文を施す L R縄文を施文した後 沈線の区画を施す (B) 横位の筥削り
第17号 土壇 第108図-4	深鉢 縄文	口径 残高 6.8 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/6橙~5YR5/3にぶい赤褐 (B) 7.5YR6/3にぶい褐		(A) 磨消縄文を施す (B) 横位の筥削り
第17号 土壇 第108図-5	深鉢 縄文	口径 残高 3.8 底径 口縁部一部	胎;石英、0.2 の礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/3褐 (B) 7.5YR4/4褐		(A) 磨消縄文を施す (B)
第17号 土壇 第108図-6	深鉢 縄文	口径 残高 3.5 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4にぶい褐 (B) 7.5YR7/6橙		(A) 胴部に沈線が垂下し、 その区画に R L縄文を 施文する (B)
第17号 土壇 第108図-7	深鉢 縄文	口径 残高 5.6 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 5YR5/4にぶい赤褐		(A) 櫛歯状工具による条線 文を施す (B)
第17号 土壇 第108図-8	甕 縄文	口径 残高 3.0 底径 6.8 底部1/2	胎;石英、0.2 の礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 10YR3/2 黒褐		(A) 底部に網代痕有り (B) 筥削りの後、磨き
第17号 土壇 第108図-9	深鉢 縄文	口径 残高 1.7 底径 6.6 底部2/3	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (B) 7.5YR6/6橙~7.5YR4/2灰褐	平底	(A) (B)
第18号 土壇 第109図-1	深鉢 縄文	口径 残高 25.4 底径 25.0 胴部2/5	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/3にぶい褐 (B) 7.5YR5/3にぶい褐	胴部より緩やかに外反して、 口縁部で少し窄まる	(A) 磨消縄文を施す 沈線 で渦巻き状の区画を施 し R L縄文を充填する (B) 横位の筥削り
第18号 土壇 第109図-2	深鉢 縄文	口径 残高 6.0 底径 口縁部一部	胎;石英、0.2 の礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR7/6橙		(A) 口縁部に平行に隆帯を 施す (B)
第18号 土壇 第109図-3	深鉢 縄文	口径 残高 9.6 底径 胴部一部	胎;石英、0.2 の礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙~7.5YR4/2灰褐		(A) 2条の隆帯が垂下して 胴部を縦に分割し、区 画内に L R縄文を施す (B) 横位の筥削り
第18号 土壇 第109図-4	深鉢 縄文	口径 残高 2.5 底径 5.8 底部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR6/6橙	平底	(A) (B)

第50表 土壇出土遺物観察表(3)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第19号 土壙 第110図-1	深鉢 縄文	口径 5.0 残高 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR5/2灰褐		(外) 無文 横位の窪削り (内) 横位の窪磨き
第19号 土壙 第110図-2	深鉢 縄文	口径 6.6 残高 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口唇部に面取りを施す	(外) 無文 窪削り (内) 撫で 窪磨き
第19号 土壙 第110図-3	深鉢 縄文	口径 4.7 残高 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外) 10YR6/3 にぶい黄褐 (内) 10YR7/3 にぶい黄褐		(外) 無文 横位の窪削り (内) 横位の窪削り
第19号 土壙 第110図-4	深鉢 縄文	口径 3.5 残高 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR5/3にぶい褐		(外) R L縄文を施す (内) 撫で
第19号 土壙 第110図-5	深鉢 縄文	口径 3.0 残高 底径 胴部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙		(外) 磨消縄文、L R縄文を 区画内に施文する (内) 磨き
第20号 土壙 第111図-1	甕 土師	口径 24.7 残高 22.6 底径 口縁部1/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR7/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR7/6橙~7.5YR2/2黒褐	張りの無い胴部から、緩く外 反する口縁部に至る	(外) 口縁部横位の撫で 胴部窪削り (内) 横位の撫で
第21号 土壙 第112図-1	浅鉢 縄文	口径 2.8 残高 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外) 10YR4/3 にぶい黄褐 (内) 10YR4/3 にぶい黄褐		(外) 磨き (内) 口縁部に2条の沈線が 巡る
第21号 土壙 第112図-2	深鉢 縄文	口径 6.2 残高 口径 口縁部一部	胎;石英、0.2 の礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5Y6/1 灰 (内) 7.5Y5/1 灰		(外) 口縁部に平行に細い刻 み目を入れた隆帯が巡 る 沈線文を施す (内) 窪磨き
第21号 土壙 第112図-3	深鉢 縄文	口径 4.2 残高 底径 胴部一部	胎;礫、雲母、0.2の礫、粗砂粒 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR6/6橙		(外) 磨消縄文を施す (内)
第21号 土壙 第112図-4	浅鉢 縄文	口径 3.0 残高 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙		(外) (内) 口縁部に連続した刻み 目を施す 沈線による文様を施す
第21号 土壙 第112図-5	深鉢 縄文	口径 3.3 残高 底径 胴部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR4/3褐 (内) 7.5YR4/4褐		(外) 櫛歯状工具による条線 文を施す (内)
第22号 土壙 第113図-1	深鉢 縄文	口径 3.7 残高 10.8 底径 底部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 7.5YR4/2灰褐		(外) 胴部を沈線が縦位に垂 下し、その区画にL R 縄文を施文する (内)
第23号 土壙 第114図-1	浅鉢 縄文	口径 4.7 残高 底径 体部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外) 10YR6/2 灰黄褐 (内) 10YR5/2 灰黄褐		(外) 削り (内) 削り
第23号 土壙 第114図-2	深鉢 縄文	口径 2.7 残高 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐		(外) 口縁部に2条の沈線が 巡る (内) 磨き
第24号 土壙 第115図-1	盤 土師	口径 30.0 残高 7.6 底径 口縁部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR4/2灰褐 (内) 5YR6/6橙	口唇部に面取りを施す	(外) 轆轤による撫で (内)

第51表 土壙出土遺物観察表(4)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
第24号 土壙 第 115図-2	坏 土師	口径 15.0 残高 2.5 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/2灰褐 (B) 7.5YR4/1褐灰		(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫で
第24号 土壙 第 115図-3	坏 須恵	口径 残高 3.6 底径 体部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/2 灰黄褐 (B) 10YR4/2 灰黄褐		(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫で
第25号 土壙 第 116図-1	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (B) 7.5YR4/3褐		(A) (B)
第25号 土壙 第 116図-2	甕 土師	口径 10.2 残高 5.2 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (B) 7.5YR6/6橙	胴部より外反して口縁部に至る 口唇部に面取りを施す	(A) 撫で (B) 撫で
第26号 土壙 第 117図-1	深鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3にぶい橙~7.5YR3/2黒 (B) 7.5YR3/2黒褐		(A) RL縄文を施す (B) 磨き
第26号 土壙 第 117図-2	深鉢 縄文	口径 残高 5.7 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/2灰褐		(A) R縄文を施す (B) 横位の筥削り
第26号 土壙 第 117図-3	深鉢 縄文	口径 残高 5.3 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/4にぶい橙		(A) RL縄文を施す (B) 筥磨き
第26号 土壙 第 117図-4	深鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR7/3にぶい橙		(A) (B) 横位の筥削り
第26号 土壙 第 117図-5	甕 土師	口径 22.5 残高 12.5 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/4にぶい橙 (B) 5YR7/4にぶい橙~5YR5/3にぶい赤褐	張りの無い胴部より、緩く「く」の字状に外反して口縁部に至る	(A) 撫で (B) 撫で
第27号 土壙 第 118図-1	深鉢 縄文	口径 残高 4.4 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/2 灰黄褐 (B) 10YR6/2 灰黄褐		(A) 無文 横位の筥削り (B) 横位の筥削り
第27号 土壙 第 118図-2	深鉢 縄文	口径 残高 6.9 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/2 灰黄褐 (B) 10YR6/2 灰黄褐		(A) 無文 横位の筥削り (B) 横位の筥削り
第27号 土壙 第 118図-3	深鉢 縄文	口径 残高 4.9 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR5/4にぶい褐		(A) 沈線による横位の羽状斜線文を施す (B) 精緻な筥磨き
第27号 土壙 第 118図-4	深鉢 縄文	口径 残高 2.3 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/3にぶい褐 (B) 7.5YR5/3にぶい褐		(A) 沈線による横位の羽状斜線文を施す (B) 磨き
第27号 土壙 第 118図-5	深鉢 縄文	口径 残高 5.4 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/4にぶい橙		(A) 櫛歯状工具による条線文を施す (B) 削り
第28号 土壙 第 119図-1	深鉢 縄文	口径 残高 6.3 底径 口縁部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/3にぶい橙~10YR5/2灰黄 (B) 10YR6/4 にぶい黄橙	口縁部に細い刻み目を入れた隆帯が巡り、その上に「8」字状貼付文を施す	(A) 磨消縄文を施す L R縄文を施文する (B) 筥磨き

第52表 土壙出土遺物観察表(5)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第28号 土壙 第119図-2	浅鉢 縄文	口径 残高 6.3 底径 体部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR5/6明赤褐		(A) 磨消縄文を施す (B) 篋削り
第28号 土壙 第119図-3	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/3にぶい黄褐~10YR2/1黒 (B) 10YR2/1 黒		(A) 隆帯による文様を施す (B) 横位の篋削り
第28号 土壙 第119図-4	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4にぶい褐 (B) 7.5YR5/2灰褐		(A) (B)
第33号 土壙 第120図-1	深鉢 縄文	口径 残高 7.5 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/3 にぶい黄橙 (B) 10YR7/3 にぶい黄橙		(A) 口縁部に平行に隆帯が 巡る。撫で (B) 口縁部は段を有する 横位の篋削り
第33号 土壙 第120図-2	深鉢 縄文	口径 残高 4.2 底径 口縁部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙	口縁部は内側に肥厚する	(A) (B)
第33号 土壙 第120図-3	深鉢 縄文	口径 残高 3.9 底径 口縁部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/3 にぶい黄橙 (B) 10YR7/3 にぶい黄橙		(A) (B) 口縁部に沈線が巡る 磨き
第33号 土壙 第120図-4	深鉢 縄文	口径 残高 3.1 底径 突起部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6明赤褐 (B) 5YR5/6明赤褐		(A) (B)
第33号 土壙 第120図-5	深鉢 縄文	口径 残高 6.0 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR3/1黒褐~5YR4/2 灰褐 (B) 5YR5/4にぶい赤褐		(A) 磨消縄文を施す R縄文を施した後、曲線的な沈線の区画を 磨す (B) 篋削り
第33号 土壙 第120図-6	深鉢 縄文	口径 残高 3.5 底径 胴部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/2灰褐 (B) 7.5YR5/1褐灰		(A) 磨消縄文を施す L R 縄文を施文した後、沈 線の区画を施す (B) 磨き
第33号 土壙 第120図-7	浅鉢 縄文	口径 残高 3.0 底径 体部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/2 にぶい黄橙 (B) 10YR7/4 にぶい黄橙		(A) 2条の細い刻み目を入 れた隆帯が巡る上に「 8」字状貼付文を施す (B)
第36号 土壙 第121図-1	深鉢 縄文	口径 残高 8.6 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/3にぶい褐 (B) 7.5YR5/3にぶい褐	口唇部は内側に窄まる	(A) 口縁部に隆帯が巡る 胴部に L R縄文を施文 する (B) 篋磨き
第36号 土壙 第121図-2	深鉢 縄文	口径 残高 7.2 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/6橙 (B) 7.5YR6/4にぶい橙	胴部より緩く内傾して、口縁 部に至る	(A) 口縁部に平行に隆帯が巡る 胴部を分割し て隆帯が垂下し、その区画内にRL縄文を施 す (B)
第36号 土壙 第121図-3	深鉢 縄文	口径 残高 11.4 底径 胴部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR6/4にぶい 橙~5YR6/2 灰褐		(A) 隆帯が垂下して胴部を区画し、RL縄文を施 文する (B) 撫で 2と同一個体
第36号 土壙 第121図-4	深鉢 縄文	口径 残高 4.7 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/3にぶい褐 (B) 7.5YR4/2灰褐		(A) R L縄文を施す (B) 篋磨き
第36号 土壙 第121図-5	深鉢 縄文	口径 残高 6.0 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4にぶい赤褐 (B) 5YR3/2暗赤褐		(A) (B) 篋磨き

第53表 土壙出土遺物観察表(6)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
第36号 土壙 第121図-6	深鉢 縄文	口径 残高 5.8 底径 口縁部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/3褐 (B) 7.5YR5/3にぶい褐~7.5YR4/1灰		(A) (B)
第36号 土壙 第121図-7	深鉢 縄文	口径 残高 6.0 底径 胴部一部	胎;雲母含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6明赤褐 (B) 5YR6/6橙	橋状把手	(A) 筒削り (B)
第36号 土壙 第121図-8	深鉢 縄文	口径 残高 6.2 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4にぶい褐 (B) 7.5YR6/4にぶい橙		(A) 磨消縄文を施す 沈線で区画した後、R L縄文を施す (B) 撫で
第36号 土壙 第121図-9	深鉢 縄文	口径 残高 7.0 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/3褐 (B) 7.5YR4/3褐	波頂部	(A) (B)
第36号 土壙 第121図-10	深鉢 縄文	口径 残高 4.0 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/6 明黄褐 (B) 10YR7/6 明黄褐		(A) (B) 磨き
第36号 土壙 第121図-11	深鉢 縄文	口径 残高 5.7 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR2/2黒褐 (B) 5YR3/6暗赤褐		(A) 隆帯と沈線による曲線 的な文様を施す (B) 筒削り
第36号 土壙 第121図-12	深鉢 縄文	口径 残高 6.7 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/3にぶい赤褐 (B) 5YR5/6暗赤~5YR4/2灰褐		(A) 沈線による文様を施す (B) 筒削り
第36号 土壙 第121図-13	深鉢 縄文	口径 残高 5.1 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒多量に含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/4 にぶい褐 (B) 10YR5/4 にぶい褐		(A) (B)
第36号 土壙 第121図-14	深鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 口縁部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (B) 7.5YR6/6橙		(A) 口縁部に平行に連続して 押圧した隆帯が巡る (B)
第36号 土壙 第121図-15	深鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 胴部一部	胎;石英、粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/8赤褐 (B) 7.5YR5/4にぶい褐		(A) 綾杉状文を施す (B)
第36号 土壙 第121図-16	深鉢 縄文	口径 残高 3.0 底径 6.2 底部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4にぶい赤褐 (B) 5YR3/1黒褐		(A) (B)
第37号 土壙 第122図-1	深鉢 縄文	口径 残高 3.4 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/6橙 (B) 2.5YR3/1明赤灰		(A) RL縄文を施す (B)
第37号 土壙 第122図-2	深鉢 縄文	口径 残高 3.4 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/1 褐灰 (B) 10YR7/6 明黄褐		(A) 櫛歯状工具による条線 文を施す (B)
第38号 土壙 第123図-1	深鉢 縄文	口径 残高 8.6 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒多量に含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/4 にぶい黄橙 (B) 7.5YR6/4にぶい橙		(A) (B)
第38号 土壙 第123図-2	深鉢 縄文	口径 残高 13.8 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/3 にぶい黄褐 (B) 10YR7/8 黄橙		(A) 胴部を沈線が縦に分割 し、その区画内にRL 縄文を施文する (B) 撫で

第54表 土壙出土遺物観察表(7)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量 器	質	成形・形態ほか	整形ほか
第39号 土壙 第124図-1	深鉢 縄文	口径 残高 11.8 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR4/2灰褐 (内) 7.5YR5/2灰褐	口唇部に面取りを施す	(外) 無文 窪削り (内) 窪削り
第39号 土壙 第124図-2	深鉢 縄文	口径 残高 7.5 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR5/2灰褐 (内) 5YR5/3にぶい 赤橙~5YR1/7黒	波頂部	(外) (内) 焦げ付着
第39号 土壙 第124図-3	深鉢 縄文	口径 残高 5.9 底径 口縁部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/4にぶい 橙~5YR1/7黒 (内) 5YR6/4にぶい 橙~5YR1/7黒		(外) L R 縄文を胴部に施す (内)
第39号 土壙 第124図-4	深鉢 縄文	口径 残高 7.5 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/4にぶい 橙~5YR5/1 褐灰 (内) 5YR6/4にぶい 橙~5YR5/1 褐灰		(外) (内)
第39号 土壙 第124図-5	深鉢 縄文	口径 残高 5.8 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/4にぶい橙		(外) R L 縄文を施す (内)
第39号 土壙 第124図-6	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 胴部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR3/2暗赤褐 (内) 5YR4/1褐灰		(外) (内)
第39号 土壙 第124図-7	深鉢 縄文	口径 残高 8.3 底径 9.2 胴部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/6橙		(外) R L 縄文を施す 窪削り (内) 窪削り
第40号 土壙 第125図-1	深鉢 縄文	口径 残高 3.9 底径 胴部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR4/3褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐		(外) 沈線による文様を施す (内) 窪削り
第40号 土壙 第125図-2	深鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐		(外) (内)
第40号 土壙 第125図-3	坏 須恵	口径 15.0 残高 2.3 底径 口縁部一部	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5Y5/1 灰 (内) 5Y5/1 灰		(外) (内)
第41号 土壙 第126図-1	坏 土師	口径 10.0 器高 2.0 底径 4.0 胴部1/4	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	上げ底気味の平底	(外) 底部回転糸切り (内) 磨き
第41号 土壙 第126図-2	坏 灰釉 陶器	口径 14.7 残高 3.2 底径 口縁部一部	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR6/1 灰 (内) 10YR6/1 灰		(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で 外内面に灰釉を施す
第41号 土壙 第126図-3	坏 須恵	口径 残高 1.7 底径 5.4 底部1/4	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR6/1 褐灰 (内) 10YR6/1 褐灰	平底	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内)
第41号 土壙 第126図-4	碗 土師	口径 残高 1.8 底径 7.6 底部1/2	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/6橙 (内) 黒	高台付の底部	(外) 轆轤による撫で (内) 磨き 黒色処理
第41号 土壙 第126図-5	盤 土師	口径 残高 1.9 底径 5.0 底部ほぼ完	胎;0.2~0.5 の礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	高台付の底部	(外) (内)

第55表 土壙出土遺物観察表(8)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
第41号 土壇 第 126図-6	坏 灰釉 陶器	口径 残高 1.8 底径 5.2 底部一部	胎; 細砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5Y6/2 灰オリーブ (B) 5Y7/2 灰白	高台付の底部	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り 灰釉を漬け掛けする (B) 轆轤による撫で
第41号 土壇 第 126図-7	深鉢 縄文	口径 残高 5.1 底径 胴部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/2 灰褐 (B) 10YR5/2 灰黄褐		(A) 磨消縄文を施す (B)
第42号 土壇 第 127図-1	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6 橙 (B) 7.5YR6/3 にぶい褐		(A) 口縁部に隆帯が巡る 撫で (B) 横位の筥削り
第42号 土壇 第 127図-2	深鉢 縄文	口径 残高 5.6 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR6/6 褐 (B) 7.5YR6/6 褐		(A) 口縁部に隆帯が巡る 筥削り (B) 横位の筥削り 磨き
第42号 土壇 第 127図-3	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/1 褐灰 (B) 7.5YR6/3 にぶい褐		(A) 無文 磨き (B) 横位の磨き
第42号 土壇 第 127図-4	深鉢 縄文	口径 残高 4.9 底径 胴部一部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (A) 10YR4/2 灰黄褐 (B) 10YR6/2 灰黄褐		(A) 磨消縄文を施す LR 縄文を施文した後、沈 線の区画を施す (B)
第42号 土壇 第 127図-5	深鉢 縄文	口径 残高 5.4 底径 胴部一部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR7/6 にぶい橙 (B) 7.5YR5/4 にぶい褐		(A) 縦位の区画内にRL縄 文を施す (B) 筥削り
第42号 土壇 第 127図-6	深鉢 縄文	口径 残高 4.2 底径 胴部一部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/3 にぶい褐 (B) 7.5YR4/2 灰褐		(A) LR縄文を施す (B) 磨き
第42号 土壇 第 127図-7	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 胴部一部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/6 明褐 (B) 10YR7/2 にぶい黄橙		(A) 楕円形の区画内にL縄 文を施す (B) 横位の筥削り
第42号 土壇 第 127図-8	深鉢 縄文	口径 残高 5.4 底径 胴部一部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR6/4 にぶい橙 (B) 7.5YR5/3 にぶい褐		(A) 磨消縄文構成 LR縄 文を施文した後、沈線 の区画を施す (B) 横位の筥磨き
第42号 土壇 第 127図-9	深鉢 縄文	口径 残高 4.2 底径 胴部一部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/2 灰褐 (B) 7.5YR4/1 褐灰		(A) 沈線による文様を施す (B) 横位の磨き
第42号 土壇 第 127図-10	深鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 胴部一部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6 橙 (B) 5YR6/6 橙		(A) 横位の羽状斜線文を施 す (B) 筥磨き
第42号 土壇 第 127図-11	深鉢 縄文	口径 残高 3.0 底径 底部一部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/3 にぶい褐 (B) 7.5YR4/1 褐灰		(A) (B) 筥削り 磨き
第43号 土壇 第 128図-1	深鉢 縄文	口径 残高 5.7 底径 頸部一部	胎; 石英、粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR7/3 にぶい橙 (B) 7.5YR6/3 にぶい褐		(A) 頸部に2条の横い筋目を入れた隆帯が通り 「8」字状筋目を施す 筥磨き (B) 筥削り
第43号 土壇 第 128図-2	浅鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 口縁部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR6/4 にぶい橙~7.5YR4/2 褐 (B) 7.5YR5/3 にぶい褐		(A) 横位の筥削り (B) 口縁部に2条の沈線が 巡る 筥磨き

第56表 土壇出土遺物観察表(9)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第43号 土壙 第128図-3	浅鉢 縄文	口径 残高 5.7 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙		(外) (内) 口縁部に2条の沈線が 巡る 筒削り
第43号 土壙 第128図-4	浅鉢 縄文	口径 残高 0.8 底径 7.1 底部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒僅かに含む 焼;良好 色;(外) 5YR4/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐		(外) 底部に網代痕有り (内) 筒磨き
第44号 土壙 第129図-1	深鉢 縄文	口径 残高 3.4 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR4/2 灰黄褐 (内) 5YR6/6橙		(外) 細い刻み目を入れた隆 帯を施す 筒削り (内)
第44号 土壙 第129図-2	深鉢 縄文	口径 残高 5.3 底径 胴部一部	胎;細砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR4/2灰褐		(外) 磨消縄文を施す L 縄文を施文した後、 沈線を施す (内) 削り
第44号 土壙 第129図-3	深鉢 縄文	口径 残高 6.9 底径 胴部一部	胎;細砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/3にぶい橙 (内) 5YR6/3にぶい橙		(外) R L 縄文を施文した後 沈線を施す (内) 撫で
第45号 土壙 第130図-1	深鉢 縄文	口径 残高 3.8 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/2灰褐 (内) 7.5YR5/2灰褐		(外) 磨消縄文を施す L R 縄文を施文した後 沈線を施す (内) 磨き
第45号 土壙 第130図-2	深鉢 縄文	口径 残高 3.7 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙		(外) (内) 横位の筒削り
第46号 土壙 第131図-1	坏 土師	口径 13.6 残高 4.6 底径 5.2 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	平底より立ち上がり、内湾気 味に開いて口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
第46号 土壙 第131図-2	坏 土師	口径 15.4 残高 4.1 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 7.5YR6/3にぶい橙	体部より緩やかに口縁部に至 る	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
第46号 土壙 第131図-3	坏 土師	口径 残高 3.7 底径 5.6 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR4/2灰褐 (内) 5YR4/2灰褐	平底より内湾気味に立ち上 がる	(外) 轆轤による撫で 底部 回転糸切り 黒色処理 (内) 轆轤による撫での後、 筒磨き 黒色処理

第57表 土壙出土遺物観察表(10)

第1号 集石 第132図-1	深鉢 縄文	口径 残高 8.5 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 10YR5/2 灰黄褐		(外) L R 縄文を施文した後 胴部を垂下する沈線が 分割する (内) 撫で
第1号 集石 第132図-2	深鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 胴部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 10YR7/3 にぶい黄橙		(外) 隆帯とL R 縄文の文様 構成 (内)
第1号 集石 第132図-3	深鉢 縄文	口径 残高 3.6 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR4/2灰褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐		(外) 沈線とL R 縄文を施す (内) 横位の筒削り
第1号 集石 第132図-4	深鉢 縄文	口径 残高 3.1 底径 胴部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR5/3 にぶい黄褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐		(外) R L 縄文を施文した後 沈線の懸垂文を施す (内) 横位の筒削り

第58表 集石出土遺物観察表(1)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成 形 ・ 形 態 ほ か	整 形 ほ か
第1号 集石 第132図-5	深鉢 縄文	口径 残高 5.3 底径 胴部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR4/3にぶい赤褐 (B) 5YR6/4にぶい橙		(A) 沈線と隆帯による文様を施す (B)
第1号 集石 第132図-6	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 胴部一部	胎; 雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/6明褐 (B) 7.5YR5/6明褐		(A) 沈線と隆帯による文様を施す (B)
第1号 集石 第132図-7	深鉢 縄文	口径 残高 4.2 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/3にぶい褐 (B) 7.5YR7/4にぶい橙	突起部	(A) (B)
第1号 集石 第132図-8	深鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR6/6橙 (B) 7.5YR6/6橙		(A) 刺突文を施す (B)
第3・4号 集石 第133図-1	浅鉢 縄文	口径 残高 5.3 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR8/6浅黄橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙	波頂部	(A) 磨消縄文を施す (B) 文様を施す L R縄文を施した後、 沈線による文様を施す
第3・4号 集石 第133図-2	深鉢 縄文	口径 残高 3.9 底径 口縁部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 5YR5/3にぶい赤褐 (B) 5YR5/1褐灰		(A) 細い罫目を口縁部が口縁部を 磨消縄文、「8」字状 貼付文を施す (B) 精緻な横位の磨き
第3・4号 集石 第133図-3	深鉢 縄文	口径 残高 6.0 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/3にぶい褐 (B) 7.5YR5/3にぶい褐	波頂部	(A) 磨消縄文を施す L R縄文を施文した後 沈線による文様を施す (B) 磨き
第3・4号 集石 第133図-4	浅鉢 縄文	口径 残高 4.0 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR3/2黒褐 (B) 7.5YR6/2灰褐	波頂部 口唇部に面取りを施す	(A) 磨消縄文を施す R L縄文を施文した後 沈線による文様を施す (B) 精緻な磨き
第3・4号 集石 第133図-5	深鉢 縄文	口径 残高 6.1 底径 口縁部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/1褐灰 (B) 7.5YR4/1褐灰	口縁部は内折する	(A) 磨消縄文を施す L縄文を施文した後、 沈線による文様を施す (B) 2条の平行沈線を施す
第3・4号 集石 第133図-6	深鉢 縄文	口径 残高 4.2 底径 口縁部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/1褐灰 (B) 7.5YR4/1褐灰	口縁部は内折する 口唇部に面取りを施す	(A) 磨消縄文を施す L R縄文を施文した後 沈線による文様を施す (B) 精緻な磨き
第3・4号 集石 第133図-7	深鉢 縄文	口径 残高 4.2 底径 口縁部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR4/2 灰黄褐 (B) 10YR5/3 にぶい黄褐	口縁部は内折する	(A) 磨消縄文を施す (B) 磨き
第3・4号 集石 第133図-8	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 口縁部一部	胎; 礫、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR4/1赤灰 (B) 2.5YR4/1赤灰	波頂部	(A) 磨消縄文を施す R L縄文を施文した後 平行沈線を施す (B) 精緻な磨き
第3・4号 集石 第133図-9	深鉢 縄文	口径 残高 7.2 底径 口縁部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/1褐灰 (B) 10YR6/3 にぶい黄橙	口唇部に面取りを施す	(A) 磨消縄文を施す (B) 横位の磨削
第3・4号 集石 第133図-10	深鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/3にぶい赤褐 (B) 2.5YR5/1赤灰	波頂部 口唇部に面取りを施す	(A) 磨消縄文を施す (B) 精緻な磨き
第3・4号 集石 第133図-11	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 口縁部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 2.5YR5/3にぶい赤褐 (B) 2.5YR4/1赤灰	口縁部は外側に肥厚する	(A) 沈線による文様を施す (B) 精緻な磨き

第59表 集石出土遺物観察表(2)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第3・4号 集石 第133図-12	深鉢 縄文	口径 残高 7.0 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	口縁部は先端で屈折する	(外) 無文 篋削り (内) 横位の篋削り
第3・4号 集石 第133図-13	深鉢 縄文	口径 残高 6.3 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR8/4淡橙 (内) 5YR7/6橙		(外) 無文 撫で (内) 横位の篋削り
第3・4号 集石 第133図-14	深鉢 縄文	口径 残高 7.2 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/2灰褐 (内) 7.5YR5/2灰褐		(外) 無文 撫で (内) 横位の削り
第3・4号 集石 第133図-15	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR4/2灰褐		(外) 口唇部に刻み目を施す 横位の篋削り 撫で (内) 横位の篋削り 撫で
第3・4号 集石 第133図-16	深鉢 縄文	口径 残高 7.3 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR5/2灰褐 (内) 5YR4/1褐灰		(外) 横位の羽状斜線文を施す (内) 磨き
第3・4号 集石 第133図-17	深鉢 縄文	口径 残高 5.2 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR3/1黒褐 (内) 7.5YR2/1黒	口縁部は内折する 口唇部に面取りを施す	(外) 横位の羽状斜線文を施す (内) 精緻な磨き
第3・4号 集石 第133図-18	深鉢 縄文	口径 残高 5.3 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR5/3 にぶい黄褐 (内) 10YR4/1 褐灰		(外) 斜線文を施す (内) 磨き
第3・4号 集石 第133図-19	深鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR6/3 にぶい黄橙 (内) 10YR5/3 にぶい黄橙	突起部	(外) (内) 磨き
第3・4号 集石 第133図-20	深鉢 縄文	口径 残高 5.3 底径 胴部一部	胎;礫、雲母、粗砂粒 焼;良好 色;(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙		(外) (内) 撫で
第3・4号 集石 第133図-21	深鉢 縄文	口径 残高 7.7 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR3/3暗赤褐 (内) 5YR4/3にぶい赤褐		(外) 隆帯による区画内にL R縄文を施文する (内) 撫で
第3・4号 集石 第133図-22	深鉢 縄文	口径 残高 7.0 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR7/2 にぶい黄橙 (内) 10YR4/1 褐灰	突起部	(外) 磨き (内) 磨き
第3・4号 集石 第133図-23	ミニ チュア 縄文	口径 残高 4.5 底径 接合部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR4/2 灰黄褐 (内) 10YR4/2 灰黄褐		(外) 頸部に平行に2條の隆帯を巡らせ、その間に 縦線状を施す 精緻な磨き (内) 削り 撫で
第3・4号 集石 第133図-24	注口 土器 縄文	口径 2.1 残高 底径 注口部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/3にぶい褐		(外) 磨き (内)
第3・4号 集石 第133図-25	深鉢 縄文	口径 残高 4.6 底径 10.8 底部4/5	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR3/2暗赤褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙		(外) 撫で 縦位の削り 底部に網代痕有り (内) 削り
第3・4号 集石 第133図-26	深鉢 縄文	口径 残高 6.0 底径 5.8 胴-底-部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR4/1褐灰 (内) 5YR4/1褐灰	平底	(外) 底部に網代痕有り (内) 撫で 削り

第60表 集石出土遺物観察表(3)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量 器	質 成 形 ・ 形 態 ほ か	整 形 ほ か
第3・4号 集石 第133図-27	深鉢 縄文	口径 残高 3.3 底径 10.0 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/8橙 (H) 7.5YR6/3にぶい褐	(A) 底部に網代痕有り (H)
第3・4号 集石 第133図-28	深鉢 縄文	口径 残高 4.4 底径 11.4 胴部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙~7.5YR5/2灰褐 (H) 7.5YR7/3にぶい橙	平底 (A) 底部に網代痕有り (H) 撫で 削り
第5号 集石 第134図-1	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/6明褐 (H) 7.5YR6/6橙	(A) (H) 横位の筥削り
第5号 集石 第134図-2	浅鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/3 にぶい黄橙 (H) 10YR6/3 にぶい黄橙	(A) 2条の細い筋目を入れた隆帯の環部を 巡る (H) 3条の沈線が口縁部を 巡る
第5号 集石 第134図-3	深鉢 縄文	口径 残高 6.0 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/6赤褐 (H) 5YR5/6明赤褐	(A) 無文 横位の筥削り (H) 横位の筥削り
第5号 集石 第134図-4	深鉢 縄文	口径 残高 3.5 底径 口縁部一部	胎;雲母、礫 粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/3 にぶい黄褐 (H) 7.5YR6/6橙	口唇部の内側に面取りを施す (A) 横位の筥削り (H) 横位の筥削り
第5号 集石 第134図-5	深鉢 縄文	口径 残高 3.8 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (H) 7.5YR6/4にぶい橙	(A) 沈線文、LR縄文を施 す (H) 磨き
第5号 集石 第134図-6	深鉢 縄文	口径 残高 5.2 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙~10YR3/1黒褐 (H) 5YR5/6明赤褐	(A) 磨消縄文を施す RL縄文、「8」字状 沈線文を施す (H) 磨き
第5号 集石 第134図-7	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3にぶい褐 (H) 7.5YR7/4にぶい橙	(A) 沈線による文様を施す (H) 磨き
第5号 集石 第134図-8	深鉢 縄文	口径 残高 4.4 底径 胴部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/8橙 (H) 7.5YR7/6橙	(A) (H)
第5号 集石 第134図-9	深鉢 縄文	口径 残高 4.0 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4にぶい褐 (H) 7.5YR5/3にぶい褐	(A) LR縄文を施す (H) 削り
第5号 集石 第134図-10	深鉢 縄文	口径 残高 4.2 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/2灰褐 (H) 7.5YR5/4にぶい褐	(A) (H)
第6号 集石 第135図-1	深鉢 縄文	口径 残高 2.4 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (H) 5YR6/8橙~7.5YR5/1褐灰	(A) 「8」字状貼付文を施 す (H)
第6号 集石 第135図-2	深鉢 縄文	口径 残高 4.0 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/4 褐 (H) 10YR5/4 にぶい黄褐	(A) 羽状斜線文を施す (H)
第6号 集石 第135図-3	深鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/4 にぶい黄褐 (H) 10YR6/4 にぶい黄褐	(A) 沈線による文様を施す (H)

第61表 集石出土遺物観察表(4)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量 器	質	成形・形態ほか	整形ほか
第6号 集石 第135図-4	深鉢 縄文	口径 残高 1.6 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/4にぶい黄褐~10YR4/1褐灰 (B) 10YR5/3 にぶい黄褐		(A) (B)
第6号 集石 第135図-5	深鉢 縄文	口径 残高 1.7 底径 9.3 底部1/3	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/8明黄褐~10YR5/4にぶい黄褐 (B) 10YR7/6 明黄褐	平底	(A) 底部に網代痕有り (B)
第8号 集石 第136図-1	浅鉢 縄文	口径 31.7 器高 23.0 底径 10.0 ほぼ完形	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/4 にぶい黄褐 (B) 10YR5/4 にぶい黄褐	上げ底気味の底部より立ち上がり、丸みのある体部より外反して口縁部に至る	(A) 磨消縄文を施す 文様は胴部を6単位に構成する 底部網代痕有り (B) 口縁部に文様を施す 網代痕有り
第8号 集石 第136図-2	深鉢 縄文	口径 残高 5.7 底径 胴部一部	胎;金雲母、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR6/6橙		(A) 磨消縄文を施す (B) 磨き
第8号 集石 第136図-3	深鉢 縄文	口径 残高 8.9 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6明赤褐 (B) 5YR6/6橙		(A) 磨消縄文を施す (B) 横位の篋削り
第8号 集石 第136図-4	深鉢 縄文	口径 残高 5.9 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR6/8橙		(A) 磨消縄文を施す (B)
第8号 集石 第136図-5	深鉢 縄文	口径 残高 4.1 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/4にぶい赤褐 (B) 5YR6/4にぶい橙		(A) 磨消縄文を施す (B) 篋削り
第8号 集石 第136図-6	浅鉢 縄文	口径 残高 3.9 底径 体部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 5YR5/2灰褐		(A) 磨消縄文を施す L R縄文を施文した後 沈線の区画を施す (B) 横位の篋削り
第8号 集石 第136図-7	深鉢 縄文	口径 残高 6.4 底径 口縁部一部	胎;礫、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/6橙 (B) 7.5YR7/8黄橙	波状口縁を呈する	(A) 磨消縄文を施す (B) 横位の篋削り
第8号 集石 第136図-8	深鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 口縁部一部	胎;礫、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR6/6橙		(A) 口縁部に平行して隆帯が巡る (B)
第8号 集石 第136図-9	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 口縁部一部	胎;石英、金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/6明褐 (B) 7.5YR7/4にぶい橙	口縁部は内側に肥厚する	(A) 沈線による文様を施す (B)
第8号 集石 第136図-10	深鉢 縄文	口径 残高 7.1 底径 胴部一部	胎;石英、金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4にぶい赤褐 (B) 7.5YR6/6橙		(A) 沈線による文様を施す (B) 横位の篋削り
第8号 集石 第136図-11	深鉢 縄文	口径 残高 6.5 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (B) 7.5YR5/8明褐		(A) L R縄文を施す (B)
第8号 集石 第136図-12	深鉢 縄文	口径 残高 6.4 底径 胴部一部	胎;礫、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (B) 7.5YR6/8橙		(A) L R縄文を施す (B)
第8号 集石 第136図-13	深鉢 縄文	口径 残高 3.2 底径 胴部一部	胎;金雲母、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 7.5YR6/6橙		(A) 交互刺突文を施す (B)

第62表 集石出土遺物観察表(5)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
第8号 集石 第136図-14	深鉢 縄文	口径 残高 2.8 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/3にぶい赤褐 (A) 5YR5/6明赤褐		(A) 連続刺突文を施す (A) 磨き
第8号 集石 第136図-15	深鉢 縄文	口径 残高 3.5 底径 12.6 底部一部	胎;磁、雲母、粗砂粒 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (A) 7.5YR7/4にぶい橙	平底	(A) (A)
第8号 集石 第136図-16	深鉢 縄文	口径 残高 3.3 底径 9.4 底部1/2	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/4褐 (A) 7.5YR7/6橙	平底	(A) 筒削りの後、筒磨き (A)
第8号 集石 第136図-17	深鉢 縄文	口径 残高 3.6 底径 11.8 底部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/8橙 (A) 7.5YR6/8橙	平底	(A) (A)
第8号 集石 第136図-18	深鉢 縄文	口径 残高 0.7 底径 底部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/8橙 (A) 5YR6/8橙		(A) 底部に網代痕有り (A)
第8号 集石 第136図-19	坏 須恵	口径 15.0 残高 3.3 底径 口縁部一部	胎;白色砂粒、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5Y5/2 暗灰黄 (A) 2.5Y5/3 黄褐	口縁部は直線的に開く	(A) 轆轤による撫で (A)
第8号 集石 第136図-20	坏 須恵	口径 残高 1.1 底径 7.6 底部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/1 褐灰 (A) 2.5Y5/2 暗灰黄	高台付の底部	(A) 底部回転糸切りの後、 調整を施す (A)
第8号 集石 第136図-21	甕 土師	口径 18.6 残高 4.7 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4にぶい褐 (A) 7.5YR5/6明褐	口縁部は緩く「く」の字状に 外反する	(A) 縦位の筒削り (A) 横位の筒削り
第8号 集石 第136図-22	甕 土師	口径 残高 10.0 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (A) 7.5YR7/4にぶい橙		(A) 筒削り (A) 筒削り
第11号 集石 第137図-1	深鉢 縄文	口径 38.4 残高 15.0 底径 胴部一部	胎;細砂粒、雲母多量に含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/8明赤褐 (A) 5YR5/8明赤褐	丸みのある胴部より外反して 口縁部に至る 頸部に橋状把手が付く	(A) 胴部に連続刺突文を施す (A) 磨き
第11号 集石 第137図-2	深鉢 縄文	口径 残高 8.3 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/6橙 (A) 2.5YR5/4にぶい赤褐		(A) 櫛歯状工具による条線 文を施す (A) 横位の筒削り
第11号 集石 第137図-3	深鉢 縄文	口径 残高 6.9 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/6橙 (A) 5YR6/4にぶい橙		(A) 櫛歯状工具による条線 文を施す (A)
第11号 集石 第137図-4	深鉢 縄文	口径 残高 8.5 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/2灰褐~5YR7/4にぶい橙 (A) 7.5YR5/3にぶい褐		(A) 櫛歯状工具による条線 文を施す (A)
第11号 集石 第137図-5	深鉢 縄文	口径 残高 4.6 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/6橙 (A) 7.5YR7/4にぶい橙		(A) 沈線による文様を施す (A)
第11号 集石 第137図-6	深鉢 縄文	口径 残高 3.6 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/8明赤褐 (A) 5YR6/6橙		(A) 連続して押圧した隆帯 が胴部を巡る (A)

第63表 集石出土遺物観察表(6)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第11号 集石 第 137図-7	深鉢 縄文	口径 残高 4.6 底径 胴部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙		(外) (内)
第11号 集石 第 137図-8	深鉢 縄文	口径 残高 6.9 底径 胴部一部	胎; 石英、雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR4/3褐~5YR4/6赤褐 (内) 5YR4/6赤褐		(外) 磨消縄文を施す 沈線を施した後、RL 縄文を施文する (内) 磨磨き
第11号 集石 第 137図-9	深鉢 縄文	口径 残高 4.2 底径 胴部一部	胎; 石英、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/4橙 (内) 7.5YR5/4にぶい褐		(外) RL縄文と沈線による 文様を施す (内) 磨磨き
第11号 集石 第 137図-10	深鉢 縄文	口径 残高 6.5 底径 胴部一部	胎; 雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR5/2灰褐 (内) 5YR6/6橙		(外) RL縄文と沈線による 文様を施す (内)
第11号 集石 第 137図-11	深鉢 縄文	口径 残高 4.6 底径 胴部一部	胎; 石英、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR6/8橙		(外) 唐草文を施す (内) 撫で
第14号 集石 第 138図-1	深鉢 縄文	口径 残高 10.5 底径 口縁部一部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	突起部	(外) 磨削り 撫で (内) 磨削り 撫で
第14号 集石 第 138図-2	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 口縁部一部	胎; 雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 10YR6/4 にぶい黄橙 (内) 10YR7/4 にぶい黄橙	口縁部は内側に肥厚する	(外) 撫で (内) 撫で
第14号 集石 第 138図-3	深鉢 縄文	口径 残高 6.5 底径 胴部一部	胎; 雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙		(外) 沈線が胴部を垂下し、 その区画内にRL縄文 を施す (内)
第14号 集石 第 138図-4	深鉢 縄文	口径 残高 5.3 底径 胴部一部	胎; 雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/4にぶい赤褐		(外) 太い沈線が胴部を垂下 し、その区画内にRL 縄文を施す (内) 磨削り
第14号 集石 第 138図-5	深鉢 縄文	口径 残高 8.3 底径 胴部一部	胎; 雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR5/4にぶい褐		(外) 沈線が胴部を垂下し、 その区画内にLR縄文 を施す (内) 削り
第14号 集石 第 138図-6	深鉢 縄文	口径 残高 5.2 底径 胴部一部	胎; 雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙		(外) RL縄文を施す (内)
第14号 集石 第 138図-7	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 胴部一部	胎; 石英、金雲母、雲母含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR5/4にぶい褐		(外) 櫛歯状工具による条線 文を施す (内)
第14号 集石 第 138図-8	深鉢 縄文	口径 残高 3.7 底径 7.7 底部一部	胎; 雲母、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR4/3褐	平底	(外) (内)

第64表 集石出土遺物観察表(7)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第1号 溝址 第139図-1	坏 土師	口径 15.6 器高 6.2 底径 ほぼ完形	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR6/6橙	丸底より、緩やかに外反する 口縁部に至る	(A) 口縁部横位の撫で 体部筥削りの後、撫で (B) 口縁部横位の撫で 体部筥削りの後、撫で、磨き
第1号 溝址 第139図-2	坏 土師	口径 11.3 器高 5.3 底径 完形	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙	丸底より体部へ内弯して立ち 上がり、僅かに外反する口縁 部に至る	(A) 横位の筥磨き (B) 放射状の筥磨き
第1号 溝址 第139図-3	坏 土師	口径 12.6 器高 4.7 底径 6.0 口径1/3底1/2	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/2 灰黄褐 (B) 10YR5/2 灰黄褐	平底より内弯して開く	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 轆轤による撫で
第1号 溝址 第139図-4	坏 土師	口径 11.2 器高 3.0 底径 5.0 ほぼ完形	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR8/4淡橙 (B) 7.5YR8/4浅黄橙	平底より立ち上がり口縁部に 至る	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 轆轤による撫で
第1号 溝址 第139図-5	坏 土師	口径 残高 2.2 底径 7.8 底部5/6	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/3にぶい褐	高台付の底部	(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫で
第1号 溝址 第139図-6	高坏 土師	口径 16.6 器高 13.4 裾径 14.8 口径1/3口径1/2	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (B) 7.5YR6/6橙	坏部は内弯して開く 脚部はラッパ状に広がる	(A) 坏部、脚部筥磨き (B) 坏部筥磨き 脚部筥削りの後、撫で
第1号 溝址 第139図-7	高坏 土師	口径 残高 9.3 裾径 口径一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 7.5YR6/4にぶい橙	坏部は接合部より強い稜を 経て、外反する 脚部は接合部より大きく開く	(A) 坏部、脚部筥磨き (B) 坏部筥磨き 脚部筥削り
第1号 溝址 第139図-8	高坏 土師	口径 残高 8.3 裾径 10.0 口径一部口径1/4	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/4にぶい橙	坏部は接合部より開く 脚部は接合部より大きく開く	(A) 坏部、脚部筥磨き (B) 坏部撫で 脚部筥削り
第1号 溝址 第139図-9	高坏 土師	口径 残高 7.8 裾径 口径一部	胎;金雲母、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 5YR6/4にぶい橙	坏部は接合部より開く 脚部は接合部より大きく開く	(A) 脚部筥磨き (B) 脚部筥削り
第1号 溝址 第139図-10	高坏 土師	口径 残高 8.0 裾径 脚部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/3にぶい褐	粘土帯積み上げ 脚部は筒状を呈す	(A) 筥削りの後、筥磨き (B)
第1号 溝址 第139図-11	椀 灰釉 陶器	口径 残高 2.2 底径 8.0 底部一部	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5Y7/2 灰黄 (B) 5Y7/2 灰白	高台付の底部より立ち上がる	(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫で 外内面に灰釉を施す
第1号 溝址 第139図-12	甕 土師	口径 19.2 残高 4.4 底1 口縁部一部	胎;石英多量、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (B) 7.5YR6/6橙	口縁部は外反する	(A) 横位の撫で (B) 横位の撫で
第1号 溝址 第139図-13	甕 土師	口径 17.0 残高 3.9 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部は「く」の字状に外反 する	(A) 横位の撫で (B) 横位の撫で
第1号 溝址 第139図-14	甕 土師	口径 17.0 残高 4.4 底径 口縁部1/5	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/3にぶい褐	口縁部は「く」の字状に外反 する	(A) 横位の撫で (B) 横位の撫で
第1号 溝址 第139図-15	壺 土師	口径 15.8 残高 5.4 底径 口縁部1/3	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙	口縁部は「く」の字状に外反 する	(A) 横位の撫で (B) 横位の撫で

第65表 溝址出土遺物観察表(1)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量 器	質 成 形 ・ 形 態 ほ か	整 形 ほ か
第1号 溝址 第139図-16	埴 土師	口径 8.8 残高 底径 体部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 10YR6/3 にぶい黄橙	球状の体部より頸部で屈曲する (A) 縦位の篋磨き (B) 撫で
第1号 溝址 第139図-17	甕 土師	口径 11.5 器高 12.5 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4にぶい赤褐 (B) 5YR6/4にぶい橙	丸底より張りの無い胴部を経て、緩く外反する口縁部に至る (A) 篋削りの後、撫で (B) 横位の撫で
第1号 溝址 第139図-18	甕 土師	口径 6.0 残高 10.4 底径 胴部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/2灰褐 (B) 7.5YR5/3にぶい褐	平底より内弯気味に立ち上がる (A) 轆轤による撫で (B) 撫で 篋削り
第1号 溝址 第139図-19	壺 須恵	口径 42.0 残高 10.0 底径 口縁部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/3にぶい褐 (B) 7.5YR6/2灰褐	口縁部は外反して開く 口唇部に面取りを施す (A) 口縁部に波状文を施す (B)
第1号 溝址 第139図-20	甕 須恵	口径 7.2 残高 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR3/1 黒褐 (B) 10YR5/1 褐灰	口唇部に面取りを施す (A) 波状文を施す (B)
第1号 溝址 第139図-21	甕 須恵	口径 8.1 残高 底径 頸部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/1 褐灰 (B) 10YR4/1 褐灰	頸部より緩やかに外反する (A) 波状文を施す (B)
第1号 溝址 第139図-22	甕 須恵	口径 7.4 残高 底径 胴部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/2灰黄 (B) 2.5YR7/2灰黄	(A) 叩き目を施す (B) 叩き目を施す
第1号 溝址 第139図-23	甕 須恵	口径 2.7 残高 底径 頸部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/1 褐灰 (B) 10YR5/1 褐灰	(A) 叩き目を施す (B)
第1号 溝址 第139図-24	甕 須恵	口径 6.4 残高 17.8 底径 底部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/1 褐灰 (B) 10YR5/2 灰黄褐	平底 (A) (B)
第1号 溝址 第139図-25	ミニ チュ ア 土師	口径 5.6 器高 3.3 底径 4.0 ほぼ完形	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/4にぶい橙	手握ね (A) 指頭による撫で (B) 指頭による撫で
第1号 溝址 第139図-26	ミニ チュ ア 土師	口径 5.6 器高 4.0 底径 4.4 ほぼ完形	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/3にぶい黄橙 (B) 10YR6/3 にぶい黄橙	手握ね (A) 指頭による撫で (B) 指頭による撫で
第1号 溝址 第139図-27	深鉢 縄文	口径 5.3 残高 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/4 にぶい黄橙 (B) 7.5YR5/4にぶい褐	口縁部は内弯する (A) (B)
第1号 溝址 第139図-28	深鉢 縄文	口径 3.5 残高 底径 胴部一部	胎;金雲母多量、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/6赤褐 (B) 5YR4/4にぶい赤褐	(A) (B)
第1号 溝址 第139図-29	深鉢 縄文	口径 8.9 残高 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR5/4にぶい褐	(A) (B)
第1号 溝址 第139図-30	深鉢 縄文	口径 5.1 残高 底径 胴部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4にぶい赤褐 (B) 5YR5/3にぶい赤褐	(A) (B)

第66表 溝址出土遺物観察表(2)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
第1号 溝址 第139号-31	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	口縁部は内側に肥厚する	(外) (内)
第1号 溝址 第139号-32	深鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 口縁部一部	胎;石英多量、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR4/3にぶい赤褐 (内) 5YR6/6橙	口縁部は「く」の字状に外反する	(外) (内)
第1号 溝址 第139号-33	深鉢 縄文	口径 残高 10.0 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 10YR7/4 にぶい黄橙	波頂部	(外) (内)
第1号 溝址 第139号-34	深鉢 縄文	口径 残高 4.1 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/6橙 (内) 10YR6/4 にぶい黄橙	口縁部に孔を穿つ	(外) (内)
第1号 溝址 第139号-35	浅鉢 縄文	口径 残高 5.6 底径 口縁部一部	胎;金雲母、石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR4/2灰褐 (内) 7.5YR4/2灰褐		(外) 「8」字状沈線文を施す (内) 磨磨き
第1号 溝址 第139号-36	深鉢 縄文	口径 残高 4.6 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	口縁部は内湾する	(外) 磨消縄文を施す (内) 磨磨き
第1号 溝址 第139号-37	深鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR5/2 灰黄褐 (内) 10YR6/3 にぶい黄橙		(外) 磨消縄文を施す (内) 磨磨き
第1号 溝址 第139号-38	深鉢 縄文	口径 残高 5.2 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	口縁部は内湾する	(外) R.L縄文を施す (内)
第1号 溝址 第139号-39	深鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 口縁部一部	胎;石英、金雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	口縁部は内折する	(外) 磨磨き (内)
第1号 溝址 第139号-40	浅鉢 縄文	口径 残高 3.2 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR4/2灰褐 (内) 7.5YR4/3褐		(外) 磨消縄文を施す (内) 磨き
第1号 溝址 第139号-41	浅鉢 縄文	口径 残高 3.0 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	口縁部は内側に肥厚する	(外) 磨磨き (内) 磨磨き
第1号 溝址 第139号-42	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 胴部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR7/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙		(外) (内)
第1号 溝址 第139号-43	深鉢 縄文	口径 残高 3.7 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 10YR5/3 にぶい黄褐 (内) 10YR6/3 にぶい黄橙		(外) 沈線による羽状斜線文を施す (内)
第1号 溝址 第139号-44	深鉢 縄文	口径 残高 7.0 底径 把手部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙		(外) (内)
第1号 溝址 第139号-45	深鉢 縄文	口径 残高 2.5 底径 9.4 底部	胎;石英、雲母、礫含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	平底	(外) 底部に網代痕有り (内)

第67表 溝址出土遺物観察表(3)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量 器	質 成 形 ・ 形 態 ほ か	整 形 ほ か
第1号 溝址 第139図-46	ミニ チュ ア 縄文	口径 2.9 残高 底径 底部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 10YR6/3 にぶい黄橙 (内) 10YR6/3 にぶい黄橙	平底より立ち上がり、外反気 味の胴部に移行する (外) 篋磨き 底部に網代痕有り (内) 篋磨き
第1号 溝址 第139図-47	注口 土器 土師	口径 1.8 残高 底径 注口部	胎; 雲母、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	 (外) (内)

第68表 溝址出土遺物観察表(4)

第13号ピット 第140図-1	坏 土師	口径 12.0 残高 2.5 底径 口縁部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR4/1赤灰	 (外) 撫で (内) 磨き
第13号ピット 第140図-2	坏 土師	口径 残高 1.1 底径 5.0 底部1/4	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 2.5YR6/6橙 (内) 2.5YR3/1暗赤灰	 (外) 底部回転糸切り (内) 篋磨き
第16号ピット 第140図-3	甕 土師	口径 18.4 残高 7.8 底径 口縁部1/4	胎; 礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 2.5YR6/8橙 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は「く」の字状に外反 する 口唇部に面取りを施す (外) 横位の撫で (内) 横位の撫で 刷毛調整
第22号ピット 第140図-4	深鉢 縄文	口径 残高 5.8 底径 胴部一部	胎; 雲母、粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR2/2黒褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	 (外) LR縄文を施す (内) 磨き
第40号ピット 第140図-5	深鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 胴部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	 (外) 隆帯とRL縄文を施す (内) 撫で
第40号ピット 第140図-6	吊り 手土 器 縄文	口径 残高 4.2 底径 肋部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	 (外) 沈線と刺突文を施す (内) 沈線と刺突文を施す
第41号ピット 第140図-7	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 6.8 底部	胎; 石英、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	 (外) 篋削り (内) 篋削り
第41号ピット 第140図-8	深鉢 縄文	口径 残高 3.4 底径 胴部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR4/3褐 (内) 7.5YR6/6橙	 (外) 胴部を隆帯が縦に分割 し、その区画内にRL 縄文を施文する (内)
第53号ピット 第140図-9	高坏 土師	口径 残高 5.3 裾径 15.2 脚部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	 (外) 篋削り (内) 篋削り
第53号ピット 第140図-10	深鉢 縄文	口径 残高 2.5 底径 11.8 底部一部	胎; 石英、礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR3/1黒褐 (内) 7.5YR5/2灰褐	 (外) (内)
第53号ピット 第140図-11	深鉢 縄文	口径 残高 4.1 底径 胴部一部	胎; 礫、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 10YR6/4 にぶい黄橙 (内) 10YR5/2 灰黄褐	 (外) 羽状斜線文を施す (内)
第55号ピット 第140図-12	深鉢 縄文	口径 残高 2.8 底径 胴部一部	胎; 石英、粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 2.5YR4/3にぶい赤褐 (内) 2.5YR4/3にぶい赤褐	 (外) (内)

第69表 ピット出土遺物観察表(1)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
第67号ピット 第 140図-13	深鉢 縄文	口径 残高 2.3 底径 口縁部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/6 明黄褐 (B) 10YR7/4 にぶい黄橙	把手部	(A) (B)
第67号ピット 第 140図-14	深鉢 縄文	口径 残高 3.0 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/1褐灰 (B) 7.5YR5/4にぶい褐		(A) (B) 撫で
第67号ピット 第 140図-15	深鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/3褐 (B) 7.5YR6/3にぶい褐		(A) 連続して押圧した隆帯 が胴部を巡る (B) 撫で
第72号ピット 第 140図-16	深鉢 縄文	口径 残高 6.1 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/6明褐 (B) 7.5YR5/8明褐		(A) (B)
第72号ピット 第 140図-17	深鉢 縄文	口径 残高 5.6 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/8橙 (B) 7.5YR7/3にぶい橙		(A) (B)
第75号ピット 第 140図-18	深鉢 縄文	口径 残高 7.6 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/6赤褐~5YR6/8 橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙		(A) L R縄文を施す (B)
第76号ピット 第 140図-19	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/3褐 (B) 7.5YR4/3褐~7.5YR5/6明褐	突起部	(A) (B)
第82号ピット 第 140図-20	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR3/3明褐~7.5YR4/4褐 (B) 7.5YR6/8橙		(A) (B)
第82号ピット 第 140図-21	深鉢 縄文	口径 残高 6.6 底径 口縁部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/6明赤褐 (B) 5YR6/6橙		(A) L R縄文を施す (B)
第83号ピット 第 140図-22	深鉢 縄文	口径 残高 6.2 底径 口縁部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙~5YR3/1黒褐 (B) 5YR6/6橙	波頂部	(A) 隆帯で区画した後、L R縄文とR L縄文を施 す (B) 筥削り
第88号ピット 第 140図-23	深鉢 縄文	口径 残高 5.3 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4にぶい褐 (B) 7.5YR6/4にぶい褐		(A) 磨消縄文を施す 沈線 で区画した後、L縄文 を施文する (B) 磨き
第 117号 ピット 第 140図-24	深鉢 縄文	口径 残高 5.4 底径 胴部一部	胎;石英、粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/8橙 (B) 5YR5/4にぶい赤褐		(A) 沈線とL R縄文を施す (B)
第 127号 ピット 第 140図-25	椀 土師	口径 残高 3.5 底径 8.8 底部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 黒	高台付の底部	(A) 横位の撫で 底部回転糸切り (B) 筥磨き 黒色処理
第 135号 ピット 第 140図-26	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 胴部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR3/2暗赤褐 (B) 5YR5/2灰褐		(A) 櫛歯状工具による条線 文を施す (B) 筥削り
第 142号 ピット 第 140図-27	深鉢 縄文	口径 残高 4.0 底径 胴部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/6橙 (B) 7.5YR5/4にぶい橙		(A) 細い刻み目を入れた2 条の隆帯が胴部を巡る (B) 筥磨き

第70表 ピット出土遺物観察表(2)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第143号 ピット 第140図-28	深鉢 縄文	口径 残高 7.6 底径 胴部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR3/1黒 (C) 7.5YR6/6橙		(A) 磨消縄文を施す R L 縄文を施文した後 沈線の区画を施す (B) 磨き
第143号 ピット 第140図-29	深鉢 縄文	口径 残高 5.3 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR7/6橙		(A) R L 縄文を胴部に施す (B)
第143号 ピット 第140図-30	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/1褐灰 (B) 5YR5/3にぶい赤褐		(A) 沈線による文様を施す (B) 磨削り
第145号 ピット 第140図-31	深鉢 縄文	口径 残高 3.7 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/2灰褐 (B) 7.5YR5/8明褐		(A) 連続刺突文を施す (B)
第145号 ピット 第140図-32	深鉢 縄文	口径 残高 3.7 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/4にぶい赤褐 (B) 5YR5/6明赤褐		(A) (B)
第146号 ピット 第140図-33	深鉢 縄文	口径 残高 5.1 底径 胴部一部	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/4にぶい赤褐 (B) 5YR4/8赤褐		(A) 沈線による文様を施す (B) 磨き
第148号 ピット 第140図-34	土製 品 縄文	口径 残高 4.1 底径 一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/8明赤褐 (B) 5YR5/2灰褐	円盤状を呈し把手が付く	(A) (B)
第159号 ピット 第140図-35	深鉢 縄文	口径 残高 2.9 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR4/3褐		(A) (B) 撫で 磨き
第159号 ピット 第140図-36	坏 土師	口径 13.2 残高 3.5 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR6/4にぶい橙	平底気味の底部より内湾して 立ち上がる	(A) 口縁部撫で 底部磨削り (B) 磨き
第161号 ピット 第140図-37	深鉢 縄文	口径 残高 6.4 底径 口縁部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (B) 7.5YR6/6橙		(A) 磨削り (B) 横位の磨削り
第161号 ピット 第140図-38	深鉢 縄文	口径 残高 5.8 底径 胴部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/8橙		(A) 磨消縄文を施す (B) 横位の磨削り
第164号 ピット 第140図-39	深鉢 縄文	口径 残高 3.2 底径 6.4 底部1/2	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/8橙 (B) 5YR6/6橙	平底	(A) (B)
第164号 ピット 第140図-40	深鉢 縄文	口径 残高 4.6 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/8明赤褐 (B) 5YR3/1黒褐		(A) 沈線が垂下して胴部を 縦に分割する (B) 横位の磨削り
第164号 ピット 第140図-41	深鉢 縄文	口径 残高 4.9 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/4褐 (B) 7.5YR3/2黒褐		(A) 磨消縄文を施す L R 縄文を施文した後 沈線による文様を施す (B) 磨削り
第164号 ピット 第140図-42	深鉢 縄文	口径 残高 9.2 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/6褐 (B) 7.5YR4/6褐		(A) 沈線が垂下して胴部を 縦に分割する R L 縄文を施す (B)

第71表 ピット出土遺物観察表(3)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
第164号 ピット 第140図-43	深鉢 縄文	口径 残高 5.2 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/8橙 (内) 5YR6/4にぶい橙		(外) (内)
第164号 ピット 第140図-44	深鉢 縄文	口径 残高 3.8 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR6/8橙~10YR7/4にぶい黄橙 (内) 10YR7/4 にぶい黄橙	把手部	(外) (内)
第171号 ピット 第140図-45	深鉢 縄文	口径 残高 5.2 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒多量に含む 焼;良好 色;(外) 5YR5/8明赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐		(外) 隆帯と沈線による文様を施す (内)
第171号 ピット 第140図-46	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 胴部一部	胎;雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR3/3暗赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐		(外) 沈線による文様を施す (内)
第173号 ピット 第140図-47	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙		(外) 櫛歯状工具による条線を施す (内) 磨き

第72表 ピット出土遺物観察表(4)

第1号埋壙址 第141図-1	深鉢 縄文	口径 残高 17.8 底径 胴部2/3	胎;雲母、粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR4/4褐 (内) 10YR3/2 黒褐	張りの無い胴部	(外) 胴部を逆U字形の沈線が8分割しその区画内にRL縄文を施文する (内) 筥削り
第2号埋壙址 第141図-2	深鉢 縄文	口径 残高 16.1 底径 胴部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙		(外) 太い刻み目を入れた隆帯と磨消縄文による文様を施す (内) 横位の筥削り
第2号埋壙址 第141図-3	深鉢 縄文	口径 残高 11.4 底径 9.2 胴部2/3~端	胎;礫、粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR4/4褐 (内) 7.5YR4/4褐	平底より立ち上り外反して胴部に至る	(外) 垂下する沈線が胴部を8分割する縦位の筥削り (内) 筥削り
第3号埋壙址 第141図-4	深鉢 縄文	口径 残高 30.0 底径 胴部2/3	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 10YR4/2 灰黄褐	胴部より外反して、胴部上位は大きく膨らむ	(外) 櫛歯状工具による縦位の条線を施す (内) 横位の筥削り
第4号埋壙址 第141図-5	深鉢 縄文	口径 残高 6.5 底径 8.0 胴部1/2~端	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR5/6明橙	平底	(外) 隆帯による曲線的な区画を施し、RL縄文を施文して充填する (内) 横位の筥削り
第5号埋壙址 第141図-6	深鉢 縄文	口径 残高 25.8 底径 9.0 胴部~底部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外) 7.5YR5/8明褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	平底より立ち上がり、直線的な胴部に移行する	(外) 胴部にL縄文を施す (内) 横位の筥削り

第73表 埋壙址出土遺物観察表

グリッド N5-E29 第142図-1	深鉢 縄文	口径 残高 12.2 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/6橙		(外) 隆帯による文様を施す LR縄文を施す (内)
グリッド N5-E29 第142図-2	深鉢 縄文	口径 残高 5.9 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(外) 2.5Y6/2 灰黄 (内) 10YR6/3 にぶい黄橙		(外) 隆帯による文様を施す LR縄文を施す (内)

第74表 グリッド出土遺物観察表(1)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
グリッド N 5-E29 第 142図-3	深鉢 縄文	口径 残高 4.2 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/3 にぶい黄褐 (B) 2.5YR6/2灰黄		(A) 刻み目を入れた細い隆帯が口縁部を巡る (B) 口縁部に平行に沈線が巡る
グリッド N 5-E29 第 142図-4	深鉢 縄文	口径 残高 8.2 底径 11.0 胴~底部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4にぶい赤褐 (B) 10YR5/4 にぶい黄褐	平底より立ち上がり、底部は強く張り出し、反り気味の胴部に移行する	(A) 縦位の削り 底部に網代痕有り (B)
グリッド N 5-E29 第 142図-5	坏 土師	口径 13.6 残高 3.9 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/4 にぶい黄橙 (B) 黒	内弯して開き、口縁部で僅かに外反する	(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫で 横位の磨き 黒色処理
グリッド N 5-E29 第 142図-6	坏 土師	口径 残高 2.3 底径 4.9 胴2/3~底	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR8/4 浅黄橙 (B) 2.5Y8/2 灰白	平底より立ち上がり、内弯して開く	(A) 撫で 底部回転糸切り (B) 撫で
グリッド N 5-E29 第 142図-7	坏 土師	口径 残高 1.9 底径 5.0 胴部~底1/2	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 黒 (B) 黒	平底より大きく開く	(A) 轆轤による撫で 磨き 底部回転糸切り (B) 轆轤による撫で 磨き 外内面黒色処理
グリッド N 5-E29 第 142図-8	坏 土師	口径 21.2 残高 4.9 底径 口縁部~底部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5Y5/2 暗灰黄 (B) 黒	体部より屈折して、外傾する口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫で 黒色処理
グリッド N 5-E29 第 142図-9	坏 土師	口径 15.4 器高 5.7 底径 5.6 ほぼ完形	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/4 にぶい黄橙 (B) 黒	平底より立ち上がり、丸みを持った体部より口縁部に至る	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 横位の磨き 暗文 黒色処理
グリッド N 5-E29 第 142図-10	椀 土師	口径 9.8 器高 3.8 底径 5.4 1/2	胎;礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/4 にぶい黄橙 (B) 黒	高台付の底部より内弯して開き、口縁部で僅かに外反する	(A) 轆轤による撫で (B) 放射状の暗文を施す 磨き 黒色処理
グリッド N 5-E29 第 142図-11	椀 土師	口径 残高 2.5 底径 6.4 底部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR8/4浅黄橙 (B) 7.5YR8/3浅黄橙	高台付の底部	(A) 轆轤による撫で (B)
グリッド N 5-E29 第 142図-12	椀 土師	口径 残高 3.5 底径 5.7 胴部~底1/2	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5Y4/1 黄灰~2.5Y7/3浅黄 (B) 黒	高台付の底部より大きく開く	(A) 轆轤による撫で (B) 磨き 黒色処理
グリッド N 5-E29 第 142図-13	坏 灰釉 陶器	口径 残高 3.6 底径 7.8 胴部~底部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5Y6/1 黄灰 (B) 2.5Y7/1 灰白	高台付の底部より大きく開く	(A) 轆轤による撫で 削り 灰釉を漬け掛けする (B) 轆轤による撫で 灰釉を漬け掛けする
グリッド N 5-E29 第 142図-14	椀 灰釉 陶器	口径 13.0 残高 2.3 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5Y5/1 灰 (B) 7.5Y5/1 灰		(A) 灰釉を漬け掛けする (B) 灰釉を漬け掛けする
グリッド N 5-E29 第 142図-15	皿 土師	口径 13.9 器高 2.1 底径 8.8 1/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 黒 (B) 黒	高台付の底部より屈曲して外反して、口縁部に至る	(A) 横位の磨き (B) 横位の磨き 外内面黒色処理
グリッド N 5-E29 第 142図-16	壺 須恵	口径 11.2 残高 6.8 底径 口縁部~胴部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5Y6/1 灰 (B) 5Y5/1 灰	口唇部に面取りを施す 胴部は強く張り、口縁部で外反する	(A) 自然釉を施す (B) 轆轤による撫で
グリッド N 5-E29 第 142図-17	甕 須恵	口径 残高 5.3 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) N4/0灰 (B) 2.5Y7/2 灰黄	口縁部は外反する 口縁部を有する	(A) 櫛歯状工具による波状 文を施す (B) 撫で

第75表 グリッド出土遺物観察表(2)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
グリッド N 5-E29 第142図-18	甕 須恵	口径 残高 4.6 底径 12.0 胴-底部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5Y5/1 黄灰 (B) N4/0灰	高台付の底部より立ち上がる	(A) 轆轤による撫で 底部削り (B) 轆轤による撫で
グリッド N 5-E29 第142図-19	甕 須恵	口径 残高 6.2 底径 13.2 胴-底部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5Y4/1 灰 (B) 5Y5/1 灰	平底より立ち上がる	(A) 叩き目を施す (B) 撫で
グリッド N 6-E42 第143図-1	浅鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/3 にぶい黄褐 (B) 10YR7/2 にぶい黄橙		(A) 口唇部に刻み目を施す 横位の削り (B) 口縁部に平行に沈線が 巡る
グリッド N 6-E42 第143図-2	深鉢 縄文	口径 残高 4.7 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/8橙 (B) 5YR7/6橙~10YR8/2 灰白		(A) 磨消縄文を施す (B) 撫で
グリッド N 6-E42 第143図-3	深鉢 縄文	口径 残高 8.6 底径 胴部一部	胎;礫を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR5/2灰褐		(A) 横位の羽状斜線文を施す (B) 横位の削り
グリッド N 6-E42 第143図-4	坏 土師	口径 残高 2.0 底径 5.4 胴-底部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 2.5Y6/1 黄灰~10YR8/3鐵赭 (B) 7.5YR7/6橙	平底より立ち上がる	(A) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (B) 磨き
グリッド N 7-E24 第144図-1	椀 灰釉 陶器	口径 残高 2.5 底径 7.5 胴-底部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 2.5Y7/1 灰白 (B) 2.5Y7/1 灰白	高台付の底部より体部に移行 する	(A) 轆轤による撫で 灰釉を漬け掛けする (B) 轆轤による撫で 灰釉を漬け掛けする
グリッド N 8-E42 第145図-1	浅鉢 縄文	口径 残高 3.4 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/3 にぶい黄橙 (B) 10YR5/2 灰黄褐	口唇部に面取りを施す	(A) 磨消縄文を施す (B)
グリッド N 8-E42 第145図-2	深鉢 縄文	口径 残高 7.1 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/4にぶい赤褐 (B) 5YR6/6橙		(A) LR縄文を施す (B)
グリッド N 8-E42 第145図-3	甕 須恵	口径 残高 4.4 底径 胴-底部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/2灰褐 (B) 10YR5/1 褐灰		(A) 横位の筥削り (B) 筥削り
グリッド N 9-E42 第146図-1	浅鉢 縄文	口径 残高 3.1 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 10YR7/2 にぶい黄橙		(A) 口縁部に平行に1条の 刻み目を入れた隆帯が 巡る (B)
グリッド N 9-E42 第146図-2	深鉢 縄文	口径 残高 3.0 底径 8.7 底部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR8/2 灰白 (B) 10YR8/2 灰白		(A) 底部に網代痕有り (B)
グリッド N 9-E42 第146図-3	深鉢 縄文	口径 残高 2.1 底径 11.4 底部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/1 褐灰 (B) 2.5Y5/2 暗灰黄		(A) 底部に網代痕有り (B) 削り
グリッド N 9-E43 第147図-1	深鉢 縄文	口径 残高 2.9 底径 11.9 底部一部	胎;石英、礫を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 10YR6/2 灰黄褐		(A) 底部に網代痕有り (B) 削り
グリッド N10-E37 第148図-1	注口 土器 縄文	口径 1.5 器高 底径 注口部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR8/4鐵赭~7.5YR5/1褐灰 (B) 7.5YR7/2明褐灰		(A) (B)

第76表 グリッド出土遺物観察表(3)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量 器	質	成形・形態ほか	整形ほか
グリッド N10-E41 第149図-1	深鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR8/4 浅黄橙 (B) 7.5YR7/6橙	胴部より内折して口縁部に至る	(A) R L縄文を粗く施文した後、口縁部に平行に沈線を施す (B) 横位の削り
グリッド N10-E42 第150図-1	深鉢 縄文	口径 残高 6.5 底径 突起部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR5/1赤灰 (B) 2.5YR6/6橙		(A) 突起部にL R縄文を施文する 胴部に沈線による文様を施す (B) 横位の削り
グリッド N10-E43 第151図-1	深鉢 縄文	口径 残高 7.1 底径 突起部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3にぶい褐 (B) 5YR4/1褐灰		(A) 口縁部にR L縄文を施す 磨き (B) 磨き
グリッド N10-E43 第151図-2	深鉢 縄文	口径 残高 7.5 底径 突起部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/4 にぶい黄橙 (B) 7.5YR6/3にぶい褐		(A) (B)
グリッド N10-E43 第151図-3	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/2 灰黄褐 (B) 10YR6/3 にぶい黄橙	波頂部 口縁部の内側は断面が三角形状に肥厚する	(A) 磨消縄文を施す 口唇部に連続した刻み目を施す (B) 削り
グリッド N10-E43 第151図-4	深鉢 縄文	口径 残高 7.2 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 5YR7/6橙	波状口縁を呈する	(A) 口唇部に連続した刻み目を施す 削り (B) 削り
グリッド N10-E43 第151図-5	深鉢 縄文	口径 残高 6.9 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/8明赤褐 (B) 5YR5/4にぶい赤褐		(A) (B)
グリッド N10-E43 第151図-6	深鉢 縄文	口径 残高 6.5 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/2灰褐 (B) 10YR6/2 灰黄褐	口縁部に突起を有する	(A) 口縁部に平行に施した刻み目が通り、その下に斜線を施す ボタン状の貼付文を施す (B) 削り 撫で
グリッド N10-E43 第151図-7	深鉢 縄文	口径 残高 11.5 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/2灰褐 (B) 5YR6/4にぶい橙	口縁部に突起を有する	(A) 口縁部に平行に施した刻み目が通り、その下に横位の斜線縄文を施す (B) 削り 撫で
グリッド N10-E43 第151図-8	深鉢 縄文	口径 残高 4.4 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/1褐灰 (B) 7.5YR3/1黒褐	波頂部	(A) 斜位の沈線による文様を施す (B) 磨き
グリッド N10-E43 第151図-9	深鉢 縄文	口径 残高 6.3 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3にぶい褐 (B) 7.5YR5/3にぶい褐	口縁部は波状を呈する	(A) 磨消縄文を施す LとR L縄文を沈線の区画内に施文する (B) 磨き
グリッド N10-E43 第151図-10	深鉢 縄文	口径 残高 9.6 底径 口縁部一部	胎;微砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3にぶい褐 (B) 7.5YR4/1褐灰	胴部より屈折して、開口口縁部に至る 口縁部は波状を呈する	(A) 口唇部に連続した刻み目を施す 沈線による文様を施す (B) 磨き
グリッド N10-E43 第151図-11	深鉢 縄文	口径 残高 9.3 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/6橙 (B) 2.5YR6/2灰黄		(A) 横位の羽状斜線文を施す 横位の削り (B) 削り 磨き
グリッド N10-E43 第151図-12	深鉢 縄文	口径 残高 11.2 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/1 褐灰 (B) 10YR4/1 褐灰		(A) 横位の羽状斜線文を施す (B) 横位の磨き
グリッド N10-E43 第151図-13	深鉢 縄文	口径 残高 6.1 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 10YR5/2 灰黄褐	口唇部に面取りを施す	(A) 横位の羽状斜線文を施す (B) 横位の磨き

第77表 グリッド出土遺物観察表(4)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
グリッド N10-E43 第151図-14	深鉢 縄文	口径 残高 4.0 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/1 褐灰 (B) 10YR7/3 にぶい黄橙		(A) 沈線による斜線文を施す (B) 横位の削り
グリッド N10-E43 第151図-15	深鉢 縄文	口径 残高 4.4 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/2 灰黄褐 (B) 2.5Y7/2 灰黄	胴部は緩く括れる	(A) 沈線による斜線文を施す (B) 磨き
グリッド N10-E43 第151図-16	深鉢 縄文	口径 残高 6.2 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/1 褐灰 (B) 7.5YR4/1 褐灰		(A) 沈線による横位の羽状斜線文を施す (B) 横位の磨き
グリッド N10-E43 第151図-17	深鉢 縄文	口径 残高 4.9 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3 にぶい褐 (B) 7.5YR6/2 灰褐		(A) 沈線による横位の羽状斜線文を施す (B) 横位の削りの後、磨き
グリッド N10-E43 第151図-18	深鉢 縄文	口径 残高 3.4 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/4 にぶい橙 (B) 7.5YR5/1 褐灰		(A) 沈線による横位の羽状斜線文を施す (B) 横位の磨き
グリッド N10-E43 第151図-19	深鉢 縄文	口径 残高 3.4 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4 にぶい橙 (B) 10YR8/2 灰白	波頂部 口唇部に面取りを施す	(A) 沈線による文様を施す (B)
グリッド N10-E43 第151図-20	深鉢 縄文	口径 残高 3.9 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/2 灰褐 (B) 7/5YR7/3 にぶい橙		(A) 羽状沈線文を施す (B)
グリッド N10-E43 第151図-21	深鉢 縄文	口径 残高 4.2 底径 口縁部一部	胎;石英、粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/2 灰褐 (B) 2.5YR5/6 明赤褐	口唇部に面取りを施す	(A) 沈線による文様を施す (B) 横位の削削り
グリッド N10-E43 第151図-22	深鉢 縄文	口径 残高 7.1 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4 にぶい橙 (B) 10YR5/3 にぶい黄褐		(A) 羽状沈線文を施す (B) 撫で
グリッド N10-E43 第151図-23	深鉢 縄文	口径 残高 7.5 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/1 褐灰 (B) 10YR4/1 褐灰		(A) 羽状沈線文を施す (B) 磨き
グリッド N10-E43 第151図-24	深鉢 縄文	口径 残高 9.0 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/2 灰褐 (B) 10YR3/1 黒褐		(A) 口縁部に羽状沈線文を施す 磨き (B) 口縁部に平行に1条の沈線が巡る 磨き
グリッド N10-E43 第151図-25	深鉢 縄文	口径 残高 14.2 底径 7.2 胴部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6 橙 (B) 10YR4/1 褐灰~5YR7/4 にぶい橙	平底より立ち上がり、緩やかな胴部に移行する	(A) 胴部に羽状沈線文を施す 縦位の削削り (B) 撫で
グリッド N10-E43 第151図-26	深鉢 縄文	口径 残高 8.3 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR3/1 黒褐 (B) 10YR3/1 黒褐	口縁部に突起を有する	(A) 磨きを施す L線文を施した後、沈線による文様を施す 精緻な磨き (B) 口縁部に平行に1条の沈線が巡る 精緻な磨き
グリッド N10-E43 第151図-27	浅鉢 縄文	口径 残高 8.0 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/1 褐灰 (B) 10YR4/1 褐灰	体部より大きく開いて、先端で内折する	(A) 沈線の区画内にR縄文を施文する (B) 口縁部に平行に2条の沈線が巡る 磨き
グリッド N10-E43 第151図-28	浅鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 体部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 2.5Y5/2 暗灰黄 (B) 2.5Y5/2 暗灰黄		(A) 「8」字状沈線文を施す 磨き (B) 4条の沈線が平行に巡る

第78表 グリッド出土遺物観察表(5)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
グリッド N10-E43 第151図-29	深鉢 縄文	口径 残高 3.3 底径 胴部一部	胎; 微砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR4/1褐灰 (内) 10YR6/2 灰黄褐		(外) 磨消縄文を施す (内) 磨き
グリッド N10-E43 第151図-30	浅鉢 縄文	口径 残高 3.0 底径 口縁部一部	胎; 微砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR3/1黒褐 (内) 7.5YR4/2灰褐	外反気味に開いて口縁部に至る	(外) 口縁部を磨き、沈線による、紐の絡んだような文様を施す (内) 磨き
グリッド N10-E43 第151図-31	浅鉢 縄文	口径 残高 3.7 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	大きく開いて、口縁部の先端で折れて直立する 口唇部に面取りを施す	(外) 口縁部に平行に2条の沈線を施し、磨消縄文を施文する (内) 削り
グリッド N10-E43 第151図-32	深鉢 縄文	口径 残高 4.7 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/1褐灰	胴部より緩やかに屈折し、内傾して口縁部に至る 口唇部に面取りを施す	(外) 磨消縄文を施す R L 縄文を施文した後、沈線の区画を施す (内) 撫で
グリッド N10-E43 第151図-33	深鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (外) 10YR7/3にぶい橙 (内) 10YR6/2 灰黄褐	口唇部に面取りを施す	(外) 磨消縄文を施す L 縄文を施文した後、沈線の区画を施す (内) 磨き
グリッド N10-E43 第151図-34	深鉢 縄文	口径 残高 3.6 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 7.5YR4/1褐灰	口唇部に面取りを施す	(外) 磨消縄文を施す L 縄文を施文した後、沈線の区画を施す (内) 磨き
グリッド N10-E43 第151図-35	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 胴部一部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 10YR3/1 黒褐 (内) 10YR5/1 褐灰		(外) 磨消縄文を施す L R 縄文を施文した後、沈線の区画を施す (内)
グリッド N10-E43 第151図-36	深鉢 縄文	口径 残高 5.2 底径 胴部一部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR4/1褐灰 (内) 7.5YR4/1褐灰		(外) 磨消縄文を施す (内) 磨き
グリッド N10-E43 第151図-37	浅鉢 縄文	口径 残高 4.7 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (外) 10YR5/2 灰黄褐 (内) 7.5YR4/1褐灰	体部より屈折して直立し、口縁部に至る 口唇部に面取りを施す	(外) 口縁部に平行に沈線と連続刺突文を施す (内) 磨き
グリッド N10-E43 第151図-38	深鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (外) 10YR5/2 灰黄褐 (内) 10YR5/2 灰黄褐	口唇部に面取りを施す	(外) 口縁部に平行に沈線が巡る (内) 撫で
グリッド N10-E43 第151図-39	浅鉢 縄文	口径 残高 3.9 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 7.5YR4/1褐灰	口縁部の先端で内折する	(外) 口縁部に平行に沈線と連続刺突文を施す 磨き (内) 磨き
グリッド N10-E43 第151図-40	浅鉢 縄文	口径 残高 1.0 底径 底部一部	胎; 雲母、細砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 10YR7/3 にぶい黄橙		(外) 底部に網代痕有り (内)
グリッド N10-E43 第151図-41	深鉢 縄文	口径 残高 1.5 底径 7.4 底部一部	胎; 礫含む 焼; 良好 色; (外) 2.5Y8/3 淡黄 (内) 2.5Y8/3 淡黄		(外) 底部に網代痕有り (内)
グリッド N10-E43 第151図-42	深鉢 縄文	口径 残高 1.2 底径 底部一部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 7.5YR7/2明褐灰		(外) 底部に網代痕有り (内)
グリッド N10-E43 第151図-43	浅鉢 縄文	口径 残高 2.9 底径 8.0 底部一部	胎; 雲母、粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/1褐灰		(外) 底部に網代痕有り (内) 撫で

第79表 グリッド出土遺物観察表(6)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
グリッド N10-E43 第151図-44	浅鉢 縄文	口径 残高 2.4 底径 3.8 底部	胎; 礫含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR5/2 灰褐 (A) 7.5YR6/4 にぶい橙		(A) 削り (B) 削り
グリッド N10-E43 第151図-45	注口 土器 縄文	口径 残高 7.4 底径 把手部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (A) 10YR7/3 にぶい黄橙 (A) 7.5YR6/2 灰褐		(A) (B)
グリッド N10-E43 第151図-46	注口 土器 縄文	口径 1.0 器高 底径 注口部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/2 灰褐 (A) 10YR5/2 灰黄褐		(A) (B)
グリッド N10-E43 第151図-47	注口 土器 縄文	口径 1.1 器高 底径 注口部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR7/3 にぶい橙 (A) 10YR4/1 褐灰		(A) (B)
グリッド N10-E43 第151図-48	注口 土器 縄文	口径 0.8 器高 底径 注口部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR7/4 にぶい橙 (A) 7.5YR7/4 にぶい橙		(A) (B)
グリッド N10-E43 第151図-49	注口 土器 縄文	口径 1.0 器高 底径 注口部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR7/3 にぶい橙 (A) 7.5YR5/1 褐灰		(A) (B)
グリッド N10-E43 第151図-50	ミニ チュ ア 縄文	口径 5.1 器高 3.5 底径 胴部一部	胎; 微砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (A) 10YR8/3 浅黄橙 (A) 7.5YR7/3 にぶい橙		(A) (B) 撫で
グリッド N11-E42 第152図-1	深鉢 縄文	口径 残高 4.9 底径 胴部一部	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 10YR5/2 灰黄褐 (A) 10YR3/1 黒褐		(A) 沈線による文様を施す (B)
グリッド N11-E42 第152図-2	浅鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (A) 10YR7/3 にぶい黄橙 (A) 10YR7/2 にぶい黄橙		(A) 磨消縄文を施す (B) 削り 磨き
グリッド N11-E42 第152図-3	浅鉢 縄文	口径 残高 3.5 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR6/3 にぶい褐 (A) 10YR5/1 褐灰	体部より屈折して口縁部に至る	(A) 口縁部に平行に3条の沈線が巡る (B) 磨き
グリッド N11-E42 第152図-4	浅鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (A) 10YR5/3 にぶい黄褐 (A) 10YR6/3 にぶい黄橙	内側より1孔を穿つ	(A) 口唇部に刻み目を施す 横位の羽状斜線文を施す (B) 磨き
グリッド N11-E42 第152図-5	深鉢 縄文	口径 残高 3.9 底径 胴部一部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (A) 10YR6/3 にぶい黄橙 (A) 10YR5/2 灰黄褐		(A) 横位の羽状斜線文を施す (B)
グリッド N11-E42 第152図-6	ミニ チュ ア 縄文	口径 残高 3.4 底径 胴部一部	胎; 微砂粒含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR4/1 褐灰 (A) 10YR5/1 褐灰		(A) 沈線による、紐が絡んだような文様を施す (B)
グリッド N11-E42 第152図-7	深鉢 縄文	口径 残高 5.7 底径 口縁部一部	胎; 礫を多量に含む 焼; 良好 色; (A) 10YR6/3 にぶい黄橙 (A) 7.5YR7/3 にぶい橙	口唇部に面取りを施す	(A) 沈線による文様を施す (B) 削り
グリッド N11-E42 第152図-8	深鉢 縄文	口径 残高 4.0 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (A) 7.5YR7/6 橙 (A) 7.5YR7/4 にぶい橙		(A) 2条1組の沈線による文様を施す (B)

第80表 グリッド出土遺物観察表(7)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
グリッド N11-E42 第152図-9	深鉢 縄文	口径 残高 3.2 底径 底部	胎;礫を多量に含む 焼;良好 色;(外)10YR4/1 褐灰 (内)2.5Y6/2 灰黄		(外)底部に網代痕有り (内)削り
グリッド N11-E42 第152図-10	深鉢 縄文	口径 残高 3.0 底径 底部1/4	胎;礫を多量に含む 焼;良好 色;(外)2.5Y8/3 淡黄 (内)2.5Y8/3 淡黄		(外)底部に網代痕有り (内)
グリッド N11-E43 第153図-1	深鉢 縄文	口径 残高 8.0 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/4にぶい橙 (内)7.5YR8/4浅黄橙	口縁部に突起を有する	(外)胴部に連続した刺突文 と斜線文を施す (内)口縁部に平行に2条の 沈線が巡る
グリッド N11-E43 第153図-2	深鉢 縄文	口径 残高 4.4 底径 口縁部一部	胎;礫を僅かに含む 焼;良好 色;(外)7.5YR4/1褐灰 (内)10YR3/1 黒褐	口縁部は波状を呈する	(外)口唇部に刻み目を施す 沈線による文様を施す (内)磨き
グリッド N11-E43 第153図-3	深鉢 縄文	口径 残高 8.5 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/3にぶい褐 (内)7.5YR7/3にぶい橙		(外)横位の羽状斜線文を施 す (内)磨き
グリッド N11-E43 第153図-4	深鉢 縄文	口径 残高 5.8 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外)10YR8/4 浅黄橙 (内)7.5YR7/4にぶい橙		(外)横位の羽状斜線文を施 す (内)
グリッド N11-E43 第153図-5	深鉢 縄文	口径 残高 5.4 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/3にぶい褐 (内)10YR7/2 にぶい黄橙		(外)横位の羽状斜線文を施 す (内)
グリッド N11-E43 第153図-6	深鉢 縄文	口径 残高 5.2 底径 胴部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外)10YR5/2 灰黄褐 (内)7.5YR6/3にぶい褐		(外)横位の羽状斜線文を施 す (内)削り 磨き
グリッド N11-E43 第153図-7	深鉢 縄文	口径 残高 4.4 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR4/1褐灰 (内)10YR6/2 灰黄褐		(外)横位の羽状斜線文を施 す (内)磨き
グリッド N11-E43 第153図-8	深鉢 縄文	口径 残高 5.8 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/4にぶい橙 (内)7.5YR4/1褐灰		(外)横位の羽状沈線による 文様を施す (内)磨き
グリッド N11-E43 第153図-9	深鉢 縄文	口径 残高 8.2 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR5/1褐灰 (内)7.5YR4/1褐灰		(外)横位の羽状斜線文を施 す (内)磨き
グリッド N11-E43 第153図-10	浅鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 口縁部一部	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR4/1褐灰 (内)10YR4/2 灰黄褐	口縁部の先端で屈折する	(外)横位の羽状斜線文を施 す (内)磨き
グリッド N11-E43 第153図-11	浅鉢 縄文	口径 34.0 器高 13.8 底径 10.0 胴部-胴1/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR7/6橙 (内)10YR3/1 黒褐	平底より緩やかに立ち上がり 先端で緩く屈折して、内傾す る口縁部に至る	(外)口縁部に磨削縄文を施す L縄文を施文した 後、沈線の区画を施す 底部に網代痕有り (内)撫で
グリッド N11-E43 第153図-12	深鉢 縄文	口径 残高 11.2 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙 (内)10YR6/2 灰黄褐		(外)「8」字状沈線文を施 す (内)磨き
グリッド N11-E43 第153図-13	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外)10YR4/1 褐灰 (内)10YR7/2 にぶい黄橙	口縁部の先端で内側に屈折す る	(外)磨削縄文を施す LR 縄文を施文した後、沈 線の区画を施す (内)口縁部に平行に2条の沈線が巡り 磨き

第81表 グリッド出土遺物観察表(8)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
グリッド N11-E43 第153図-14	深鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外)7.5YR4/1褐灰 (内)7.5YR6/3にぶい褐		(外)磨消縄文を施す LR 縄文を施文した後、沈 線の区画を施す (内)口縁部に平行に2条の沈線が巡る 磨き
グリッド N11-E43 第153図-15	浅鉢 縄文	口径 残高 3.9 底径 体部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3 にぶい黄橙 (内)10YR7/3 にぶい黄橙		(外)磨消縄文を施す (内)磨き
グリッド N11-E43 第153図-16	浅鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 体部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/3にぶい褐 (内)7.5YR4/1褐灰		(外)磨消縄文を施す RL 縄文を施文した後、沈 線の区画を施す (内)磨き
グリッド N11-E43 第153図-17	注口 土器 縄文	口径 残高 3.8 底径 体部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR4/1黒~10YR7/4にぶい黄橙 (内)2.5YR4/1黄灰		(外)磨消縄文を施す LR 縄文を施文した後、沈 線による文様を施す (内)撫で
グリッド N11-E43 第153図-18	深鉢 縄文	口径 残高 5.4 底径 胴部一部	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/4にぶい褐~7.5YR3/1黒 (内)7.5YR4/2灰褐		(外)磨消縄文を施す LR 縄文を施文した後、沈 線の区画を施す (内)磨き
グリッド N11-E43 第153図-19	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 胴部一部	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR6/2 灰黄褐 (内)10YR6/2 灰黄褐		(外)磨消縄文を施す LR 縄文を施文した後、沈 線の区画を施す (内)磨き
グリッド N11-E43 第153図-20	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/3にぶい褐 (内)10YR5/3 にぶい黄褐		(外)磨消縄文を施す 「8」字状沈線文を施 す (内)磨き
グリッド N11-E43 第153図-21	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 胴部一部	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR4/1褐灰 (内)7.5YR4/1褐灰		(外)磨消縄文を施す LR縄文を施文した後、沈線の区画を施す 「8」字状沈線文を施す (内)磨き
グリッド N11-E43 第153図-22	浅鉢 縄文	口径 残高 6.3 底径 口縁部一部	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/3にぶい褐 (内)7.5YR7/4にぶい橙		(外)沈線と刺突文による文 様構成 (内)口縁部に平行に2条の 沈線が巡る 磨き
グリッド N11-E43 第153図-23	深鉢 縄文	口径 残高 3.5 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR5/2灰褐 (内)7.5YR4/1褐灰		(外)沈線と刺突文による文 様構成 (内)口縁部に平行に2条の 沈線が巡る 磨き
グリッド N11-E43 第153図-24	深鉢 縄文	口径 残高 3.0 底径 胴部一部	胎;礫を僅かに含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/3にぶい褐 (内)7.5YR4/1褐灰		(外)沈線による文様を施す (内)撫で
グリッド N11-E43 第153図-25	深鉢 縄文	口径 残高 8.8 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/6橙 (内)7.5YR6/4にぶい橙		(外)横位の窪削り (内)
グリッド N11-E43 第153図-26	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外)10YR7/4 にぶい黄橙 (内)7.5YR6/3にぶい褐	口唇部に面取りを施す	(外)削り (内)削り
グリッド N11-E43 第153図-27	深鉢 縄文	口径 残高 6.8 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外)10YR6/3 にぶい黄橙 (内)10YR6/2 灰黄褐	口縁部は波状を呈する 口唇部に面取りを施す	(外)横位の削り (内)横位の削り
グリッド N11-E43 第153図-28	深鉢 縄文	口径 残高 7.5 底径 胴部一部	胎;礫を含む 焼;良好 色;(外)7.5YR4/1褐灰 (内)7.5YR4/2灰褐		(外)刻み目を入れた隆帯が 巡る (内)撫で

第82表 グリッド出土遺物観察表(9)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
グリッド N11-E45 第154図-1	深鉢 縄文	口径 残高 4.9 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR4/2 灰黄褐 (内)5YR5/3にぶい赤褐	波頂部	(外)磨消縄文を施す (内)磨き
グリッド N12-E40 第155図-1	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 口縁部一部	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/3浅黄橙 (内)10YR7/3にぶい黄橙	突起部	(外) (内)
グリッド N12-E40 第155図-2	深鉢 縄文	口径 残高 4.2 底径 口縁部一部	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/3にぶい褐 (内)7.5YR4/1褐灰		(外)磨消縄文と斜線文を施す (内)磨き
グリッド N12-E41 第156図-1	深鉢 縄文	口径 残高 4.2 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/3にぶい橙 (内)7.5YR6/4にぶい橙	口縁部は肥厚する	(外)連続して押圧した隆帯が口縁部を巡る縦位の条線文を施す (内)撫で
グリッド N12-E41 第156図-2	深鉢 縄文	口径 残高 5.9 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外)10YR5/2 灰黄褐 (内)10YR4/1 褐灰		(外)横位の羽状斜線文を施す (内)横位の磨き
グリッド N12-E41 第156図-3	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 胴部一部	胎;石英を多量に含む 焼;良好 色;(外)10YR6/2 灰黄褐 (内)10YR5/1 褐灰		(外)横位の羽状斜線文を施す (内)横位の磨き
グリッド N12-E41 第156図-4	浅鉢 縄文	口径 残高 3.2 底径 口縁部一部	胎;石英、雲母含む 焼;良好 色;(外)10YR6/2 灰黄褐 (内)10YR7/3にぶい黄橙		(外)磨消縄文を施す (内)口縁部に1条の沈線が巡る
グリッド N12-E41 第156図-5	深鉢 縄文	口径 残高 6.6 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR5/1褐灰 (内)10YR8/3 浅黄橙		(外)磨消縄文を施す (内)
グリッド N12-E41 第156図-6	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外)10YR7/3にぶい黄橙 (内)10YR6/2 灰黄褐	突起部	(外)撫で (内)撫で
グリッド N12-E41 第156図-7	注口土器 縄文	口径 器高 1.3 底径 注口部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)10YR4/1 褐灰 (内)10YR4/1 褐灰	細い棒状のもので、注口内部を成形している	(外) (内)
グリッド N12-E41 第156図-8	土製円盤 縄文	縦横 5.3 厚さ 5.8 完形 0.9	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(表)5YR4/2灰褐 (裏)5YR5/6明赤褐		(表) (裏)
グリッド N12-E42 第157図-1	深鉢 縄文	口径 残高 4.4 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR5/1褐灰 (内)10YR6/2 灰褐黄		(外)横位の羽状斜線文を施す (内)口縁部に平行に沈線が巡る
グリッド N12-E42 第157図-2	深鉢 縄文	口径 残高 2.6 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/3にぶい橙 (内)7.5YR7/3にぶい橙		(外)横位の羽状斜線文を施す (内)
グリッド N12-E42 第157図-3	浅鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 口縁部一部	胎;微砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(外)10YR3/1 黒褐 (内)10YR3/1 黒褐	口縁部は先端で内折する	(外)磨消縄文を施す (内)精緻な磨き
グリッド N12-E42 第157図-4	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5Y5/2 暗灰黄 (内)10YR7/3にぶい黄橙		(外)磨消縄文を施す (内)

第83表 グリッド出土遺物観察表(10)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
グリッド N12-E42 第157図-5	深鉢 縄文	口径 残高 2.7 底径 13.4 底部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 7.5YR6/2灰褐		(A) 底部に網代痕有り (B)
グリッド N12-E42 第157図-6	深鉢 縄文	口径 残高 2.9 底径 9.3 底部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 7.5YR5/1褐灰		(A) 底部に網代痕有り (B)
グリッド N12-E42 第157図-7	ミニ チュア 縄文	口径 残高 2.3 底径 5.1 底部1/3	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 10YR7/3 にぶい黄橙		(A) 底部に網代痕有り (B)
グリッド N12-E42 第157図-8	浅鉢 縄文	口径 13.0 器高 6.8 底径 5.5 1/2	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙~10YR6/1褐灰 (B) 7.5YR7/4にぶい橙~10YR6/1褐灰	平底より立ち上がり、丸みを帯びて口縁部に至る	(A) 撫で (B) 撫で
グリッド N12-E43 第158図-1	深鉢 縄文	口径 残高 11.5 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/1褐灰 (B) 7.5YR4/2灰褐		(A) 貼付文を施す 木口状 工具による斜位の撫で (B) 横位の削り
グリッド N12-E43 第158図-2	深鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/4にぶい橙	口唇部に面取りを施す	(A) 横位の羽状斜線文を施す (B) 口縁部に平行に1条の沈線が巡る
グリッド N12-E43 第158図-3	深鉢 縄文	口径 残高 2.5 底径 胴部一部	胎;雲母、細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/1 褐灰 (B) 10YR4/2 灰黄褐		(A) 磨消縄文を施す LR 縄文を施文した後、沈 線の区画を施す (B)
グリッド N12-E43 第158図-4	浅鉢 縄文	口径 残高 3.4 底径 口縁部一部	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/3 にぶい黄橙 (B) 10YR6/3 にぶい黄橙		(A) 磨消縄文を施す
グリッド N12-E43 第158図-5	深鉢 縄文	口径 残高 4.0 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4にぶい褐 (B) 7.5YR7/6橙		(A) 沈線による文様を施す (B) 磨き
グリッド N12-E43 第158図-6	深鉢 縄文	口径 残高 6.8 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/8橙 (B) 5YR6/6橙		(A) 磨消縄文を施す (B) 横位の削り
グリッド N12-E43 第158図-7	深鉢 縄文	口径 残高 6.2 底径 10.2 胴~底部	胎;礫を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/6橙 (B) 10YR7/3 にぶい黄橙		(A) 撫で 削り 底部に網代痕有り (B)
グリッド N12-E43 第158図-8	深鉢 縄文	口径 残高 0.9 底径 6.0 底部	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/2 灰黄褐 (B) 10YR4/2 灰黄褐		(A) 底部に網代痕有り (B)
グリッド N12-E43 第158図-9	深鉢 縄文	口径 残高 8.0 底径 11.4 胴~底部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/6橙 (B) 5YR7/4にぶい橙	平底より立ち上がる	(A) 削り (B) 削り
グリッド N12-E43 第158図-10	ミニ チュア 縄文	口径 残高 5.0 底径 5.1 胴部~底部	胎;微砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/3にぶい橙~7.5YR4/1 (B) 7.5YR4/1褐灰	平底より立ち上がり、やや内側に傾いて直線的に伸びる胴部に移行する	(A) 沈線による、紐が絡んだような文様を施す (B) 削り
グリッド N12-E44 第159図-1	深鉢 縄文	口径 残高 6.2 底径 10.4 底部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/3 にぶい黄橙 (B) 10YR7/3 にぶい黄橙	平底より立ち上がる	(A) (B) 撫で

第84表 グリッド出土遺物観察表(11)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
グリッド N12-E44 第159図-2	深鉢 縄文	口径 残高 5.7 底径 9.0 底部	胎;雲母、粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/2 灰黄褐 (B) 10YR5/2 灰黄褐	平底より立ち上がり、外反する 胴部に移行する	(A) (B) 削り
グリッド N13-E40 第160図-1	壺 青磁	口径 残高 2.1 底径 5.0 底部一部	胎;微砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 5GY7/1明オリーブ灰 (B) 5GY7/1明オリーブ灰	高台部	(A) (B)
グリッド N13-E40 第160図-2	深鉢 縄文	口径 残高 4.0 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3にぶい褐 (B) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部に突起を施す	(A) 沈線による文様と縄文を施す (B) 削り
グリッド N13-E40 第160図-3	深鉢 縄文	口径 残高 6.2 底径 口縁部一部	胎;礫を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/4 にぶい黄橙 (B) 10YR7/3 にぶい黄橙	波状口縁を呈する	(A) 口唇部に刻み目を施す L R縄文と沈線による文様を施す (B) 磨き
グリッド N13-E40 第160図-4	深鉢 縄文	口径 残高 8.1 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/3 にぶい黄褐 (B) 10YR6/2 灰黄褐	胴部は丸みを帯びる	(A) 横位の斜線文を施す (B) 削り
グリッド N13-E40 第160図-5	深鉢 縄文	口径 残高 5.8 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/1 褐灰 (B) 7.5YR6/4にぶい橙	胴部で屈曲して口縁部に移行する	(A) 斜線文を施す (B) 磨き
グリッド N13-E40 第160図-6	深鉢 縄文	口径 残高 6.1 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 10YR8/3 浅黄橙 (B) 10YR8/2 灰白	口縁部は屈折して内側へ傾く	(A) 沈線による文様とL R縄文を施す (B) 横位の篋削り
グリッド N13-E41 第161図-1	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/4 にぶい黄褐 (B) 10YR6/4 にぶい黄橙		(A) (B) 横位の篋削り
グリッド N13-E41 第161図-2	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/3にぶい黄橙 (B) 7.5YR6/6橙		(A) 「8」字状貼付文を施す (B) 横位の篋削り
グリッド N13-E41 第161図-3	深鉢 縄文	口径 残高 13.6 底径 口縁部	胎;雲母、粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/3 にぶい黄橙 (B) 10YR4/1 褐灰	波状口縁を呈する 胴部より屈曲して口縁部に至る	(A) 横位の羽状斜線文を施す (B) 磨き
グリッド N13-E41 第161図-4	深鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/3 にぶい黄橙 (B) 10YR3/1 黒褐		(A) 横位の羽状斜線文を施す (B) 磨き
グリッド N13-E41 第161図-5	深鉢 縄文	口径 残高 5.1 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/2 灰黄褐 (B) 10YR5/2 灰黄褐	口縁部は内湾する	(A) 沈線による文様を施す 口縁部に磨消縄文を施す (B) 磨き
グリッド N13-E41 第161図-6	深鉢 縄文	口径 残高 6.5 底径 口縁部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/2 灰黄褐 (B) 10YR5/3 にぶい黄褐	波頂部 口縁部は内折する	(A) 沈線による文様を施す (B) 磨き
グリッド N13-E41 第161図-7	深鉢 縄文	口径 残高 5.7 底径 胴部一部	胎;石英、礫、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 2.5Y6/1 黄灰~2.5Y8/4淡黄 (B) 2.5Y6/3 にぶい黄	粘土帯積み上げ	(A) 「8」字状沈線文、磨消縄文を施す RL縄文を施した後、沈線による文様を削り (B) 磨き
グリッド N13-E41 第161図-8	浅鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR3/2黒褐 (B) 7.5YR3/2黒褐	口縁部は内折する	(A) 平行沈線にRL縄文を施す 「8」字状沈線文を施す (B) 2条の平行沈線を施す

第85表 グリッド出土遺物観察表(12)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形 ほか
グリッド N13-E41 第161図-9	深鉢 縄文	口径 残高 1.7 底径 8.7 底部一部	胎; 細砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (外) 10YR4/2 灰黄褐 (内) 10YR4/2 灰黄褐	平底	(外) 底部に網代痕有り (内) 磨き
グリッド N13-E41 第161図-10	土製品 縄文	最大幅10.3 厚さ 3.4 1/2	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (表) 10YR7/3 にぶい黄橙 (裏) 10YR7/3 にぶい黄橙	2か所に、紐を通したと思われ る孔がある 断面は半月形を呈する	(表) (裏) 沈線による文様を施す
グリッド N13-E42 第162図-1	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 10YR4/1 褐灰 (内) 5YR7/4 にぶい橙	突起部	(外) (内)
グリッド N13-E42 第162図-2	浅鉢 縄文	口径 残高 4.8 底径 口縁部一部	胎; 細砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR7/4 にぶい橙 (内) 10YR7/4 にぶい黄橙		(外) 磨消縄文を施す 口縁 部に平行に刻み目を入 れた隆帯が巡る (内) 磨き
グリッド N13-E42 第162図-3	深鉢 縄文	口径 残高 3.5 底径 胴部一部	胎; 細砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 10YR3/1 黒褐 (内) 7.5YR7/4 にぶい橙		(外) 磨消縄文を施す L R 縄文を施文した後、沈 線による文様を施す (内)
グリッド N13-E42 第162図-4	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 10YR6/2 灰黄褐 (内) 10YR5/1 褐灰		(外) 磨消縄文を施す 沈線 による文様を施文した 後、L R 縄文を施す (内)
グリッド N13-E43 第163図-1	浅鉢 縄文	口径 残高 5.4 底径 口縁部一部	胎; 細砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 10YR4/1 褐灰 (内) 2.5Y4/1 黄灰	波頂口縁を呈する	(外) 磨消縄文を施す 「8」字状貼付文を施 す (内) 磨き
グリッド N13-E43 第163図-2	深鉢 縄文	口径 残高 5.3 底径 胴部一部	胎; 細砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 10YR6/2 灰黄褐 (内) 5YR7/6橙		(外) 沈線による文様を施す (内) 磨き
グリッド N14-E27 第164図-1	碗 土師	口径 残高 2.0 底径 7.0 底部3/4	胎; 細砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 黒 (内) 黒	高台付の底部	(外) 底部回転糸切り 磨き (内) 磨き 外内面黒色処理
グリッド N14-E41 第165図-1	深鉢 縄文	口径 残高 6.0 底径 胴部一部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 5YR5/6明赤褐 (内) 10YR6/4 にぶい黄橙		(外) (内)
グリッド N14-E41 第165図-2	深鉢 縄文	口径 残高 6.6 底径 胴部一部	胎; 雲母、粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙		(外) 沈線が胴部を縦に分割する 区画内にRL 縄文を充填した後、貯沈線を施す (内)
グリッド N14-E41 第165図-3	深鉢 縄文	口径 残高 5.8 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 5YR5/3 にぶい赤褐 (内) 5YR5/3 にぶい赤褐		(外) 口縁部に平行に連続し て押圧した隆帯が巡る (内) 横位の削り
グリッド N14-E41 第165図-4	深鉢 縄文	口径 残高 7.5 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を僅かに含む 焼; 良好 色; (外) 5YR6/8橙 (内) 2.5YR6/6橙		(外) 口縁部に連続して押圧 した隆帯が巡る (内) 撫で
グリッド N14-E41 第165図-5	浅鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/4 にぶい橙 (内) 7.5YR6/4 にぶい橙	口縁部は先端で内折する	(外) 口唇部に1条の沈線が 巡る (内)
グリッド N14-E41 第165図-6	浅鉢 縄文	口径 残高 3.6 底径 口縁部一部	胎; 粗砂粒を多量に含む 焼; 良好 色; (外) 5YR7/6橙 (内) 5YR6/6橙		(外) 口縁部に1条の沈線が 巡る (内)

第86表 グリッド出土遺物観察表(13)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
グリッド N14-E41 第165図-7	深鉢 縄文	口径 残高 4.4 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/3にぶい橙 (B) 5YR5/1褐灰		(A) (B)
グリッド N14-E41 第165図-8	深鉢 縄文	口径 残高 6.9 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (B) 5YR6/6橙		(A) 横位の羽状斜線文を施す (B) 磨き
グリッド N14-E41 第165図-9	深鉢 縄文	口径 残高 4.7 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/3 にぶい黄橙 (B) 10YR4/1 褐灰		(A) 磨消縄文を施す (B)
グリッド N14-E41 第165図-10	深鉢 縄文	口径 残高 5.8 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 5YR4/2灰褐 (B) 7.5YR7/6橙~2.5Y3/1 黒褐		(A) 磨消縄文を施す LR 縄文を施文した後、沈 線による文様を施す (B)
グリッド N14-E41 第165図-11	深鉢 縄文	口径 残高 5.1 底径 胴部一部	胎;石英、雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/3にぶい橙 (B) 7.5YR6/3にぶい褐		(A) 磨消縄文を施す LR 縄文を施文した後、沈 線の区画を施す (B) 磨き
グリッド N14-E41 第165図-12	浅鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR2/2 黒褐 (B) 10YR3/3 暗褐	口縁部は内折する	(A) 口唇部に連続した刻み 目を施す 沈線による 文様を施す 磨き (B) 沈線による文様を施す 磨き
グリッド N14-E41 第165図-13	浅鉢 縄文	口径 残高 3.6 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/3 にぶい黄橙 (B) 7.5YR6/6橙		(A) (B) 口縁部に平行に2条の 沈線が巡る
グリッド N14-E41 第165図-14	浅鉢 縄文	口径 残高 4.0 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/3にぶい赤褐 (B) 5YR4/2灰褐	内側から孔を穿つ	(A) (B)
グリッド N14-E41 第165図-15	深鉢 縄文	口径 残高 4.3 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/2 にぶい黄橙 (B) 2.5Y5/2 暗灰黄	突起部	(A) (B)
グリッド N14-E41 第165図-16	深鉢 縄文	口径 残高 1.5 底径 底部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 10YR7/3 にぶい黄橙		(A) 底部に網代痕有り (B)
グリッド N14-E41 第165図-17	深鉢 縄文	口径 残高 2.1 底径 底部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/8橙 (B) 7.5YR6/6橙		(A) 底部に網代痕あり (B)
グリッド N14-E42 第166図-1	深鉢 縄文	口径 残高 4.5 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3にぶい褐 (B) 10YR7/3 にぶい黄橙	口縁部は内側に少し肥厚する	(A) 口縁部に連続した楕円 形の区画を施し、その 中にRL縄文を施す (B) 横位の削り
グリッド N14-E42 第166図-2	深鉢 縄文	口径 残高 9.6 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/4にぶい橙 (B) 2.5YR6/6橙		(A) RL縄文を施文した後、沈線が胴に胴部を分 割し、縄文の上に蛇行沈線を施す (B) 磨き
グリッド N14-E42 第166図-3	深鉢 縄文	口径 残高 5.2 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/3にぶい褐		(A) LR縄文を施文した後 沈線による文様を施す (B) 横位の削り
グリッド N14-E42 第166図-4	深鉢 縄文	口径 残高 3.7 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/4にぶい橙 (B) 5YR7/3にぶい橙		(A) 沈線による文様を施す (B)

第87表 グリッド出土遺物観察表(14)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
グリッド N14-E42 第166図-5	深鉢 縄文	口径 残高 7.2 底径 胴部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/3にぶい橙 (B) 5YR7/4にぶい橙		(A) LR縄文を施文した後 沈線でU字状に区画する (B) 削り
グリッド N14-E42 第166図-6	深鉢 縄文	口径 残高 10.5 底径 口縁部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/2灰褐 (B) 5YR5/1褐灰	丸みのある胴部より屈曲して 口縁部に至る 口唇部に面取りを施す 把手がつく	(A) 沈線による文様を施す (B) 横位の削り
グリッド N14-E42 第166図-7	深鉢 縄文	口径 残高 6.2 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/2灰褐 (B) 2.5YR5/4にぶい赤褐	口唇部に面取りを施す	(A) 磨消縄文を施す RL 縄文を施文した後、沈 線による文様を施す (B) 横位の削り 磨き
グリッド N14-E42 第166図-8	深鉢 縄文	口径 残高 3.2 底径 口縁部一部	胎;雲母、微砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/2灰褐 (B) 7.5YR3/1黒褐	口縁部は内側に肥厚する	(A) 磨消縄文を施す LR 縄文を施文した後、沈 線の区画を施す (B) 精緻な磨き
グリッド N14-E42 第166図-9	深鉢 縄文	口径 残高 8.0 底径 口縁部一部	胎;礫を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/2灰褐 (B) 7.5YR6/2灰褐	口縁部は外側に肥厚する	(A) 沈線による曲線的な文 様を施す (B) 横位の削り 磨き
グリッド N14-E42 第166図-10	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/3にぶい赤褐 (B) 5YR4/2灰褐	口縁部は内側に肥厚する	(A) 沈線による文様を施す (B) 横位の削り
グリッド N14-E42 第166図-11	深鉢 縄文	口径 残高 5.5 底径 胴部一部	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR5/3にぶい褐		(A) 磨消縄文を施す (B) 磨き
グリッド N14-E42 第166図-12	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 口縁部一部	胎;雲母、細砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3にぶい褐 (B) 5YR6/4にぶい橙	口縁部は内折する	(A) 口縁部に斜線文を施す 蕨状の隆帯が垂下する (B) 横位の削り
グリッド N14-E42 第166図-13	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR6/4にぶい橙		(A) 沈線による文様と刺突 文を施す (B) 削り 磨き
グリッド N14-E42 第166図-14	深鉢 縄文	口径 残高 7.2 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/2灰褐 (B) 5YR6/3にぶい橙		(A) 口縁部に平行に隆帯を 施す 横位の削り (B) 横位の削り
グリッド N14-E44 第167図-1	深鉢 縄文	口径 残高 5.1 底径 胴部一部	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/3 にぶい黄橙 (B) 10YR5/1 褐灰		(A) 磨消縄文を施す RL 縄文を施文した後、沈 線の区画を施す (B) 磨き
グリッド N15-E39 第168図-1	浅鉢 縄文	口径 残高 3.5 底径 口縁部一部	胎;微砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR6/2 灰黄褐 (B) 10YR7/3 にぶい黄橙	波頂部	(A) 沈線による文様を施す 磨き (B) 磨き
グリッド N15-E39 第168図-2	深鉢 縄文	口径 残高 0.6 底径 底部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR3/1 黒褐 (B) 10YR3/1 黒褐		(A) 底部に網代痕あり (B) 磨き
グリッド N15-E40 第169図-1	深鉢 縄文	口径 残高 4.2 底径 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 7.5YR6/6橙		(A) 「8」字状貼付文を施 す (B)
グリッド N15-E40 第169図-2	深鉢 縄文	口径 残高 5.0 底径 突起部	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR6/6橙~5YR5/1褐灰		(A) 沈線による渦巻き文 様を施す (B)

第88表 グリッド出土遺物観察表(15)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
グリッド N15-E40 第169図-3	浅鉢 縄文	口径 3.5 残高 底径 口縁部一部	胎;微砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/1褐灰 (B) 7.5YR5/2灰褐	口縁部は先端で屈折する	(A) 口唇部に刻み目を施す 磨き (B) 口縁部に平行に連続した縦文を 3条の沈線が巡る
グリッド N15-E40 第169図-4	浅鉢 縄文	口径 2.8 残高 底径 口縁部一部	胎;微砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/1褐灰 (B) 7.5YR6/4にぶい橙		(A) 磨き (B) 口縁部に平行に2条の 沈線を施す 磨き
グリッド N15-E40 第169図-5	注口 土器 縄文	口径 12.1 残高 2.8 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/1褐灰 (B) 7.5YR4/1褐灰	口縁部は屈折して外反する	(A) 磨き (B) 磨き
グリッド N15-E40 第169図-6	注口 土器 縄文	口径 1.1 残高 底径 注口部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3にぶい褐 (B) 7.5YR6/3にぶい褐		(A) (B)
グリッド N15-E40 第169図-7	浅鉢 縄文	口径 2.4 残高 底径 底部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/2 にぶい黄橙 (B) 10YR6/3 にぶい黄橙		(A) 底部に網代痕有り (B) 磨き
グリッド N15-E40 第169図-8	深鉢 縄文	口径 1.5 残高 底径 底部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 7.5YR4/1褐灰		(A) 底部に網代痕有り (B)
グリッド N15-E40 第169図-9	深鉢 縄文	口径 1.2 残高 底径 底部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 5YR6/6橙 (B) 5YR6/6橙		(A) 底部に網代痕有り (B)
グリッド N15-E40 第169図-10	土偶 縄文	縦 5.4 横 5.3 厚さ 1.4 胴部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/1 褐灰 (B)		(A) 沈線による文様を施す (B)
グリッド N15-E41 第170図-1	深鉢 縄文	口径 5.4 残高 底径 口縁部一部	胎;細砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/4にぶい橙 (B) 7.5YR6/4にぶい橙	波頂部	(A) 削り (B) 沈線による文様を施す 磨き
グリッド N15-E41 第170図-2	深鉢 縄文	口径 3.5 残高 底径 底部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR7/4にぶい橙		(A) 底部に網代痕有り (B) 撫で
グリッド N15-E41 第170図-3	深鉢 縄文	口径 3.8 残高 10.8 底径 底部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/4にぶい橙 (B) 10YR6/2 灰黄褐		(A) 底部に網代痕有り (B)
グリッド N15-E42 第171図-1	深鉢 縄文	口径 4.6 残高 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 2.5YR6/6橙 (B) 5YR5/3にぶい赤褐		(A) 隆帯と沈線による文様 を施す (B)
グリッド N15-E42 第171図-2	深鉢 縄文	口径 8.5 残高 底径 口縁部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR5/3にぶい赤褐 (B) 5YR5/4にぶい赤褐		(A) 口縁部に平行に連続して 押圧した隆帯が巡る (B) 横位の削り
グリッド N15-E42 第171図-3	深鉢 縄文	口径 6.8 残高 底径 胴部一部	胎;雲母、粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR4/3褐 (B) 5YR6/6橙		(A) 磨消縄文を施す (B)
グリッド N16-E33 第172図-1	深鉢 縄文	口径 1.5 残高 10.0 底径 底部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 2.5Y5/1 黄灰 (B) 2.5Y7/2 灰黄	平底で偏平を呈する	(A) 底部に網代痕有り (B) 磨き

第89表 グリッド出土遺物観察表(16)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態ほか	整形ほか
グリッド N16-E36 第173図-1	深鉢 縄文	口径 残高 5.2 底径 胴部~底部	胎;礫を多量に含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR7/2明褐灰	上げ底気味の底部	(A) 底部に網代痕有り (B)
グリッド N16-E40 第174図-1	椀 灰釉 陶器	口径 残高 1.7 底径 7.2 底部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 2.5Y7/1 灰白 (B) 2.5Y7/1 灰白	高台付きの底部	(A) 轆轤による撫で (B) 轆轤による撫で
グリッド N16-E40 第174図-2	深鉢 縄文	口径 残高 1.4 底径 底部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/6橙 (B) 5YR7/6橙		(A) 底部に網代痕有り (B)
グリッド N16-E40 第174図-3	深鉢 縄文	口径 残高 2.4 底径 15.8 底部一部	胎;礫を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR8/3浅黄橙 (B) 5YR7/6橙		(A) 底部に網代痕有り (B)
グリッド N16-E41 第175図-1	浅鉢 縄文	口径 残高 12.2 底径 体部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR7/4 にぶい黄褐 (B) 7.5YR6/3にぶい褐		(A) 細い隆帯による文様を 施す 横位の削り (B) 削り 磨き
グリッド N16-E41 第175図-2	蓋 縄文	裾径 15.4 器高 5.0 1/4	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/3にぶい褐 (B) 10YR4/1 褐灰	裾部	(A) 沈線による文様を施す 磨き (B) 磨き
グリッド N16-E41 第175図-3	浅鉢 縄文	口径 残高 2.4 底径 口縁部一部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR4/2 灰黄褐 (B) 10YR4/1 褐灰	口縁部に突起が付く	(A) 横位の削り (B) 磨き
グリッド N16-E41 第175図-4	浅鉢 縄文	口径 残高 5.1 底径 口縁部一部	胎;礫を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/2 灰黄褐 (B) 10YR4/1 褐灰		(A) 削り (B) 口縁部に平行に3条の 沈線が巡る 磨き
グリッド N16-E41 第175図-5	深鉢 縄文	口径 残高 1.7 底径 15.4 底部一部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 5YR7/4にぶい橙 (B) 7.5YR7/3にぶい橙		(A) 底部に網代痕有り (B)
グリッド N18-E42 第176図-1	椀 土師	口径 残高 2.5 底径 7.0 底部ほぼ完	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(A) 10YR8/3 浅黄橙 (B) 黒	高台付きの底部	(A) 底部回転糸切り (B) 磨き 黒色処理

第90表 グリッド出土遺物観察表(17)

8号トレンチ 第177図-1	深鉢 縄文	口径 残高 10.9 底径 6.5 胴部~底部	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR7/6橙 (B) 7.5YR6/4にぶい橙	平底より立ち上がり、少し膨らみのある胴部に移行する	(A) 磨消縄文を施す LR 縄文を施文した後、沈 線による文様を施す (B)
8号トレンチ 第177図-2	浅鉢 縄文	口径 残高 15.7 底径 7.0 胴部~底径1/2	胎;粗砂粒を多量に含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR6/6橙 (B) 10YR7/4 にぶい黄褐	平底より立ち上がり、丸みのある体部に移行する	(A) 磨消縄文を施す LR敷 を施した後、沈線による文様を施す 底部に網代痕有り (B) 削り 磨き
8号トレンチ 第177図-3	深鉢 縄文	口径 残高 29.1 底径 10.5 胴部~胴部	胎;粗砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 10YR5/3 にぶい黄褐 (B) 10YR4/6 褐	平底より立ち上がり、緩やかな胴部に移行する 粘土帯積み上げ	(A) 縦位の筒削り 底部に網代痕有り (B) 撫で
8号トレンチ 第177図-4	深鉢 縄文	口径 36.0 残高 31.8 底径 口縁部~胴部	胎;細砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(A) 7.5YR5/4にぶい褐 (B) 7.5YR6/6橙	張りの無い胴部より僅かに開き、先端で少し内傾する口縁部に至る	(A) 斜位の筒削りと指頭による撫で (B) 撫で

第91表 トレンチ出土遺物観察表(1)

遺構NO 図版NO	器種 種類	法 量 器	質 成 形 ・ 形 態 ほ か	整 形 ほ か
8号トレンチ 第177図-5	土偶 縄文	縦 6.2 横 5.5 厚さ 2.3 胴部	胎;微砂粒を僅かに含む 焼;良好 色;(表) 7.5YR6/4に似る~10YR6/2灰赭 (裏) 10YR6/2 灰黄褐	(表) 撫で 削り (裏)

第92表 トレンチ出土遺物観察表(2)

遺 構 番 号	図 版 番 号	器 種	長 さ (cm)	幅 (cm)	厚 さ (cm)	重 さ (g)	材 質	備 考
第1号 住居址	図版 1-1	打製石鏃	2.2	1.9	0.3	0.58	チャート	破損
第7号 住居址	図版 1-2	打製石鏃	3.5	1.7	0.6	1.56	硬砂岩	破損
第10号 住居址	図版 1-3	打製石斧	12.4	6.1	2.2	112.47	頁岩	
第11号 住居址	図版 1-4	打製石鏃	1.9	1.5	0.3	0.43	黒燿石	
	図版 1-5	打製石鏃	2.2	1.9	0.3	0.47	黒燿石	破損
	図版 1-6	大 珠	3.5	2.5	0.8	8.61	翡翠	孔を両面から穿つ
	図版 1-7	磨製石斧	10.0	4.8	2.4	170.00	輝緑岩	
	図版 2-1	磨製石斧	11.7	5.9	3.2	370.00	流紋岩	
	図版 2-2	磨製石斧	7.7	6.5	2.8	200.50	流紋岩	破損
	図版 2-3	打製石斧	12.6	5.6	2.6	160.00	頁岩	破損
	図版 3-1	打製石斧	9.1	4.9	2.0	93.15	流紋岩	
	図版 3-2	石 皿	21.8	10.8	4.8	* 2.1	安山岩	破損 * : k g
第12号 住居址	図版 3-3	打製石鏃	2.4	2.0	0.5	2.31	チャート	
	図版 3-4	打製石鏃	1.7	1.4	0.4	0.82	チャート	
	図版 4-1	磨製石斧	6.0	3.0	1.0	28.83	緑泥片岩	
	図版 4-2	横 刃	6.0	4.3	0.7	18.70	硬砂岩	
	図版 4-3	磨製石斧	8.2	6.0	3.2	190.00	ひん岩	破損
	図版 5-1	打製石斧	9.9	4.9	1.4	76.48	砂岩	
第13号 住居址	図版 5-2	打製石斧	9.3	3.6	1.7	66.97	流紋岩	
	図版 5-3	打製石斧	11.9	4.3	2.2	200.00	流紋岩	
第18号 住居址	図版 5-4	打製石鏃	1.6	1.3	0.2	0.33	黒燿石	
	図版 5-5	打製石斧	12.0	4.9	2.1	111.04	頁岩	
第19号 住居址	図版 6-1	打製石鏃	1.6	1.2	0.3	0.41	黒燿石	
	図版 6-2	打製石鏃	1.3	1.0	0.2	0.27	黒燿石	破損
第20号 住居址	図版 6-3	凹 石	24.4	22.8	14.0	* 10.2	安山岩	* : k g
第22号 住居址	図版 7-1	打製石鏃	1.5	1.2	0.3	0.46	黒燿石	
第23号 住居址	図版 7-2	打製石鏃	2.6	1.9	1.5	2.05	チャート	
	図版 7-3	打製石鏃	1.6	1.5	0.3	0.53	チャート	
	図版 7-4	楔	2.6	1.9	1.8	4.28	チャート	破損

第93表 遺物(石器等)観察表(1)

遺構番号	図版番号	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	材質	備考
第23号 住居址	図版 7-5	磨製石斧	5.9	4.0	1.3	63.38	輝緑岩	
	図版 7-6	打製石斧	9.2	5.3	2.4	130.00	頁岩	
第24号 住居址	図版 7-7	打製石鏃	1.5	1.0	0.2	0.27	チャート	
	図版 8-1	凹石	36.0	39.0	21.4	* 18.9	安山岩	* : k g
第25号 住居址	図版 9-1	凹石	25.2	31.2	18.2	* 9.3	安山岩	* : k g
第10号 土壙	図版 10-1	打製石斧	13.3	4.5	1.7	98.52	頁岩	
第19号 土壙	図版 10-2	打製石斧	10.1	5.2	1.7	113.76	頁岩	
	図版 10-3	打製石斧	9.6	4.2	1.7	64.53	頁岩	
	図版 10-4	打製石斧	11.8	5.8	3.0	180.00	頁岩	
第35号 土壙	図版 11-1	砥石	7.1	3.3	2.0	62.11	砂岩(?)	破損
第36号 土壙	図版 11-2	打製石斧	9.6	6.5	1.5	88.23	頁岩	
	図版 12-1	横刃	11.0	7.4	1.9	150.00	ひん岩	
第45号 土壙	図版 12-2	石棒	19.8	13.8	9.0	* 2.9	緑泥片岩	* : k g
第3・4号 集石	図版 12-3	打製石鏃	1.1	0.8	0.3	0.24	黒燿石	
	図版 12-4	打製石鏃	1.0	1.1	0.4	0.32	黒燿石	破損
第11号 集石	図版 12-5	打製石鏃	1.4	1.3	0.3	0.28	チャート	
	図版 12-6	打製石鏃	2.6	1.2	0.6	1.61	チャート	
第1号 溝址	図版 12-7	打製石鏃	2.7	1.2	0.3	1.38	硬砂岩	破損
	図版 13-1	大珠	6.8	2.3	1.8	51.10	珪岩	
	図版 13-2	磨製石斧	4.4	3.3	1.3	38.86	白雲母片岩	破損
	図版 13-3	打製石斧	12.9	5.3	2.3	140.00	安山岩	
	図版 14-1	打製石斧	10.2	4.5	1.7	88.71	頁岩	
	図版 14-2	打製石斧	11.5	5.0	1.4	88.88	頁岩	
	図版 14-3	石棒	11.8	3.0	3.0	194.00	緑泥片岩	
第78号 ピット	図版 15-1	打製石斧	11.8	4.9	1.7	107.17	頁岩	
第1号 トレンチ	図版 15-2	打製石鏃	2.8	2.2	1.8	4.47	チャート	
グリッドN11-E43	図版 15-3	打製石鏃	1.5	1.5	0.3	0.47	黒燿石	
グリッドN10-E43	図版 15-4	打製石鏃	1.3	1.3	0.5	0.73	チャート	
グリッドN11-E41	図版 15-5	打製石鏃	1.4	1.3	0.3	0.59	黒燿石	破損
	図版 15-6	打製石鏃	1.9	1.8	0.7	1.85	黒燿石	破損
グリッドN10-E43	図版 15-7	打製石鏃	2.1	1.7	0.6	1.90	黒燿石	破損
グリッドN11-E43	図版 15-8	打製石鏃	2.4	2.2	0.6	3.41	チャート	
グリッドN 9-E42	図版 15-9	打製石鏃	2.7	2.2	0.5	3.25	硬砂岩	
グリッドN10-E43	図版 16-1	打製石鏃	1.0	1.4	0.2	0.22	黒燿石	破損
グリッドN10-E42	図版 16-2	打製石鏃	1.8	1.4	0.4	0.77	黒燿石	破損
グリッドN10-E43	図版 16-3	打製石鏃	1.4	1.3	0.4	0.60	黒燿石	破損
グリッドN 6-E42	図版 16-4	打製石鏃	1.6	1.4	0.3	0.68	黒燿石	破損

第94表 遺物(石器等)観察表(2)

遺構番号	図版番号	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	材質	備考
グリッドN10-E43	図版 16-5	打製石鏃	1.6	1.2	0.3	0.52	黒燿石	破損
	図版 16-6	打製石鏃	1.0	1.3	0.2	0.31	黒燿石	破損
	図版 16-7	打製石鏃	1.4	1.2	0.3	0.42	黒燿石	破損
	図版 16-8	打製石鏃	1.7	1.1	0.2	0.47	黒燿石	破損
	図版 16-9	打製石鏃	1.3	0.9	0.2	0.28	黒燿石	破損
グリッドN12-E41	図版 16-10	打製石鏃	1.4	1.6	0.3	0.74	黒燿石	破損
グリッドN10-E43	図版 16-11	打製石鏃	1.3	1.4	0.4	0.71	黒燿石	破損
グリッドN12-E41	図版 16-12	打製石鏃	1.7	1.6	0.2	0.53	硬砂岩	
グリッドN9-E43	図版 16-13	打製石鏃	1.9	1.8	0.4	1.02	黒燿石	
グリッドN11-E43	図版 16-14	打製石鏃	1.7	1.3	0.3	0.48	黒燿石	
グリッドN14-E42	図版 16-15	打製石鏃	1.4	1.0	0.2	0.17	黒燿石	
グリッドN13-E41	図版 16-16	打製石鏃	1.5	1.3	0.3	0.39	黒燿石	
グリッドN11-E41	図版 17-1	打製石鏃	1.4	1.2	0.2	0.30	黒燿石	
グリッドN10-E42	図版 17-2	打製石鏃	1.2	1.1	0.3	0.30	黒燿石	
グリッドN9-E42	図版 17-3	打製石鏃	2.1	1.8	0.4	1.14	チャート	
グリッドN10-E43	図版 17-4	打製石鏃	1.1	1.1	0.2	0.29	黒燿石	
グリッドN10-E40	図版 17-5	打製石鏃	1.7	1.2	0.2	0.36	チャート	破損
Z	図版 17-6	打製石鏃	1.8	1.9	0.4	0.74	チャート	破損
グリッドN10-E43	図版 17-7	打製石鏃	2.0	1.8	0.3	0.82	チャート	破損
グリッドN10-E42	図版 17-8	打製石鏃	2.6	1.8	0.4	1.20	珪岩	破損
グリッドN9-E42	図版 17-9	打製石鏃	1.9	1.9	0.6	1.29	チャート	破損
グリッドN11-E42	図版 17-10	打製石鏃	2.5	1.6	0.4	1.37	黒燿石	破損
グリッドN10-E43	図版 17-11	打製石鏃	2.0	1.1	0.3	0.44	珪岩	破損
グリッドN14-E40	図版 17-12	打製石鏃	1.5	1.0	0.2	0.24	珪岩	破損
グリッドN10-E40	図版 17-13	打製石鏃	2.5	1.9	0.5	2.23	チャート	破損
グリッドN8-E42	図版 17-14	打製石鏃	1.8	1.8	0.3	1.00	黒燿石	破損
グリッドN10-E42	図版 17-15	打製石鏃	1.5	0.8	0.3	0.34	黒燿石	破損
グリッドN11-E43	図版 17-16	打製石鏃	2.0	1.7	0.3	0.54	黒燿石	破損
グリッドN10-E43	図版 18-1	打製石鏃	1.8	1.0	0.2	0.40	黒燿石	破損
グリッドN9-E42	図版 18-2	打製石鏃	2.2	1.7	0.4	1.57	チャート	破損
グリッドN6-E42	図版 18-3	打製石鏃	1.5	0.9	0.2	0.22	黒燿石	破損
グリッドN13-E41	図版 18-4	打製石鏃	1.4	1.1	0.2	0.23	黒燿石	破損
グリッドN12-E41	図版 18-5	打製石鏃	1.2	1.1	0.2	0.32	黒燿石	破損
グリッドN10-E43	図版 18-6	打製石鏃	1.7	1.3	0.3	0.95	珪岩	破損
グリッドN8-E13	図版 18-7	打製石鏃	0.9	1.4	0.2	0.26	黒燿石	破損
グリッドN10-E43	図版 18-8	打製石鏃	2.1	1.1	0.3	0.56	黒燿石	破損
	図版 18-9	打製石鏃	1.6	1.1	0.3	0.35	黒燿石	

第95表 遺物(石器等)観察表(3)

遺構番号	図版番号	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	材質	備考
グリッドN10-E43	図版 18-10	打製石鏃	1.8	1.1	0.3	0.38	黒燿石	
グリッドN 7-E42	図版 18-11	打製石鏃	2.5	1.2	0.4	1.02	黒燿石	
グリッドN10-E40	図版 18-12	打製石鏃	1.1	1.7	0.2	0.15	黒燿石	破損
グリッドN10-E43	図版 18-13	打製石鏃	1.4	1.1	0.4	0.52	黒燿石	破損
グリッドN14-E36	図版 18-14	打製石鏃	2.0	1.9	0.4	1.36	黒燿石	破損
グリッドN10-E43	図版 19- 1	打製石鏃	1.4	0.8	0.2	0.19	黒燿石	破損
	図版 19- 2	打製石鏃	1.3	0.9	0.2	0.22	黒燿石	破損
グリッドN11-E43	図版 19- 3	打製石鏃	1.3	1.0	0.3	0.37	黒燿石	破損
グリッドN10-E42	図版 19- 4	打製石鏃	1.4	1.3	0.3	0.56	黒燿石	破損
グリッドN10-E43	図版 19- 5	打製石鏃	1.9	1.3	0.6	1.25	黒燿石	破損
	図版 19- 6	打製石鏃	1.8	1.2	0.3	0.67	黒燿石	破損
	図版 19- 7	打製石鏃	1.5	1.0	0.2	0.23	黒燿石	破損
グリッドN12-E41	図版 19- 8	打製石鏃	1.7	0.8	0.2	0.35	黒燿石	破損
グリッドN10-E43	図版 19- 9	打製石鏃	0.6	1.1	0.2	0.18	黒燿石	破損
	図版 19-10	打製石鏃	1.4	0.5	0.2	0.15	黒燿石	破損
	図版 19-11	打製石鏃	1.7	1.6	0.5	1.16	黒燿石	破損
	図版 19-12	打製石鏃	1.3	1.2	0.3	0.32	黒燿石	破損
	図版 19-13	打製石鏃	1.9	0.8	0.2	0.38	黒燿石	破損
グリッドN11-E41	図版 19-14	打製石鏃	1.6	1.4	0.3	0.56	黒燿石	破損
グリッドN12-E41	図版 19-15	打製石鏃	1.7	1.4	0.5	1.16	黒燿石	破損
グリッドN11-E43	図版 20- 1	不明	2.2	1.3	0.4	1.20	チャート	破損
グリッドN10-E43	図版 20- 2	核	2.8	2.4	1.6	12.70	黒燿石	
グリッドN11-E43	図版 20- 3	すり石	3.0	2.8	2.3	26.34	安山岩	
グリッドN 9-E34	図版 20- 4	打製石斧	12.9	6.5	2.1	160.00	頁岩	
グリッドN10-E43	図版 21- 1	打製石斧	11.6	5.3	2.2	125.00	頁岩	
Z	図版 21- 2	打製石斧	10.3	4.6	2.0	81.36	流紋岩	
グリッドN14-E41	図版 21- 3	打製石斧	9.7	6.1	1.6	114.46	安山岩	
	図版 21- 4	打製石斧	8.7	5.2	2.2	94.42	頁岩	
グリッドN10-E43	図版 21- 5	打製石斧	8.4	4.7	2.0	81.94	頁岩	
グリッドN14-E41	図版 22- 1	打製石斧	11.0	6.5	2.6	250.00	ひん岩(榎石)	
Z	図版 22- 2	打製石斧	10.3	4.8	2.4	120.00	流紋岩	
	図版 22- 3	打製石斧	13.7	6.7	3.0	290.00	頁岩	
グリッドN10-E43	図版 23- 1	打製石斧	9.4	5.4	2.2	145.00	凝灰岩	
グリッドN 6-E30	図版 23- 2	打製石斧	9.8	5.1	2.1	105.11	凝灰岩	
グリッドN16-E41	図版 23- 3	磨製石斧	10.2	5.9	2.9	288.00	斑岩	
グリッドN14-E40	図版 23- 4	磨製石斧	6.0	4.2	3.2	106.25	輝緑岩	
グリッドN10-E34	図版 24- 1	磨製石斧	9.8	6.1	2.8	274.00	珪岩	

第96表 遺物(石器等)観察表(4)

遺構番号	図版番号	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	材質	備考
Z	図版 24-2	磨製石斧	6.0	5.0	2.3	72.08	緑泥片岩	
	図版 24-3	磨製石斧	8.8	4.9	2.3	145.00	輝緑岩	
	図版 24-4	打製石斧	29.2	9.6	3.3	* 1.0	頁岩	大型 * : k g

第97表 遺物(石器等)観察表(5)

第1号人骨 (第35号土壌出土)

全身の骨格のうち、頭蓋の一部や四肢の長骨が部分的に保存されるが、体幹や指骨などの小さな部分の骨は全く欠失している。

頭蓋：側頭骨・頭頂骨等の左半部分が概ね原形を保つ。右半は細片状で残り、顔面骨はすべて欠失している。骨壁は比較的薄い。頭頂側頭縫合は外板で僅かに痕跡的で、癒着が進行している。ラムダ縫合の三角部・外半分は外板で痕跡、内板癒着し、下外部は外板が痕跡となって残る程度で、内板は癒着・消失する。下顎窩は深い。乳様突起はつまみ状でやや小型の突起である。

下顎骨：下顎骨体の左半のみが下顎角までと、オトガイ棘を含む小部分が残り、下顎枝は欠く。右の臼歯歯槽部分も残る。左臼歯1本の空槽が残る。左右ともに残る臼歯の歯槽はすべて脱落閉鎖した状態である。このため歯槽縁の吸収は進み顎堤の内側縁は顎舌骨筋線の位置まで下降し、平面状に形成されている。歯：遊離歯として残るものである。上顎犬歯(?)で歯根を欠く。咬耗は進み、舌側へ強く傾斜する一面となり、象牙質は大きく露出している。上顎左7の歯冠・歯頸部のみが残存。各咬頭の咬耗は進み、咬合面に僅かな溝が残る程度で、平滑に近い面は遠心側に傾斜する。近心側咬頭に象牙質が点状に露出する。

上腕骨：左、近・遠位端を欠くが骨体はほぼ原形を保つ。右、破損が著しく、すべてが細片状となって残る。骨体は伸直で捻転も少なく、三角筋粗面の発達は弱度、橈骨神経溝も浅い。全体として長さ太さともに細小で華奢な形態といえる。尺骨：左、肘頭や滑車切痕などの上端部分と、回外筋稜を含む骨体の一部が残るが、土砂と混合してその部位が知れる程度である。寛骨：左右、腸骨体や寛骨臼部分などがわずかに形状をとどめる以外、軟弱な骨質で崩壊している。大腿骨：左、大腿骨頭や大転子の先端、小転子を欠く。遠位端も欠損するが骨体はほぼ完存する。右、骨体の下部約15cmが残る。粗線は中央辺でかなり幅は狭いが強い隆起を示し、外側顆上線へかけても明瞭である。殿筋粗面は粗造性を示すが、恥骨筋線・ラセン線等はいずれも弱度である。骨体上断面示数(71.4)は超扁平大腿骨の形質を具えるが、中央断面示数(88.9)ではピラステルの形成は無い。全体的にかなり強壯な形態である。脛骨：左、骨体の中央部分約18cm。右、同じく約15cmが残るのみである。骨間縁の発達も通常であり、ヒラメ筋線も同様である。脛示数(66.7)は中脛に属する。腓骨：左、脛骨に並列して取り上げられ、骨体が約9cm残存するのみである。

頭蓋の大きさ、頑丈さはさほど顕著でないが、大腿骨・脛骨の形態は強壯で男性的である。また、頭蓋の縫合の癒着はかなり進行しており、下顎骨の臼歯部全域におよぶ歯槽閉鎖、歯の咬耗の程度からは熟年の年齢が推定される。

第2号人骨 (第44号土壌出土)

仰臥屈葬位。埋葬位が比較的保存されたため土中で固定し取り上げられた固体である。しかし、全体して保存状態は劣悪で、形態を留める骨は少ない。

体幹は上向きで背柱を中央に左右の肋骨が7・8元の位置を保つ。ただし椎骨、肋骨ともに崩壊が著しく、明瞭な各骨の形状は残らない。頭蓋は損壊してブロック状の痕跡となる程度である。体幹の右側方に上肢の骨体の一部が残存し、別に採取された骨片中に上腕骨の骨体部分(長さ数cmのもの2片)が認められる。寛骨部分の小片が残る。大腿骨(左?)の骨体上部(長さ約8cm)がやや大形の断片として残り、他は少量の細片として残存するのみである。性別・年齢等は不明

である。

第3号人骨 (第45号土壌出土)

仰臥屈葬位。全身にわたる骨が比較的元の位置で保存され、埋葬の姿勢が明確な固体として周囲に土砂とともに取り上げられ、固定された遺体である。しかし各骨の部分的な崩壊は進行している。

顔面は僅かに左方に傾く。体幹は上向きで、背柱とともに各肋骨や左右鎖骨もさほど移動せず残存している。両上腕部は体側に添えられるが、前腕は肘関節から強く曲折され、特に左の手掌は胸上に置かれている。骨盤部分はすべて欠失しているが、左右大腿骨は股関節から強く上方へ引き付けられ、同時に下腿は膝関節から屈曲され、大腿・下腿部ともに両側が胸腹部上に揃えられている。

頭蓋：脳頭蓋は比較的保存される。顔面骨は崩壊してほとんど消失している。前頭骨の板状片の骨壁はかなり厚い。乳様突起（右）は推定で隆起は大といえる。上顎骨の一部が残存する。口蓋突起の一部（左）には1・3・4・5の歯根が歯槽に陥入して残る。6は植立し7は遊離歯（歯冠のみ）である。同じく右4・5・6の歯槽に歯根が陥入する。残存歯（6・7）はともに咬耗は激しく、咬合面は極めて滑沢な平面状となり、各咬頭の位置に象牙質が点状に露出している。頸椎：それぞれ連続して残るが、各骨の形状は不明である。鎖骨：左右ともに元の位置を移動せず形状を保っている。最大長は推定で120 mmはやや小形であり、骨体は細く華奢な形状といえる。上肢骨：いずれも近・遠位端を欠くが骨体部分の保存は良好である。上腕骨の三角筋粗面、橈骨の骨間縁、尺骨の回外筋稜などの発達強い。各骨の形態はともにやや小形ではあるが、各筋の付着部などは明瞭である。大腿骨：左右ともに骨体部分の保存は良い。内側顆（左）なども破損して残る。粗線の形状が特異である。内・外側唇の区別はほとんどなく、薄く鋭い発達した一稜が形成されている。骨体中央断面示数（118.5）は中度であり、同上断面示数（107.4）は狭大腿骨の形態を示す。脛骨：左は残存せず右は骨体部分のみである。前縁は鈍で骨体中央部の矢状径は大きく、骨間縁なども顕著である。腓骨：左断片状、右骨体がやや大形片として残る。

性別については男女の性差を現す箇所のはほとんどは欠失しており明確でない。わずかに四肢長骨の形態は比較的小形ながら筋付着部などの発達が明瞭であり、小柄な男性人骨とも推定される。歯の咬耗は激しく、熟年の年齢層が勘考される。

第4号人骨 (第47号土壌出土)

全身部位にわたる骨がかなり残存するが、総じて崩壊が著しく、保存状態は劣悪である。頭蓋はわずかな部分に限り保存され、指骨なども残るが、反面、長大な四肢骨などは欠失する部分が多い。

頭蓋：脳頭蓋部分が多数の細片となって残る。後頭骨・頭頂骨（右）、頬骨の一部などが比較的原形に復する。全体として極めて骨壁の厚いのが著明である。ラムダ縫合は完全に離開する。外後頭隆起は下垂する程度に強く突出し、内後頭隆起も強度である。乳様突起は先端を欠くが基部は大形である。上顎骨の骨口蓋が前方を欠くが概ね残り、歯槽もほぼ完存して、各歯も植立している。下顎骨は下顎体が左右に分かれて残るが、下顎枝は全く欠失する。歯槽は完存し各歯も植立する。顎舌骨筋線の発達はかなり強度で、歯槽の吸収が発現している傾向もみられる。

残存歯式

8	7	6	5	4	○	2	1		1	2	3	4	5	6	7	8
○	7	6	5	4	3	×	×		×	×	×	4	5	6	7	8

○印：空槽 ×印：欠失 一印：歯根

歯の咬耗：切歯（上）、切縁の咬耗は進み、象牙質が線状に露出。犬歯（上）、先端咬耗、遠心への傾斜面をつくり象牙質は線状に露出。（下）、先端は面状となり象牙質も大きく露出。小臼歯（上下）、咬頭はほとんど摩耗が進み平面状に近い。象牙質は点ないし線状に露出する。大臼歯（上下）、きわめて咬耗は激しい。平滑面となり各溝が僅かに残る程度であるが、特に象牙質の露出は見られない。殊に上下6のみが象牙質が全面におよび露出して咬合面が強く陥凹する過耗を残している。Broccaの1～2度に相当する。う蝕痕は特に見当たらない。

脊椎：胸・腰椎の椎体が2個、椎弓や横突起などの断片が約10点ほど残る。椎体での骨増殖の傾向は窺えない。肋骨：上～下位の細片が3・4cmの長さで多数が認められる。鎖骨：右、両端を欠くが骨体はほぼ完存する。円錐靭帯結節や菱形靭帯線などはさほど強度でなく、全体としてやや細小な形態である。肩甲骨：右、棘下窩の大部分や肩峰、烏口突起の先端などを欠くが、比較的大形片として残る。上腕骨：右、骨頭や大・小結節を欠くが、骨体とともに滑車部や内側顆は残存する。大・小結節稜はさほど強度でなく、結節間溝も浅い。三角筋粗面や橈骨神経溝も特に明瞭ではない。遠位骨端は大きく、肘頭窩も幅広く深い。骨壁も厚く、全体としてかなり大形で頑丈な形態といえる。尺骨：右、肘頭、滑車切痕、鈎状突起などが形状を保つ。その他の骨体部分はほとんど欠失している。橈骨：左、遠位関節部分のみが残存する。大腿骨：右、大転子の一部が崩壊しながら残るのみで、骨体は細片を除きほとんど残らない。腓骨：左、遠位端の外果や関節面などがわずかに形状を保つ。距骨：左、形態は残るが骨表は脆く崩れている。指骨：有頭骨（左）完存。手の基節骨、中手骨、中足骨がそれぞれ数本いずれも破損状態で残る。その他、微細な骨片が多く残されている。

本人骨は極めて頑丈な頭蓋を有する男性人骨であり、歯の咬耗の程度は壮年期のものと推定される。

獣骨

識別できる獣骨類はニホンシカ、イノシシに限られていて量も多くない。他の小動物などの骨は全く存在していない。ニホンシカの骨はきわめて少量であり、その他はすべてイノシシの遺存骨である。しかし遺跡全体からみても頭数はせいぜい2・3頭程度であろうか。なお、イノシシの骨の場合、殆どの歯の歯根が未完成であり、肢骨の多くの部位で骨端線が残る幼獣の骨であるのが特徴的である。

獣骨の出土地点と内容

（生：生骨 焼：焼骨）

地点		骨の残存状況と部位
SK-08	焼	骨片、長さ22、径13mmの長骨1片のみ。
SB-09	生	ウマ 歯のエナメル質の剥片、臼歯1本分の破片？
SB-26	生	イノシシ 上顎M ₃ 完存、歯根未完成。他に歯の破片。

SB-11	焼	イノシシ 椎骨破片。中足骨（左）Ⅲ完存、遠位端の骨端線離脱。中足骨の骨体部分。 シカ 椎骨片。上腕骨（右）遠位関節部分。肩甲骨関節窩の一部。 部位不明の板状骨片、顎骨片、肋骨片や管状骨の骨片など。
SB-11	焼	イノシシ 中足骨、遠位端で骨端線から離脱。 シカ 距骨（左）の一部。 不明骨 顎骨片。椎骨の一部で椎体の上・下端面で骨端線から離脱。肋骨片など。
SB-15	焼	白色の微小骨片3・4点。
SB-24	生	イノシシ 下顎P ₃ 完存、歯根未完成。 イノシシ・シカの歯の剥片が混在。 シカ 踵骨（左）半欠。基節骨1本完存。その他、崩壊する脆い細片が多い。
SB-26	生	イノシシ 頭蓋 脳頭蓋や臼歯の歯槽が僅かに残る。上顎骨の一部が細片状で一括される。骨口蓋の一部と左右C、前臼歯の歯槽が残る（一部が火焼で炭化）。上顎（右）M ₂ M ₃ が植立。M ₃ は萌出直後で歯根の形成は無い。同じく上顎（右）M ₃ も残る。下顎骨骨体（右半）と後臼歯（M ₁ M ₂ M ₃ ）が植立。骨体は下縁が大きく破損し、下顎枝、吻端も全く欠失するが保存は良い。臼歯の咬頭に咬耗が生じている。他に下顎枝上部から関節突起までの部分はかなり大形の固体であろう。椎骨3個。棘突起や横突起を欠く。椎体の上下端面は離脱。上腕骨（左）骨頭を骨端線から欠くが完存。中足骨（右）Ⅳ完存するが、かなり大形の骨である。その他、肋骨片や不明骨片。
SD-01	生	イノシシ 歯のエナメル質の破片で、長さ22mmの管状性の破片は犬歯であろうか。シカの歯の剥片が混在する。
SK-26	生	イノシシ 頭蓋の細片。椎骨（椎骨が縦割されている）上下端面離脱。上腕骨（右）骨体下方の一部。脛骨（左）近位端を欠くが、他は完存。遠位端は骨端より離脱。踵骨（左）完存し、踵骨隆起端は骨端線より離脱する。距骨（左）完存。中足骨（左）Ⅳ完存しそれぞれ遠位端は離脱。他に骨片。以上の各部位は一頭分の幼獣のものとみられる。
SK-33	焼	土砂に混入した僅かなブロック状の骨片。
N10-E43	焼	シカ 角の断片（長さ25mm）。歯の剥片。指骨滑車部の小片。他に微小骨片やや多い。
N11-E43	焼	管状の骨片を含む微小細片30点ほど。
N14-E42	生	シカ 椎骨（胸椎）、各突起を欠く。骨端線より外れた近位関節部分（部位不明）。他にかなり厚い長骨片が含まれている。
N13-E42	生	シカ 角、長さ26mmの破片。他に僅かな脆い骨片。
N16-E32	焼	微小骨片。骨端線を残す管状骨を含む。
遺構外	焼	微小骨片のみ。
遺構外	焼	板状骨片1点のみ。
SB-19	焼	板状骨片（3×1cm）のみ。

報告書抄録

ふりがな	はちまんうら に ほんぶんへん							
書名	八幡裏Ⅱ 本文編							
副書名	国立新病院（長野）の建設工事に伴う八幡裏遺跡発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	上田市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第61集							
編著者名	久保田敦子							
編集機関	上田市教育委員会							
所在地	〒386 長野県上田市天神 2丁目 4番74号 Ⅷ 0268(22)4100 内線 5123							
発行年月日	西暦1997年 3月25日							
ふりがな	ふりがな	コ ー ド		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	〇'〃	〇'〃		㎡	
はちまんうらい せき 八幡裏遺跡	うえだし 上田市 みどりがおか 緑が丘 いっちょうめ 1丁目 ほん 27番	20203	-	138° 15' 3'	36° 24' 6'	平成6年 7月15日 から 11月4日	8,000㎡	国立新病院（長野）の建設工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特別事項		
八幡裏遺跡	集落	縄文時代 平安時代 古墳時代	竪穴住居址 16 敷石住居址 7 掘立て柱建物址 1 土壇 46 集石 10 溝 1	縄文土器・土偶・ 土師器・須恵器・ 灰釉陶器・石鏃・ 石斧・大珠				

上田市文化財調査報告書 第61集

八幡裏遺跡Ⅱ

国立新病院(長野)の新築工事に伴う発掘調査

本文編

発行日 平成9年3月25日
発行 厚生省関東信越地方医務局
上田市
上田市教育委員会
〒386 長野県上田市天神2-4-74
☎ (0268) 22-4100
印刷 田口印刷株式会社

